

ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO NOVEMBER 2015 VOL.63 NO.11

ロータリーの友11月号 第63巻 第11号
平成27年11月1日発行(毎月1日発行)
通巻755号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

11

2015

私たちのロータリー財団

親睦の輪を広げる
姉妹クラブ・友好クラブ

Rotary





**2000年10月27～30日
西太平洋地域ポリオ根絶京都会議が開かれる**

世界保健機関（WHO）のポリオ根絶認定会議が、京都国際会館で開かれました。会議では、西太平洋地域の各国の地域認定委員長から詳細な報告があり、西太平洋ポリオ根絶地域認定委員会から野生ウイルス「ゼロ」の認定が下されました。この認定を踏まえ、2000年10月29日、尾身茂WHO西太平洋地域事務局長によって、「西太平洋地域のポリオ根絶宣言」がなされました。その後、地域ごとに根絶の認定がされて、現在、野生ウイルスの常在国は、アフガニスタンとパキスタンの2か国だけになりました。

平和をもって暴力と戦う

親愛なるロータリアンの皆さん、1991年6月末のある晴れた日の朝、1台のトラックがラッシュアワーを迎えたスリランカ・コロンボの道路を走り抜けていきました。その車は北部郊外に向かって車の間を縫うように走り、国防省作戦司令本部に到着しました。車両検査のため警備員が車を止めたその時、車中の二人が、何千キロもの爆薬を積んだ車を爆破させる自爆テロを行いました。

建物の屋根は完全に吹き飛び、数ブロックにわたってがれきが散乱しました。死亡者21人、負傷者175人の惨事となり、その中には隣接する女子校の生徒が大勢含まれていました。1km以上離れた私の家でも、爆発の衝撃で全ての窓ガラスが粉々に割れてしまいました。妻は爆発音が聞こえた方へと駆け出しました。その方角に娘の学校があったからです。

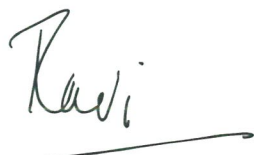
娘は当時9歳。その日の朝、娘は筆箱を家に忘れて出かけてしまいました。爆発が起こったのは、文房具屋で鉛筆を買い、大切に持って店を出た時でした。彼女は突然の耳鳴りに襲われ、砂埃にまみれ、周りにいる人々は叫び、血を流し、逃げ回っていました。彼女は、すっかり変わり果ててしまった校庭に誰かに引っ張っていかれ、そこで妻が迎えに来るのを待っていました。自宅の床にもガラスの破片が散乱したままでした。

今日、スリランカは平和で繁栄し、毎年200万人が観光に訪れています。内戦は過去の記憶となり、国民の目は希望に満ちた未来へと向けられています。しかし世界には、同じように平和を謳歌できない人が大勢います。今日、かつてないほど多くの国が紛争に巻き込まれ、戦争や暴力で家を失った人は世界全体で5,950万人に上ります。

このようなことが起ころうとも、ロータリーでは、平和は実現すると信じています。これは理想ではなく、経験に基づく信念です。私たちロータリアンは、収束困難な争いを、人々が争いではなく協調によって解決し得るのを目にしてきました。また、徹底された方法で平和を構築していくのを目の当たりにしてきました。その最たる例がロータリー平和フェローによる活動です。ロータリー平和フェローは、ロータリー財団の支援を通じて、紛争予防・紛争解決のエキスパートとなります。ロータリーでは、争いに終止符を打つだけでなく、争いをくい止めるための方法を見つけることを目標としています。

何百人ものロータリー平和フェローの中に、二人のスリランカ出身者がいました。二人は内戦で敵対したグループの出身でしたが、共に研究に励みました。最初の数週間は互いの正当性を主張するばかりでした。しかし、時間がたつにつれて互いの考え方を理解できるようになり、今日では良き友人となっています。私はそんな二人に会って話を聞き、希望を与えられました。ロータリーによって25年間の痛みとつらさを克服できるのであれば、不可能なことなどないでしょう。

私たちは暴力で暴力に立ち向かうことはできません。教育、理解、そして平和という武器をもって戦う時、私たちは真に「世界へのプレゼント」となれるのです。



K. R. RAVINDRAN
2015-16年度 国際ロータリー会長



11月はロータリー財団月間です
11月2～8日は世界インターアクト週間です

- 3 RI 会長メッセージ
平和をもって暴力と戦う 
RI 会長 K. R. ラビンドラン
-
- 16 親睦の輪を広げる
姉妹クラブ・友好クラブ
富士RC／前橋RC／都城北RC／福山東RC 宇江 邦雄／
大東RC 木村 克己
-
- 19 さらなる交流と親睦
第13回 日韓親善会議開催
-
- 22 ソウルでお待ちしています
What's NEW?
2016年ソウル国際大会ホスト組織委員会
-
- 24 RI 会長主催会議(カリフォルニア)に
日本のロータリアンが参加
東京米山友愛RC 関 博子
-
- 25 米山梅吉記念館で秋の例祭を開催
-
- 26 よねやまだより
“よねやま”から広がる新しい世界 ⑨
日本とバングラデシュを芸術で結ぶ
東京リバーサイドRC 樋口 四郎
米山学友 モハメド・イクバル
-
- 6 ■ロータリーとは
36 ■パズルdeロータリー
37 ■エバンストン便り
38 ■管理委員長の思い 
39 ■「パズルdeロータリー」(8月号)の答えと解説
40 ■ロータリー掲示板
RC 事務所住所変更・RC 例会変更・広報誌のご案内・
2015-16年度版ロータリー手帳のご案内・IAC 名称変更・『友』誌
ご購読部数変更についてのお願い・地区別クラブ数／会員数／
出席率一覧表・『友』12月号主要記事予定
42 ■日本ロータリー分布図
42 ■奥付

一般社団法人 ロータリーの友事務所
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

- 7 特集
私たちのロータリー財団
- 8 ロータリー財団補助金
さまざまな活用例
第2760地区 2014-15年度国際奉仕委員 岡部 務
川口西RC 川島 健
西那須野RC 2014-15年度会長 益子 浩
市原中央RC 2014-15年度会長 武田 勲
- 12 ポリオ撲滅へのロータリーの軌跡
——99.9%制圧の現況報告
直前ロータリー財団地域コーディネーター (第2ゾーン)
江崎 柳節
- 28 World Roundup
世界のロータリーニュース
THE ROTARIAN 11月号から
- 30 あなたはロータリアン?
「My ROTARY」の登録はうまくできましたか?
- 32 心は共に 東日本大震災
東京西RC 2014-15年度会長 佐野 英志／
福島21RC 2014-15年度特別事業実行委員会 広報担当
渡辺 浩子／青森RC 2014-15年度会長 川嶋 勝美・
2014-15年度奉仕プロジェクト委員長 木村 義正／
宮古東RC 2014-15年度復興支援プロジェクト委員会広報
吉田 昇／保原RC
- 35 Rotary いま……
何度も恐縮ですが、ロータリーの公式ロゴ

ROTARY
JAPAN 
Home Page 
www.rotary.or.jp



P12～15 ポリオ常在国は2か国を残すだけになりました

©Alyce Henson/Rotary International

ロータリーの友
委員会

委員長 橋本 長平 (京都東)
副委員長 清水 良夫 (横浜)
R I 理事 杉谷 卓紀 (玉名)
R I 理事エレクト 斎藤 直美 (豊田)

特別顧問 中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
顧問 藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊實 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)

地区
代表委員

2500 森山 昌彦 (旭川北)	2830 平川 賢悦 (清森モーニング)	2650 小川 秀明 (京都南)
2510 荒木 敏博 (岩見沢)	2840 松島 宏明 (桐生)	2660 庄野 晋吉 (大阪)
2520 三浦 一 (仙台泉)	2580 林 茂男 (東京ベイ)	2670 斎藤 賢治 (徳島)
2530 星 遵一 (南相馬)	2590 荒木 彦次 (横浜)	2680 折戸 善信 (神戸西神)
2540 佐野 公彦 (秋田北)	2600 西堀 恒司 (松本)	2690 江尻 博子 (岡山南)
2550 真尾 和夫 (足利東)	2610 小間 茂雄 (高岡)	2700 石村 悟悟 (福岡)
2560 高橋 登 (新潟南)	2620 佐藤 正幸 (甲府)	2710 藤里 隆 (宇都東)
2570 細井 保雄 (行田さくら)	2630 前田 和也 (鈴鹿シティ)	2720 高宮 宏 (熊本南)
2770 隅内 道三 (川口東)	2750 井上 直行 (東京町田ガルビア)	2730 中島 司人 (延岡東)
2790 中村 正見 (千葉)	2760 水野 吉紹 (名古屋北)	2740 新岡 正久 (唐津東)
2800 中村 隆志 (米沢上杉)	2780 桐本美智子 (平塚)	
2820 山崎 恭弘 (電ヶ崎)	2640 堀本 欣吾 (堺フラワー)	編集長 二神 典子 (東京築地)

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,114、会員総数1,209,491人（2015年7月1日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,269、会員数88,599人（2015年8月末現在）となっています。

2015 - 16 R I テーマ



世界へのプレゼントになろう

Be a Gift to the World

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

私たちのロータリー財団



World Patience
 Bring peace
 education to
 Middle East
 Peace Institute



@Rotary International

ロータリー財団補助金 さまざまな活用例



ロータリー財団の補助金（地区補助金・グローバル補助金）を活用したプロジェクトの事例を紹介します（※ 肩書はすべて当時のものです）。

地区イベントの収益金で、カンボジア水施設を整備

第 2760 地区 2014 - 15 年度国際奉仕委員 岡部 務（名古屋北 R C）

地区補助金
水と衛生



イベント収益金で井戸 17 本、トイレ 40 か所を建設

日本から空路で約 9 時間。2015 年 6 月 8 日、カンボジア北西部、アンコールワット遺跡で有名なシェムリアップ州ロベア村の小学校で、約 200 人の小学生や地元の人々を集めて、水施設の引き渡し式が行われました。

この「W A S H（Water, Sanitation and Hygiene）プロジェクト」は、昨年 11 月に名古屋市栄地区で行われた「ワールドフード+ふれ愛フェスタ（W F F）」（『友』2015 年 1 月号横組み P 18～19）の収益金と地区プロジェクト資金を合わせて、シェムリアップ州に水関連施設として 17 本の井戸と、40 か所にトイレを設置し、併せて子どもたちに文房具の贈呈を行ったものです。

第 2760 地区から箆橋美久 W F F 実行委員長兼広報委員長、杉浦敏夫国際奉仕委員長、鈴木與左衛門社会奉仕委員長、福田哲三 W F F 副実行委員長兼職業研修チーム（V T T）委員長ら 11 人が訪問。当日は 37℃ 近くの暑さの中、強い日差しをテントで避けながら式が行われました。地区を代表して近藤雄亮ガバナー代理の箆橋委員長が「ロータリークラブは、皆さんの幸せを願って活動しています。今回はイベントの収益金を皆さんにプレゼントするため、ここに来ました。イベントの名前は『ワールドフード+ふれ愛フェスタ』です。このイベントは愛知県内 84 クラブ、4,900 人が心をつなげて協力し、

成功しました。今回、この地域では水関係の改善が重要かと思い、寄付の多くを充てました。大いにご活用ください」とあいさつしました。

対して、地域の赤十字代表を務めるコーウィー・ナリー・シェムリアップ州知事夫人（下写真・上段中央）が「カンボジア・シェムリアップ州赤十字社は 4 つの方針（①健康教育／②水／③トイレ／④食糧）を掲げて活動しています。今回、日本のロータリーから井戸、トイレを寄贈していただき、誠にありがとうございます。村を代表して日本のロータリークラブに感謝します」とあいさつし、大きな拍手を浴びました。その後は、集まった子どもたちに文房具と T シャツ、あめのプレゼント。子どもたちは遠慮がちに受け取り、校舎の中へ。その後、表彰式に続いて寄贈施設を掲示したパネルの前で、今回の企画立案者であるアンコール・ロータリークラブのアイリーン・ウォン氏らと記念撮影をしました。

観光地でもまだまだインフラ不足

昼食を終えて、地区プロジェクトとして 23 クラブが寄贈したトイレや井戸を実地検分しました。オートバイに客車をつけたトゥクトゥクに乗り、農家 6 軒あまりを分担して訪問。カンボジアの農家は思った以上に貧しく、広々とした荒地にポツンポツンと掘って立て小屋があり、番犬がほえています。子どもたちの中には、素っ



裸の状態にいる子もいました。また、地雷で吹き飛ばされて片足の不自由な若者もいました。合掌のあいさつをして中に入ると、ロータリーのロゴの看板がついたトイレやポンプ式井戸が！

シェムリアップは観光で豊かな地域のはずですが、まだまだインフラが不足している状況に驚きました。世界には支援を必要とする地域が多く存在することを、あらためて感じさせられたプロジェクトでした。（愛知県）



各トイレ、井戸には寄贈クラブに謝意を表した看板が

ブラジルの病院にやけど治療器を寄贈

川口西RC 川島 健

グローバル補助金
疾病予防と治療



Dr. カルミーノ・カリーシオ市立病院やけど治療センター



寄贈したやけど治療用の医療機器を囲んで

初めてのブラジルとの補助金プロジェクト

それは1通のメールから始まりました。「やけど治療器（やけど患者からの健康な皮膚を効率よく採取し、それを伸ばして植皮する医療器具『デルマトーム』『メッシュグラフト』のキット）をやけど専用病院に寄贈したい」。ブラジル・サンパウロ空港ロータリークラブ(RC)の会員で、2014 - 15年度第4420地区ガバナーノミニで日系ブラジル人の紫牟田寛氏からの、1万ドル規模のグローバル補助金プロジェクトを行うにあたり、第2770地区に援助国としてのパートナーをリクエストするメールでした。

地区の承認後、各クラブへの公募の結果、大宮RC、浦和RC、川口西RCがこれに応募し、川口西RCの片岡暎子会員がプライマリー・コンタクト（代表連絡担当者）になりました。当地区ではフィリピン、タイ、インドとのグローバル補助金プロジェクトの経験はありますが、ブラジルとは初めてでした。グローバル補助金プロジェクトは相手国との連帯責任ですので、与信の点で躊躇しましたが、相手が日系のガバナーノミニでアーチ・クランフ・ソサエティーの会員であること、相手の地区とは過去に青少年交換や、GSE（研究グループ交

換）の実績もあること、またお互い「未来の夢計画」パイロット地区で、ブラジルに国際ロータリー(RI)の国際事務局もあることから、各クラブの承認も比較的スムーズに得ることができました。

2012 - 13年度に地区にプロジェクト申請、そしてロータリー財団にグローバル補助金を申請。財団の承認を受けたのは2013年5月30日でした。2013年7月3日、ロータリー財団からサンパウロへの入金があり、2014年11月19日、ロータリー財団に提出した中間報告が承認されました。

そして2015年6月のサンパウロ国際大会を機に、現地検証に行ってきました。岩淵均ロータリー財団地域コーディネーター夫妻、渡邊和良パストガバナー、浦和RCの佐藤清章会長、川口西RCの田中峰吉会長と私、地区国際奉仕部門の大東悦巳会員、阿部朋博両会員、地区副幹事の大庭秀夫会員が参加。6月5日の歓迎会では、偶然、サンパウロのクラブが国際大会の前夜祭を担当しており、前夜祭の会場と同じ場所で当方の歓迎会が行われたので、黄其光RI会長夫妻も同席され大感激でした。

市立病院での検証では、やけど治療器の実物を用いて、担当医師による使用法と効果、導入前後の効果測定の結果など、通訳を交えての説明がなされ、途中、患者さん



担当医師からの説明を聞く



歓迎会には黄R I 会長(当時)夫妻も参加

のシェアシステムを使えば総額
6万9,016ドルにもなる。

2: グローバル補助金の事務手続きは、多少手間が掛かる。しかし、恩恵を受ける相手国の人々には、まさに人生を変える変化をもたらすことができる。

の了解のもと、本人から感謝の言葉も聞き、一定の成果があったことを確認しました。

恩恵を受ける人々には人生を変える変化をもたらす

当事業を進めていく過程で、^{*}人道的プロジェクトの支援国側拠出金の30%ルール、財団からの入金後の1年以内の中間報告提出、被承認の義務など、いくつか苦労しましたが、何とか検証段階まで進むことができました。

今回の検証を通して感じたことは、

1: 各クラブの支出は1,000ドルでも、ロータリー財団

Annotation

*人道的プロジェクトの支援国側拠出金の30%ルール 「人道的プロジェクトのためのグローバル補助金の場合、拠出金総額のうち少なくとも30%が、プロジェクト実施国・実施地区以外から寄せられたものでなければならない」(『ロータリー財団地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件(2014年5月)』P7から)

ということです。R Iの掲げる戦略計画の3つの優先項目の一つ「人道的奉仕の重点化と増加」の意味が、自分なりに理解できた思いがしました。

(第2770地区 埼玉県)

台湾山岳地の住民に無料健康診断と健康管理教育を

西那須野R C 2014 - 15年度会長 益子 浩

グローバル補助金
疾病予防と治療



地域の衛生所所長兼医師、2クラブの会長、会員を交えた会合



白衣は医師、前列の女性たちは看護師の皆さん

2014 - 15年度、援助国を西那須野ロータリークラブ(R C)、実施国を台湾第3500地区・桃園R Cとし、2クラブ間でグローバル補助金による「桃園ロータリークラブ2014 - 15年度地域社会福祉計画」プロジェクトを開始し、6月に無事終了しました。

2014年9月1日に開始したこのプロジェクトは、第3500地区内にある山岳地帯のへき地に住む老人や子どもを対象として、無料健康診断と病気の初期治療を行うとともに、健康管理の教育を提供するというものです。

9月にまず会員3人が現地を訪れ、プロジェクト実施に向けた打ち合わせを行いました。そして11月6日、西那須野R C会員と関係者など約10人が、役所と保健

所にご協力を要請し、現地を訪問しました。続いて12月から3月まで6回にわたり、桃園R Cの医師会員と協力者(会員の家族を含む)総勢40人が、桃園県、新竹県、苗栗県の3県の山岳地に住む5つの先住民の老人と子どもを主な対象とし、無料の健康診断を実施しました。病気が発見された人には初期治療を行い、病気の早期発見と健康増進を図る場としました。桃園R Cの10人の医師の資格を持つ会員が治療に当たりました(桃園R Cは会員80人中11人が医師とのこと)。また、住民に衛生と自己健康管理に関する教育も実施し、住民の健康意識の向上を図りました。

事前に現地3県の役場に協力を依頼し、ロータリーク

ラブと協同で地域住民動向の調査を行いました。プロジェクト終了後には、継続追跡調査に同地区の区役所、保育所にも協力を要請し、プログラムを完遂しました。

今回の実施で、山岳地の住民には血液検査

を拒否する人がいること、健康管理の教育を行おうにも文字が読めない人が多いことがわかりました。そこで、今年度は新たなグローバル補助金プロジェクトとして、



住民対象の健康教育



桃園RCの医師の会員による健康診断

桃園RCと他地区のへき地の子どもを対象とした「識字率向上」プロジェクトが進行中です。

(第2550地区 栃木県)

インドネシアに水道設備と衛生設備を建設

市原中央RC 2014 - 15 年度会長 武田 勲

グローバル補助金
水と衛生



山の中間貯水槽



山頂付近の取水場所の貯水槽。チューブで2 km離れた民家まで配管

インドネシア第3410地区のバンドン・ロータリークラブ（RC）と市原中央RCが、住民と協力して、ジェレコン地区に水道設備と衛生設備を建設する「クリーン・ウォーター・プロジェクト」を実施しました。これは第2790地区の第9期ロータリー平和フェローとして来日したムティアラ・パサリブさんのカウンセラークラブをしたきっかけで、彼のスポンサーであるバンドンRCと実施した、「水と衛生」を目的としたグローバル補助金プロジェクトです。

その概要は、川の水や地下水が汚染されたジェレコン地区の5か所に山の湧水を貯水し、2 km離れた住宅地まで水道を配管し、各家庭に配水を行うというものです。この設備により、約8,200人の住民が洗濯、トイレなどに使用できる水を受益します。

2014年3月にロータリー財団にグローバル補助金を申請し、同10月からプロジェクトを開始。2015年6

月7日に完成式を迎えることができました。日本からは会長の私と守屋謙一郎会長エレクトが出席。出席できなかった宇佐見



ガニガバナー（左）と武田会長
透ガバナーからメッセージを預かり、代理スピーチを行いました。

住民約100人、第3410地区のヘルマン・タジャディ・ガニガバナーとバンドンRCのTT・ヒダヤット会長をはじめ、30人のロータリアンが参加。今回のプロジェクトで、インドネシアと日本の友好関係が深まったと思います。今後は、今回のプロジェクトを維持・継続するようモニタリングを行うと同時に、新たなプロジェクトも開発していきます。

(第2790地区 千葉県)

ポリオ撲滅へのロータリーの軌跡

—— 99.9%制圧の現況報告

直前ロータリー財団地域コーディネーター（第2ゾーン） 江崎 柳節

はじめに

世の中には、人間の存在を根底から崩すような悲劇的な疾患があります。その中でも子どもの命を奪うか、運動性まひと呼吸筋の発育不全が残り、耐えがたい不自由な障がい者として一生を送るかの2者択一を迫る疾患があります。ポリオです。

ロータリーはこの疾患の実情に、関心と懸念を以前から持っていたと思われます。例えば1981年、クラブ創立15年を迎える東京麹町ロータリークラブ（RC、第2580地区）は、国際ロータリー（RI）75周年記念事業として企画された3-H計画の一環として、南インドでポリオ免疫プロジェクトを展開し、その事業費は財団の補助金5万ドルプラス1,000万円と報じられています。その後、RI創始80年に当たり記念事業として、「ポリオプラス計画」が発表されました。日本国内では募金総額40億円を最終目標として、1986年7月から5か年計画で「ポリオプラス募金キャンペーン」が始まりました。そして1991年6月には目標額を上回る約49億円の寄付金が集まりました。

ポリオは医学的には急性灰白髄炎（poliomyelitis anterior acuta）と言い、別名脊髄性小児まひと言われていることもあった疾患で、世界の文明国にもあまねく伝播していた疾患です。多くの国にあっては、法律で定められた予防接種によりワクチンを投与、予防されていましたが、ロータリーがこれの予防、撲滅の活動を始めたころでも世界で125か国、年間35万人の小児に発症を見ていました。つまり、1日当たり1,000人の感染、

発症、まひ児が生じていたことになります。

ポリオ撲滅推進活動の経緯と成果

RIでは初めの試みとして、1979年から5年計画でポリオプラス大型プロジェクト（Mass Polio Plus Immunization）を実施。600万人のフィリピンの子どもに一齐投与して予期した効果を収めています。この成果をもとに、RIは世界的展開の基礎として、1988年国連機構にパートナーを求め、ここにWHO（世界保健機関）、UNICEF（国連児童基金）、CDC（アメリカ疾病対策センター）と組んで1988年世界ポリオ撲滅推進活動（Global Polio Eradication Initiative: GPEI、当初は「活動」でなく「計画」と訳していました）を組織しました。その後2009年、GPEIにビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団が加わり、ロータリーに対する支援がますます増大しました。

「ポリオプラス」の「プラス」について、時にご質問を受けます。1985年、RIがポリオプラスを開始した時、「プラス」という言葉は、ポリオ撲滅の試みが、子どもの間で流行する他の5つの伝染病、破傷風、はしか、風疹、百日咳、ジフテリアの予防接種にもつながるだろうと考え「プラス」とされました。

その後、ポリオ撲滅による恩恵は増え、「ワクチンを低温で運搬、保存するための新しい物流方法が開発」されたり、「新たなポリオ発症の発見を目的とする研究所や診療所の巨大なネットワークにより、ほかのウイルスの感染状況も監視できるようになる」、また「世界的な保健問題に取り組むための官民のパートナーシップ」などが確立されました。現在では、これらのポリオがなくなった後にもほかの感染症との闘いを支えていくインフラと協力態勢という遺産を意味しています。

この間の世界のロータリアンがこのプロジェクトに及ぼした資金推進、専門分野の技術提供、現地における免疫付与の貢献には素晴らしいものがあり、2008年にはポリオ常在国はインド、パキスタン、アフガニスタン、ナイジェリアの4か国に減少しました。こうなってきますと感染源としての人間の移動による非感染国における移入感染は指数関数的に減るものであります。しかし、現状は厳しく、アフリカの角と言われるソマリアおよびエチオピアの一



部には、ナイジェリアからの移入によるアウトブレイク（爆発的発症）が繰り返し認められ、一方、パキスタン、アフガニスタンからシリア、イラクなどへの移入感染もしばしば繰り返されました。

2011年、インドの野生ポリオ症例がゼロとなり3年間のサーベイランスの結果、2014年3月27日、インドおよび東南アジアからポリオが撲滅されたことが宣言されました。2010年前後のポリオ撲滅が、思いも掛けぬ速さと徹底さで進んだことには、いくつかの理由が考えられています。最大の原因は、2009年に既に撲滅された2型ポリオウイルスを除き残る1型、3型病原体に効く「二価経口ワクチン」が開発され、特にインド国内でも製造されるようになったことが挙げられます。

第2には、その二価経口ワクチンを一国の児童全てに一日で投与することができるNID（National Immunization Day、全国免疫接種日）の成果ということが挙げられます。インドの人口は13億人ですが、私たちが参加するNIDでは、一日で1億7,000万人の5歳以下の子どもにワクチンを投与できるのです。もしそれに漏れた子どもがいれば、小指に塗った投与済みの紫色のマジックインクがつけられていない子どもを徹底的に探して、漏れのないようにします。

第3の理由は、ロータリーの資金によってインドをはじめ、近隣諸国にいきわたるコールドチェーンが発達したことで、保冷のまま現地へ安全に生ワクチンの搬送、保存が可能になったことが挙げられます。また各種医療器具、とりわけ無菌処理の使い捨ての医療器材の広範な普及が、大きな助けとなりました。RIのウェブサイトでは中近東、西アジアの山岳地帯、へき地にもワクチン



が届けられているニュースを見ることができ、プロジェクトの進捗状況が毎日のように報じられていました。

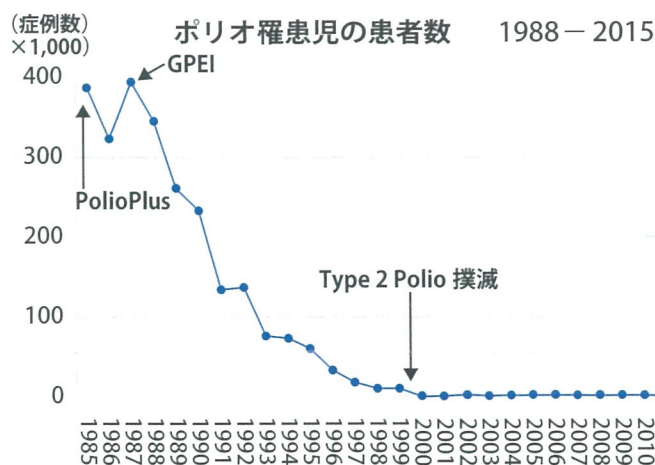
こうして2011年にはインドが1月13日ウェストベンガル州の2歳の女兒の発症を最後に、野生ポリオを3年間見ることなく経過し、2014年にWHOからインドはポリオ非常在国に認定されました。以前からインドのポリオ撲滅の困難さを危惧する多くの専門家のいる中、この国のポリオ撲滅が完遂したことは、世界中のポリオ撲滅に可能性と勇気を与えました。かつて世界中にばっこしていたポリオ野生株ウイルスの伝播を食い止めた多くの国々と同様に、インドは引き続き追加接種対策と定期予防接種率の改善を通して、しばらくは再輸入感染のリスクからも子どもたちを守っていくことになります。

野生株ウイルスが激減したことによって、ポリオ常在国とその周辺国の発症例、感染によるアウトブレイクも激減しつつあります。野生株ウイルスが激減した後も、ワクチン由来による感染は頻度こそ極めて低いものの、しばらく続くでしょう。しかしこの現象は「ポリ

オプラス」の成功を妨げる負の現象ではなく、後述するように撲滅に向けた「最終戦略計画（ENDGAME）」で包括されている、不活性化ワクチンへの切り替えによって世界中が対策をすることになっています。

なぜロータリーはポリオだったのか

ポリオ撲滅プロジェクトの過程の中で予想されたさまざまな不安は、30年の揺れることのないロータリーの信念と忍耐に貫かれ成果を挙げながら今日を迎えています。専門家集団ではないロータリーが、ポリオを手掛けたことを



懸念する意見も常にありました。しかし完遂に向けて、30年間一貫して掲げてきたロータリーの最優先事項、実はロータリーだから可能であったのだという検証が次のような理由で成り立つように思われます。

- 1) 世界中に蔓延する子どもに最も悲惨な病気
- 2) 罹患すると現代医学でも治らない
- 3) 最も効率の高い予防手段（ワクチン）が現存する
- 4) 2滴を口内に滴下するだけで子どもに苦痛がない
- 5) 安価である
- 6) 終生免疫を獲得できる
- 7) 大量の人に一時に免疫を付与することができる
- 8) 世界を動かすことができるロータリーのスチュワードシップとリーダーシップ

9) 未来の予防医学のモデルの可能性を見据えた予見
人類の英知でこの世から駆逐できた病気に、天然痘があります。医学者ジェンナーがわが子に接種して、ワクチンの効果を試し、免疫効果が人体に応用できることを証明したのです。ヒト免疫力は抗原抗体反応という抵抗力で感染症にかからない体質を作る天与の機構が人体にはあるのです。これは今のところ外来性の抗原である感染症にはほぼ限られます。

がんの免疫療法も近代医学の大テーマですが、がん細胞が自己から発生したselfの抗原ですから自己抵抗力としての抗体生成反応は弱く、がんの駆逐までに至っていないのが現状です。しかし、この分野も究明すべき多くの可能性を含んでいます。

2015年7月、ナイジェリアでも1年間の無発症が確認され、9月にはWHOによって、ポリオ常在国のリストからはずされました。現在、常在国はアフガニスタンとパキスタンの2か国を残すだけになりました。

インドではこの数年間、パティール前大統領、シン前首相が率先して自らポリオワクチンを投与したように、現在残る2常在国にあっても、国家元首、ロータリアン、

軍隊がこれを推進し、報道によるとタリバン系の陣営もNIDには戦闘をやめてワクチン投与に協力しているということです。イスラム諸国にはびこるイスラム過激派組織の影響が懸念されていますが、イスラム国諮問委員会などの関与で、紛争を超えた人道活動の推進が強く望まれます。

毎月GPEIでは、責任ある独立監視委員会のもとで世界のポリオ発症の動向を発表していますが、本年になって、直近では2015年8月26日にも世界のポリオ発症の動向を発表しています。世界的には昨年一年間の野生株ポリオ発症数359に対し、8月26日現在で37例と、昨年総数の10分の1で、昨年同期に比しても4分の1の発症までに減っています。アフガニスタンは昨年の28.6%の8例と健闘しています。最も困難とされているパキスタンも発症数は29例ですが、昨年に比べれば10分の1（昨年同時期比）に減ってきています。ポリオの国家間、地域間の蔓延は、野生株ポリオが残っている限り、さまざまな原因で移入され感染することは前述した通りです。

新しいパートナーとしての各国政府とNGO

現在のところ、国の予防体制、技術力、政治的理由、財政事情、戦略計画によって、感染国周辺の感染予防の能力は大きく左右されるものと思われます。2012年のフランス・ドゥビルで行われたG8サミットで出た懸念は次のようなものでありました。「ポリオ撲滅の唯一最大の脅威は資金不足」。ポリオ常在国をはじめ周辺高危険国をポリオの移入、感染から守るための支援は、現状の進展の中においてもさらに多くの国からの援助が不可欠で、世界の求めるところです。

2012年あたりから先進各国を中心に、そして感染諸国からもGPEIに対して資金援助が一層進むようになりました。RIバンコク国際大会では、記念講演でビル・ゲイツ氏がロータリアンにアドボカシー運動を提唱しました。「ここにおいでの方の皆さん。皆さんがそれぞれ自国に帰られたら、国の指導者、

2015年5月28日、国際ロータリーは日本政府の貢献をたたえて、安倍晋三首相にポリオ撲滅推進功労賞を贈りました。このポリオ撲滅推進功労賞は、ポリオ撲滅活動において多大なる貢献を果たした国家元首、保健機関のリーダーやその他の個人を称えるため、ロータリーが1995年に設立したものです。日本で同賞が贈られるのは、2003年の橋本龍太郎首相、2006年の小泉純一郎首相に続き、3人目となります。

写真は、首相官邸での授与の様子。左から、国際ロータリー日本事務局長／小林宏明氏、国際ロータリー・インターナショナル・ポリオプラス委員／黒田正宏氏、内閣官房副長官／加藤勝信氏、内閣総理大臣秘書官／中江元哉氏



地域のリーダーに、ポリオ撲滅への現状と資金の推進を訴えましょう。私も実践します」。会場は約束のエールに満ちました。

昨年シドニー国際大会ではオーストラリアのトニー・アボット首相が開会式の席上で1億ドルの支援を言明して、厳父と国内のロータリアンの誓願に応えました。オバマ米大統領も2億500万ドルを誓約しました。また、わが国の積年のポリオ撲滅推進活動に対してR Iは安倍晋三首相に功労の盾を贈りました。

わが国は1988年から4億7,500万ドルをG P E Iに拠出し、世界第3位ですが、そのほかにも円借款という形でJ I C A（国際協力機構）を通じてナイジェリアのワクチン購入のため約83億円、パキスタンに同趣旨の約50億円を拠出しています。

ロータリーがイニシアチブを取り進めてきたポリオ撲滅推進活動も、未来への遺産として完遂するには残るワクチン由来のポリオを残さないことも喫緊の課題なのです。この発生頻度は人口100万人に1人というまれなものではありますが、これも根本的に駆逐しようとする世界の要請は当然でありましょう。

そこで2013年4月に開かれたアブダビ世界ワクチンサミットでは、国連事務総長、ゲイツ財団会長、国際ロータリーとそのG P E Iパートナー団体、各国政府・保健省関係者など300人の首脳が出席し、その席上で以下の事柄が誓約されました。2014年中に野生株ウイルスの撲滅、以後は経口ワクチン、特に無用となった2型株混合の生ワクチンの使用禁止、ワクチン由来感染の対策、不活性化ワクチン（I P V）接種の強化、経口（O P V）不活性化ワクチンの補完施行により、2018年には完全終結を世界的に確認すること、感染症対策を後世への伝承とすることが宣言されました。

この計画は国連公用語である6か国語に訳され世界中に発布されました。それは「Polio Eradication & Endgame Strategic Plan（ポリオ撲滅最終戦略計画）」と名づけられました。この計画の推進には総額55億ドルを要することになりますが、その時点で既に誓約額、確保額合わせて40億ドルは見込まれていて、さらにその10か月後には、不足額は5.6億ドルに縮小し、2014年7月には4.94億ドルに、今年度はまだ公開されていませんが、順調に減っているものと思われます。

ロータリーの覚悟

ポリオ撲滅への世界的規模の協力はますます力強くなっていますが、完遂を迎えるに当たっては、常にイニシアチブをとってきたロータリーの情熱と責任とリー

ダーシップが最後まで問われることは先覚者の宿命です。2013年初頭に、当時の田中作次R I会長は、W. ウィルキンソンロータリー財団管理委員長と連名で、次の誓約を世界全地区のガバナーに誓願しました。「END POLIO NOW（今こそポリオ撲滅のとき）」を世界のパートナーとともに完遂し、最終段階を迎えるために、「クラブは毎年1,500ドルを（地区により決められた方法で）、地区は毎年D D F（ロータリー財団地区活動資金）の20%を、2018年まで拠出する協力をお願いしたい」というもので、これは2018年まで続きます。

現在、ゲイツ財団は、ロータリーへの新たな寄付として、2018年6月末までロータリーが拠出した資金に対し2倍の額を上乗せしています。この期間、ロータリアンの寄付額は3倍として生きるわけです（上限は毎年度ロータリーの3,500万ドル）。つまり、ポリオ撲滅最終戦略計画に危惧されるファンドギャップの手助けをロータリーに向けて行っているのです。

ロータリーはこれまでに、125か国の子ども25億人に経口ワクチンを投与し、1,300万人以上の子どものまひを防ぎ、歩む楽しみを与えてきました。年間65万人がポリオによる身体まひを免れました（国際ポリオプラス委員会2015年7月報告）。ここに至るまでには、主要パートナー（Spearheading Partners）「世界保健機関（WHO）」、「国際ロータリー（R I）」、「アメリカ疫病センター（CDC）」、「国連児童基金（UNICEF）」そして、そのほかの重要なパートナーとして、「ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団」ほかの非政府組織、何よりも感染国が先頭に立って、それに多くの国家機関が参加していることを忘れてはなりません。

結語

ロータリーの近代歴史のなかで30年に及ぶ、常にR Iが第一優先事項として掲げ、ロータリアン各位がほぼ半生を掛けて闘ってきたポリオプラス計画は、「END POLIO NOW」として成果を上げつつ、「THIS CLOSE（あと少し）」を迎え、他のパートナー、ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団の協力を受け、世界の全ての国家を動かしポリオ撲滅最終戦略計画を迎え、現在99.9%以上の発症抑制を現実のものとしてここに至っています。

世界の誓約は、2018年にはワクチン由来の感染を含むすべてのポリオの撲滅を達成することです。ロータリーの英知と実践は三千有余年も地球上にはびこった子どもの最も悲惨な病気を征服し、世界の子どもへの約束を果たそうとしています。ロータリーの存在をいま世界は注視しています。

親睦の輪を広げる姉妹クラブ・友好クラブ

にわか仕込みの阿波踊り 富士ロータリークラブ

わが富士ロータリークラブ（RC、第2620地区）は、8月15日、姉妹クラブの京都洛南RC（第2650地区）のお誘いで、阿波踊り例会に参加してきました。京都洛南RCは、徳島プリンスRC（第2670地区）と姉妹クラブで、さらに徳島プリンスRCは東京向島RC（第2580地区）と姉妹クラブになっています。つまり、この4クラブは一本の串でつながったような状態であり、徳島で初めて4姉妹がそろいました。

わがクラブはもちろん、ほかのクラブも踊るのは初めての人ばかりでしたが、地元の有名連「ごちやへい娯茶平」と一緒に踊るから大丈夫、という言葉に頼りに、無謀にもメイン会場の紺屋町演舞場に足を踏み入れました。

お気楽な気分もそこまでで、これから進んでいくメインコースの両脇には、アルプススタンドを思わせるさじき棧敷席が200m先まで伸び、所狭しと観客がいるではありませんか。しかも、この方たちは高額な観覧料を払い、半年以上前から予約し、今日の日を楽しみに、遠方からの人も……。例会後30分だけ練習し、その後、懇親会

でビールや酒を酌み交わし、徳島の地酒は甘いだの辛いだの言っていたわれわれは、この光景を目の当たりにしてすっかり酔いも覚めてしまいました。まさか、この方たちの前で、にわか仕込みのなんちゃって阿波踊りを見せるわけには……。

スタンドから差し込むまぶしいほどの照明、スピーカーによる大音響の参加団体の紹介、そして皮肉にも、たっぷり確保された踊り手同士の間隔、このシチュエーションを誰が想像できたでしょうか？ 頼みの娯茶平連さんはいずこへ……。

西の空が赤く染まり、クラブ名の入ったちょうちん提灯が高らかに掲げられ「本日は、世界遺産登録された富士山のまち・富士市より、富士RCの皆さんがはるばる来てくれました～」とアナウンスの音が会場に響きわたる中、大きな歯車が描かれたコバルトブルーの浴衣をまとった、阿呆な踊り手集団は、大勢の観客の前を汗だくになりながら通り抜けていきました。すべてが終わり、気がつくと、腰をさすりながら互いのへたくそな踊りをつまみに、また缶ビールを空けているクラブの仲間たちがそこにいました。

ヤットサー、ア、ヤットヤット！

（第2620地区 静岡県）



ライバルとして仲間として 前橋ロータリークラブ



3月下旬に開花した桜が、その後の気温低下により満開のまま残る中、友好クラブである第2560地区の新潟ロータリークラブ（RC）と、第2820地区の水戸RCの会員をお招きし、当クラブの観桜家族例会が4月7日に開催され、3クラブの会員と家族、来賓を合わせて151人が参加しました。

新潟RCとは毎年、ゴルフ部と野球部が交流戦を行い、夏には新潟RCの納涼祭に参加させていただいています。また、水戸RCとは梅の花が咲くころ、友好訪問させていただくことが恒例となっています。

当日の会場とした前橋市内の臨江閣^{りんこうかく}は、迎賓館として明治17（1884）年に数寄屋風建築様式で建てられた本館、茶室（ともに県指定重要文化財）と、明治43（1910）年に貴賓館として書院風建築様式で建てられた別館（市指定重要文化財）から成る建物です。

通常、宴会が開かれることなどない臨江閣で、1日かけて準備し、直派若柳流師範・若柳百吾氏の日本舞踊による優雅な舞と、当クラブのコーラス部「コール・グロリア」（会員と家族で構成）の美しい歌声が、花冷えの夜を大いに盛り上げました。

夜桜のもと、酒を酌み交わしつつ語り合い、県外の会員と交流することは、私たちの活動の幅を広げ、スポーツでは良きライバル、ロータリアンとしては尊敬し合う仲間として、日ごろの奉仕活動をより有意義なものへと高めてくれると実感した夜でした。（第2840地区 群馬県）

国境を超えて 50 周年記念式 都城北ロータリークラブ

わがクラブは1978年に第3510地区（台湾）の潮州ロータリークラブ（RC）と姉妹提携し、今年で37年

になりますが、双方の創立記念式典ごとに再締結調印式のため訪問し合い友好を深めています。

今年は4月11日、潮州RCの創立50周年記念式典に、訪問団一行15人で参加しました。新幹線の高雄駅に到着した途端、歓迎の横断幕とレイで大勢の人に出迎えていただき、記念写真撮影の後、昼食会場へ。感動的な大歓迎を受けました。

記念式典は国際色を感じる厳粛なもので、再調印式も無事終了。懇親会では、今回参加できなかった当クラブ会員に協力してもらったお土産で、双方のクラブ名入りの法被^{はっぴ}と、日本の模様入りバッジが、潮州RCの皆さんにとっても喜ばれました。

余興では、東日本大震災の際にいただいた義援金へのお礼の気持ちを込めて、「花は咲く」を歌い、現地の言葉で「ありがとうロータリー」を歌った時は会場全員総立ちで一緒に歌い、和気あいあいとした雰囲気。とても意義ある訪問でした。

来年はわがクラブが創立50周年を迎えますが、双方の友情の絆をさらに深めていきたいと思っています。

（第2730地区 宮崎県）



姉妹クラブ訪問で会員維持

福山東RC 国際奉仕委員長 宇江 邦雄

わがクラブは、台湾・第3500地区の新竹西ロータリークラブ（RC）と姉妹クラブを締結しています。姉妹の縁組をして、はや26年ですが、お互いの周年行事には多くの人が行き来します。

前年度はわがクラブの創立30周年で、63人が訪日されました。今年度は8月13日に新竹西RCの創立30周年で、こちらから53人が訪台。これら人数を見ただけでも、いかに交流が活発か、わかると思います。

そのほか、互いの子どもたちのホームステイや、海外

での奉仕活動を協同で行ったりしています。これだけ長く深い交流を続けると、本当に家族に会いに行くようなもので、今回の訪問もとても楽しみでした。

記念式典は厳粛に行われ、その後、楽しい歓迎会が3晩も続きました。乾杯の連続には少々疲れましたが、心のこもった友のもてなしのおかげで、互いに十分楽しみました。

観光でも、迎賓館ともいえる台北賓館など、普段は入れない所に連れて行ってもらいました。ここは月に一度、公開日がありますが、警備が厳重で内部の撮影も禁止。そのような所にフリーパスで入れていただきました。お



2014 - 15 年度は締結 20 周年という記念の年となりました。

通常であれば、次の 5 年間の締結式のためだけに訪台するところです。今回は台北雙溪 R C の林谷同氏が第 3520 地区ガバナーを務めていたこともあり、当クラブ会員と夫人の総勢 13 人で、4 月 23 ~ 25 日、お祝いを兼ねた訪問をし、地区大会にも出席してきました。

初日は台北雙溪 R C の創立 24 周年記念式典の中で、林ガバナーの立ち会いのもと、姉妹クラブ再締結式、W C S（世界社会奉仕）事業の感謝盾の贈呈、記念品の交換などを行い、両クラブ会員の親睦を深めました。

2 日目は林ガバナーの招待で、「台北 101」ビルの 85 階レストランで行われた国際ロータリー（R I）会長代理歓迎晚餐会に、われわれも参加しました。イスラエルから訪台した元 R I 理事のギデオ・パイパー氏や、歴代ガバナーの方々と歓談する機会を得ました。

最終日には第 3520 地区の地区大会に参加し、来賓紹介で日の丸旗を先頭にレッドカーペットを歩いて登壇し、地区内全会員の熱烈歓迎を受けました。

非常にタイトなスケジュールの 3 日間でしたが、普段は経験できない台湾の多様な文化に触れることができ、有意義な国際交流となりました。

（第 2660 地区 大阪府）



いしい料理もたくさん食べ、参加者は皆さん、体重が増えたようです。本当に姉妹クラブとの交流は楽しいものです。この関係がわがクラブの魅力の一つとなり、会員増強や会員維持に役立っています。

事実、今回は退会した人も参加していましたが、この行事のおかげで 11 月に再入会する予定です。これからも姉妹クラブとの縁を大切に、国際的な友情をより深めていきます。

（第 2710 地区 広島県）



レッドカーペットを歩く

大東 R C 木村 克己

当クラブは 1995 年に台湾・第 3520 地区の台北雙溪ロータリークラブ（R C）と姉妹クラブの締結をし、

さらなる交流と親睦

第13回 日韓親善会議開催

開催日 2015年9月4日
場 所 グランドプリンスホテル新高輪
出席者 日本から 1,055人
韓国から 401人
総数 1,456人



ソウル国際大会へに向けて

今回の登録者数は、1,456人。13回の日韓親善会議の中で、最多となりました。前回、日本でこの会議が開催されたのは、両国の関係が悪化していた時。一般の人の目に触れる会場の外の看板に「日韓」の文字はなく、「ロータリー親善会議」となっていたことが思い出されます。そんな中でも、韓国から大勢のロータリアンが来日、会場では「こんな時だからこそ、ロータリアン同士の結びつきが大切」という友好的な雰囲気に満ちあふれていました。

ご存じのように、来年5月28日～6月1日は、ソウルで国際大会が開催されます。今回の会議は、「国際大会にぜひ参加してください」「日本からたくさん行って、国際大会を盛りあげましょう」という、両国のロータリアンの思いでいっぱいでした。

日韓親善委員会委員長（日本側）の渡辺好政氏は歓迎の辞で「日本と韓国の間には、現在、政治的にはいろいろ

んな問題が議論されていることも事実でありましょう。私は、『文化は政治を超える』と思っています。特にロータリーの先輩は、その歴史上、多くの国々の関係修復に果たした輝かしい実績を持っています」と、ロータリアンの実績を強調しました。

そして「私が幼い時に習った韓国の大好きなことわざに『行く言葉が美しければ帰る言葉も美しい』というものがあります」と述べ、「韓国と日本の両国関係の輝かしい未来を見つめる草の根の交流に王道はない」として、「韓国の『良さ』を日本人として尊敬し、尊敬し続けること」「日本人として、日本の『良さ』を真摯に伝え、伝え続けること」「両国の『良さ』を、合わせて発展させること」の3つを挙げました。

韓日親善委員会委員長（韓国側）の蔡熙秉氏は「親善会議は、回を重ねるごとに両国会員の協力と支援に勇気づけられ、友好と親善は強化され、より多くの友をつくりつつあることが大きな収穫であると思われます」と、この会議の意義について述べました。



日韓親善会議に功労のあった韓国側の委員を表彰



そして「最近、両国は多少不便な関係ではありますが、お互いに最も必要としている隣国である以上、正常化のため、各界で努力を続けている最中です。韓国と日本は長い間の交流と歴史を共有しながら、最も近い間柄として不可分の関係が続けてきました。両国関係が早く正常化され、未来志向的に新しい関係を築くためには、何よりもお互いに尊敬し合い、協力して、共に発展しようとする心がけが重要と考えます」と続け、ソウル国際大会への日本からの大勢の参加をお願いしました。

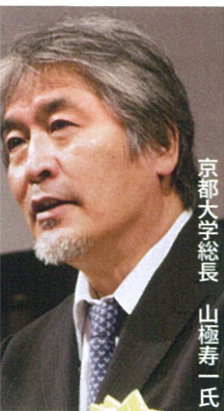
日韓親善会議の歴史を振り返る

これまで2日間にわたって開催されていた日韓親善会議ですが、今回は1日と、日程が短縮されました。その関係か、両国のロータリーの現況や活動の報告はありませんでした。その代わり、日韓親善会議の歴史を振り返るビデオが放映されました。日韓親善会議は、日本と韓国で交互に開催されています。中断されていた期間もありましたが、今回で13回目の開催となりました。この会議に最初から関わってきたロータリアンもとても少なくなり、恐らく参加者の多くが、その経緯を十分に知らないことと思われます。そんな中で、この会議を振り返り、その意義を再確認することは、今後の日韓両国

のロータリーの関係において必要なことだろうと思いました。

第1回の日韓親善会議は、国際ロータリー（R I）会長主催会議として、1982年4月27～29日にソウルで開催されました。スタンレー E. マッキヤフリー氏がR I会長を務めた年度です。この会議の案内で、日韓親善委員会委員・日韓親善会議日本側実行委員長の細谷実氏は「日本と韓国の間に現在国際的な緊張は存在していません。しかし、両国間にわだかまりがないわけではなく、韓国人で日本語のわかる年齢の方々が活躍しておられるうちに『地理的に最も近い国で精神的に最も遠い国』から地理的にも精神的にも近い国にしよう。そのためにはマッキヤフリーR I会長のこの度の親善会議のご計画は時宜を得たものと考えます。日韓親善委員会にとっても、本親善会議の開催はうれしいことです」と書いています。

残念ながら、日韓親善会議は1996年に慶州で開催された第6回を最後に中断されました。再開したのは、2003年。浦安で開催されました。この時、日本語を理解できる韓国のロータリアンは少なくなっていました。会議には通訳が入り、両国のロータリアン同士の会話は英語が多くなりました。その傾向はますます顕著になってき



京都大学総長 山極寿一氏



懇親会では千恵 Lee Sadayam さんが熱唱



田辺靖雄氏が入会を宣言



おそろいの赤いジャケットで参加

ました。前回、ソウルでの会議からはスマートフォンなどの翻訳アプリも活躍するようになってきました。

時代とともに形を変えながらも、ロータリアン同士の良い関係を築き、維持していこうという思いは変わることはないように思えます。

盛んになった両国の交流

駐日大韓民国特命全権大使の柳興洙氏は「今年は韓日国交正常化 50 周年を迎える節目の年です。過去 50 年間、両国の関係は前進と後退を繰り返しながらも、着実に発展してきたものと評価しています。1965 年当時、人的交流は 1 年に 1 万人にすぎませんでした。しかし、50 年がたった現在は 1 日に 1 万 5,000 人が行き来しています。民間交流における活性化、とりわけロータリアンの皆さまがお互いに対する絶え間ない愛情と関心を持ち、献身的に貢献を続けてこられたことも、このような関係の発展において、大きな柱になってきたことと思います。両国のロータリアンの交流が、引き続き活発に行われ、両国の関係において、このように深くおろした根をより力強いものにする役割を果たしていただくよう期待しています」と述べました。

さて、今回の基調講演は、京都大学総長・山極寿一氏

の「人間社会の由来とコミュニケーションの進化」。ゴリラやチンパンジーの生態や、それらとの違いから人間の生態や行動について話しました。

残念ながら、本会議の時、会場にあふれんばかりだった人々が、晩餐会では随分減ってしまいました。より親しい時間を持とうと、別に会食をする姉妹クラブもあったからでしょう。

晩餐会では、田辺靖雄・九重佑美子夫妻が懐かしい曲を聴かせてくれましたが、その最後に、田辺氏から東京城南ロータリークラブに入会するという発表がありました。同クラブでは以前から入会を案内していたようですが、日韓親善会議の席での発表となりました。同クラブが所属する第 2750 地区の水野功ガバナーは、自分の襟に付けていたバッジを外し、田辺氏に贈りました。ささやかなハプニングですが、会員増強の足がかりになるかもしれません。

さて、来年開催されるソウル国際大会には、日本から何人のロータリアンと家族が参加することでしょうか。行き来を盛んにして、日韓の懸け橋がより大きく、より強固なものになることを願った参加者も多かったと思います。次は、ソウルで会いましょう。

取材 『友』編集長 二神 典子

ソウルでお待ちしています

What's NEW?

2016年国際大会ならではの5つの特典！

2016年ソウル国際大会ホスト組織委員会



全世界約120万人のロータリアンのお祭り、ロータリー110年の歴史と伝統が息づく「国際ロータリー（RI）国際大会」が、2016年5月28日、韓国ソウルで華やかに幕を開けます。「Connect with Korea - Touch the World! 韓国で世界とつながろう！」をテーマに、6月1日まで、KINTEXセンター（ソウル郊外にある巨大な展示場）で開催。K.R.ラビンドランRI会長は、「ロータリーの国際的ネットワークを確認し、ロータリーの会員であることの真の意味を実感できる国際大会を通じて、ロータリアンとして地域社会を変え、『世界へのプレゼント』になる喜びを満喫しよう」と、全世界のロータリアンに向けて、ソウル国際大会への参加を呼びかけています。

尹尚求2016年国際大会ホスト組織委員会（HOC）委員長は「ソウル国際大会に5万人以上が参加し、これまでで最大の規模になることを期待しています。しかし、何より大事なのは中身です。最も素晴らしい国際大会、最高の国際大会にするよう努めます。韓国のロータリーの存在価値を高めるとともに、韓国を世界のロータリアンの皆さんに紹介し広報できる絶好のチャンスだと思っています。ロータリーの盛大な祝祭の歴史的瞬間でもある今度の国際大会に、韓国ロータリアンたちに進んで参



加してもらい、協力してもらいたい」と、6万人余の韓国のロータリアンたちに呼びかけ、全世界からの参加をお待ちしています。

親睦と友情と調和、そして知識の共有、これらを考えるだけで胸がワクワクしませんか。それでは、ソウル国際大会ならではの5つの特典を紹介します。

より便利で、楽しい ITスマートコンベンション

フリーWiFiはもとより、最新のモバイル機器を直接使ってみる機会が提供されます。通訳、道案内、大会日程、交通マップ、観光ガイド、グルメ、各種予約などサービスアプリを使ってカスタマイズできるようになっています。また、スマート映像ショーのホストホスピタリティの夕べのイベントまで、スマートなIT国際大会が楽しめます。

世界のロータリアンを迎える 歓迎プログラム

全世界から集まったロータリアンがこの地で出会います。韓国のロータリアンの家庭、ロータリークラブ、各地域の名所案内をはじめ韓国のロータリークラブとロ



ーターリアンを紹介し、互いの情報交換をする機会となります。

全世界のロータリアンが一緒につくり上げる 国際大会

世界平和を祈願する「平和のための3km ウォーク」や、ロータリアンとその家族が参加する「ロータリーファミリータレントショー」、また「友愛の家」では、韓国の18地区の地域文化を紹介する「地区展示場」をお見逃しなく！そしてKINTEXの近くで行われる「ホストホスピタリティの夕べ」は、ロータリーの価値を高めるにふさわしいイベントです。売り切れになる可能性がありますので、チケットのご購入はお早めに！

若い青年たちのための 世界青年指導者会議

ロータリー国際大会で初めての試みとなる「世界青年指導者会議（YLS : Young Leaders Summit）」が開かれます。世界各地の青年たち（19～35歳）が集まり、ロータリーの未来へのビジョンを話し合います。これからのロータリーを担う若者たちのグローバルソーシャルライジングの場となり、彼らの思いをロータリアンたち

と共有できる貴重な機会となります。

ロータリー国際大会史上初めての 地区大会同時開催

今までのR Iの規定は、国際大会と地区大会の同時開催を禁じていました。しかし、ラビンドランR I会長は、2016年ソウル国際大会期間中、地区大会の同時開催を大幅に支援しています。これは国際大会史上初めてのことで、国際大会の期間中に、世界のロータリアンとともに地区大会を行うことができる絶好のチャンスとなります。





R I 会長主催会議(カリフォルニア)に 日本のロータリアンが参加

東京米山友愛 R C 関 博子

国際ロータリー（R I）会長の K. R. ラビンドラン氏と財団管理委員長のレイ・クリンギンスミス氏は、ロータリーの重点分野に焦点を当てた一連の会長

主催会議を開催することを発表しました。2016 年 1 月から 3 月までの間、世界で 5 回の会議が開催されます。

その皮切りが 1 月 15 ～ 16 日にアメリカ・カリフォルニア州オンタリオにて開催される会議。テーマは「平和と紛争予防／紛争解決」です。その中でも 1 月 15 日に開催される分科会「TRACK M: ROTARY CREATING PEACE INTERNATIONALLY」に、私を含め 4 人の日本のロータリアンが登壇しプレゼンターを務める予定になっています。

2012 - 13 年度 R I 会長の田中作次氏が、ベルリン、ホノルル、広島での 3 か所で開催した「ロータリー世界平和フォーラム」は、皆さまの記憶に新しいのではないのでしょうか。広島でのロータリー世界平和フォーラム終了後、平和への思いを引き継いで派生した「ミャンマー教育支援プロジェクト」を通じて、米山学友を中心とした東京米山友愛ロータリークラブ、東京米山ロータリー

開催日	主題	場所
1 月 15 ～ 16 日	平和と紛争予防／紛争解決	アメリカ・カリフォルニア州オンタリオ
2 月 19 ～ 20 日	疾病予防と治療	フランス・カンヌ
2 月 2 日	経済発展	南アフリカ・ケープタウン
3 月 12 ～ 13 日	識字率向上と「WASH in Schools」	インド・コルカタ
3 月 18 ～ 19 日	「WASH in Schools」	フィリピン・バサイ

E クラブ 2750 の両クラブは、多国籍の会員の特徴を生かし、各地で平和実践活動が続けておりましたが、ホノルルで開催されたロータリー世界平和フォーラム実行委員長のスティーブ吉田氏（第 5000 地区 The Rotary eClub District 5000 Hawaii）の要請により、今回の企画につながりました。

当日は、2013 年ロータリー世界平和フォーラム広島での継続事業として行われているもう一つの活動、緑の遺産活動「グリーン・レガシー・ヒロシマ・イニシアティブ」（『友』誌 2015 年 9 月号横組み P26）について、米山記念奨学事業とその意義について、米山奨学生の経験を踏まえた体験談を各自ショートスピーチならびにディスカッションをする予定です。

広島でのロータリー平和フォーラム同様、ただ聴くだけではなく、すべての出席者が意見交換などを通して、会議に参加することができます。私たちと一緒にオンタ

リオで、皆さまのクラブの、そして日本のロータリーの平和への取り組みについて、ご紹介いただきたくお願いいたします。

詳細と登録につきましては、同会議の公式サイトをご確認ください。

<http://www.peaceconference2016.org/>

登壇予定者：

川妻二郎（第 2710 地区 広島南 R C）「2013 年ロータリー世界平和フォーラム 広島～平和はあなたから始まる Peace Begins with You～」実行委員長

関博子（第 2750 地区 東京米山友愛 R C）

楊錦華（第 2750 地区 東京米山友愛 R C 中国出身の米山学友）

金玉暉（第 2750 地区 東京米山友愛 R C 韓国出身の米山学友）



米山梅吉記念館で 秋の例祭を開催

米山梅吉をご存じですか。1920年10月20日に日本で初めて創立された東京ロータリークラブ（RC）の生みの親です。東京で生まれた彼は、4歳の時に父竹造の死去により、母生家の静岡県三島に移り、神童の誉れ高く、11歳の時に長泉町で400年以上続く米山家に請われて養子縁組を結びました。

その長泉町にあるのが米山梅吉記念館です。米山梅吉の遺徳を偲びロータリーへの貢献を顕彰するため、1969年に米山ゆかりの長泉町に開館しました。1998年には新館も完成し、地元の長泉RCの例会場として利用されているほか全国からロータリアンが訪れます。

その米山梅吉記念館では、春と秋の年2回、例祭を開催し、全国から多くのロータリアンが参加して、講演を聴いたり、親睦を深めたりしています。本年秋の例祭は、9月12日に開催され、150人が一堂に会しました。

米山記念館理事長の渡邊脩助氏は、あいさつの中で「記念館の認知度が低く、米山記念奨学

会の中にあるものと誤解されている方も多い。全国に記念館の存在を知ってもらうための情報発信に努めていきたい」と話しました。

確かに認知度の点では低いのが現状だと思います。しかし、春と秋に開催されるこの例祭は、クラブ行事でというよりも、個人で気軽に訪問することができ、創始者や日本のロータリーの歩みを知ることのできる素晴らしい機会だと思います。



小沢一彦氏

記念講演は、米山記念奨学会理事長の小沢一彦氏。米山記念奨学会に関する話を中心に、国際大会、ロータリー財団など多方面にわたる話をしましたが、冒頭、「初めて伺いましたが、この状態で皆さま方がお守りいただいていることに感激しています」と、記念館の維持に努めているロータリアンに感謝を述べました。

記念講演の後は、勝又里乃さんによるマリンバ演奏を楽しみ、懇親会で親睦を深めることができました。百聞は一見に如かず。米山梅吉記念館を訪ねてみませんか。日本のロータリーの創始者の思いを身近に感じ、ロータリーに対する新たな思いがわいてくることでしょう。

取材 『友』編集長 二神 典子



渡邊脩助氏





“よねやま”から広がる新しい世界 ⑨

日本とバングラデシュを芸術で結ぶ



東京リバーサイドR.C.
(第2580地区 東京都)

元クラブ米山記念奨学委員長
樋口 四郎 さん

受賞をきっかけに深まった交流

クラブでは、イクバル氏を2年間お世話しましたが、私が彼と本格的に親しくなったのは、奨学期間後半の秋ごろでした。彼は非常に優秀で、卒業作品が(公財)野村財団の主催する新人美術家顕彰制度「野村美術賞」に選ばれたのです。これは、東京藝術大学大学院博士課程の中で特に優秀な学生に贈られる賞で、外国人留学生が受賞する例は希^{まれ}だと聞いています。実は、米山奨学生になる以前、彼は新人画家の登竜門として名高い「青木繁記念大賞公募展」の大賞を受賞していたのですが、そのことを一言も話さなかったのも、われわれも、彼のすごさを知らなかったのです。野村美術賞の受賞を機に彼の能力の高さや国費留学生として来日した経緯、生い立ちなどを知り、どんどん親しくなっていきました。

卒業から帰国までの数か月間、経済的なサポートが一切なくなってしまった彼を、当時の米山カウンセラーの呼びかけで、私を含むクラブの有志5人で支援しました。5人がそれぞれ、ポケットマネーで彼の絵を買ったのですが、彼の技量からすると、格安だったかもしれません。

そのほか、国内各地を旅行するなど、行動を共にするうちに、単なる米山奨学生と世話クラブの会員という関係を超え、親しい友人として付き合うようになりました。彼がダッカ大学美術学部^{ビジュアル・アーツ}に准教授として迎えられと決まった時には「帰国したら、必ず来てほしい」と熱心に誘われました。社交辞令でなく本気で言ってくれているとわかり、彼の気持ちに応えたいと、一緒に支援した榎本孝会員とダッカを訪れました。大学で彼が教壇に立ち、

バングラデシュの発展を支えていく学生を指導する姿に感動しました。教育に携わる人を支援すれば、その効果は桁違いに大きいと実感した旅でした。

クラブ全体で情報共有して応援

イクバル氏と知り合わなければ、われわれがダッカに行くことはなかったでしょう。帰国してからも、「バングラデシュ」「ダッカ」という文字を目にすれば、自然と関心を持たざるを得なくなり、そのため、近年、両国の交流が大きく進展していることも知りました。そのかげに、彼の活躍があることを、とてもうれしく思います。

彼は、日本の大学との学術交流に尽力するとともに、ダッカの日本大使館と協力し、両国の文化交流にも貢献しています。日本の安倍晋三首相夫妻がダッカ大学を訪問された際には、彼のアイデアで、日本に国費留学した画家の作品を集めて展示し、案内役を務めるなど、日本との懸け橋となる役割を立派に果たしたそうです。

彼の活躍は今も随時、例会で“イクバル情報”として会員全員に伝えています。「また言っている」と、会員はあきれているかもしれませんが、彼の活躍を通じて米山記念奨学事業の意義は理解されていると思います。

イクバル氏は、アーティストとしても、教育者としても、まだまだ高みを目指すことのできる人材です。世話クラブとして、また友人として、われわれはこれからも彼を応援し、さらなる活躍を期待したいと思います。



安倍首相に自身の作品を贈るイクバル氏

今年度の「よねやまだより」は、前年度に続いて「“よねやま”から広がる新しい世界」シリーズをお届けします。米山奨学生との出会いが異文化への理解や国際交流につながったといった体験談を、ロータリアンと奨学生双方の視点から語っていただきます。今月は、バングラデシュのダッカ大学美術学部で准教授として教壇に立つ傍ら、画家としても活躍中の米山学友、モハメド・イクバルさんと世話クラブの樋口四郎さんにお話を伺いました。



米山学友

モハメド・イクバルさん

出身：バングラデシュ

奨学期間：2008 - 10

学校名：東京藝術大学大学院

米山記念奨学金のサポートを得て

私が米山奨学生になったのは、博士課程2年の時です。芸術専攻の学生は、創作活動にすべての時間をかけなければならず、2年間の奨学金のおかげで、創作や論文執筆に専念することができました。目標の博士号を3年で取得できた上、野村美術賞も受賞できました。経済的に助けられただけでなく、毎月参加する世話クラブの例会で皆さんと仲良くなり、私をとて大事にしてくれるのを感じて励まされました。

私は国費留学生として来日し、最初に地方の大学で学んでいましたので、博士課程で東京に進学してからは「田舎の人に比べて東京の人は冷たい」という印象を持っていましたが、東京リバーサイドロータリークラブの皆さんとの交流を通じて、その温かさに感動しました。今も、仕事で日本に行く時には必ず皆さんに連絡して、会うようにしています。ロータリークラブ

では、みんなが集まり、仲良くなって、良いことを考えます。そのことにも大きな影響を受けました。

日本との交流を深める役割を担う

現在、私が最も力を入れているのが、芸術分野で日本との交流を活発にすることです。昨年の東京藝術大学の学部長との会議では、同大学とダッカ大学美術学部の間で、教員や学生の交換プログラムを提案し、合意を得ました。まずは油絵専攻で始め、軌道に乗ったら、徐々にほかの学科にも広げていきたいと思っています。

また、大学に日本の環境美化活動を導入し、年に1～2度、学生と教職員と一緒にキャンパス内を大掃除しています。これまで母国の大学ではこうした取り組みはなく、学生たちも「学びの場がきれいになった」と喜んでいました。

今後も日本との交流を深め、学生たちが世界に目を向け、その可能性を伸ばせるようサポートするのが私の役目と信じて、力を尽くしたいと思います。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または「よねやまだより」についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



ソウル国際大会で米山の分科会を開催します！

2016年5月28日～6月1日に開催されるソウル国際大会では、米山史上初となる分科会を開催し、世界のロータリアンに日本の米山記念奨学事業をPRします。ロータリアンの皆さん、ぜひ分科会に参加し、この歴史的瞬間を見届けください。また、会期中は「友愛の家」にブースを出展します。ソウル国際大会は、東アジアで開催されるまたとない機会であり、米山奨学生・学友の参加を呼び掛けています。お知り合いの奨学生・学友をお誘い合わせのうえ、一緒にご参加ください。なお、奨学生・学友のご登録の際は、当奨学会事務局へご連絡ください。

★分科会 日時：2016年5月30日（月）14：00～／会場：KINTEX 内／タイトル：米山記念奨学会の成果－世界に平和の種をまく日本全地区合同プロジェクト－

※日時は変更する場合がございます。詳細は当奨学会ホームページ（<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>）をご覧ください。

World Roundup

世界のロータリーニュース



フランス

約 3,200 人が参加した 1 月の献血キャンペーンには、2013 年ミスフランスのマリーヌ・ロルフェリンさんも参加し、同国で最大の成果を収めた献血行事の一つとなりました。

地元バストガバナーのジャンクロード・ブロカール氏によると、ロータリアン、ローターアクター、インナーホイールの会員も受付や軽食の提供といったかたちで 4 日間の運営をサポートし、トゥールーズのキャピトル広場を含む要所での献血活動も支援しました。

ブロカール氏は 1998 年、国レベルの団体と協力して My Blood for Others という献血活動を開始。この活動は現在、国内 100 都市、400 以上のクラブが参加する一大キャンペーンとなっています。

* 1924 年、イギリス・マンチェスターで、ロータリアン夫人による組織として創設された国際組織。参加資格はその幅が広がってきており、男性配偶者ならびに元ロータリアンの配偶者なども参加しています。

世界保健機関（WHO）は、
2020 年までに
すべての血液需要が
献血によって満たされるよう
各国に呼びかけています。



ガーナ

スニヤニの街では毎週水曜日、何千人もの人々が集まる市場が開かれています。しかし、市場にはトイレがありませんでした。そこで 2013 年、ロータリアンはロータリー財団のグローバル補助金 2 万 1,000 ドルを利用して、トイレを設置するプロジェクトを実施。「地元当局が設備管理を行っているため、現在も適切にトイレが維持されている」と、スニヤニ・セン

トラル・ロータリークラブ会員のンヤマー・コフオールさんは話します。

この地域では、2011 年にも小学校に井戸とトイレを設置するロータリーのプロジェクトが実施されており、今回はその衛生プロジェクトを拡大するかたちでの実施となりました。



アメリカ

アメリカでは成人の6人に1人が十分な読み書きができず、ミシガン州では3人に1人となっています。デトロイト市に限ると識字率はさらに低く、就職やキャリア向上における深刻な障壁となっています。

そこで、ミシガン州のグロスポイント・ロータリークラブ（RC）とカナダ・オンタリオ州エセックスRCが協力し、地元の識字団体 Pro-Literacy の支援のために3万7,000ドルのロータリー財団グローバル補助金プロジェクトを実施しました。

同団体はこれまでに成人1万2,000人の識字力向上を支援し、8,000人の教育指導員に研修を行っています。このプロジェクトは2013年に終了しましたが、Pro-Literacy 責任者のマーガレット・ウィリアムソン氏（デトロイトRC）は、プロジェクトの成果を絶賛し、「現在も多くのロータリアンが支援を続けている」と話します。

今回の補助金によって、ボランティアの教育指導員250人の募集と研修、学生460人以上の識字指導が行われたほか、ロータリアンによって図書25万冊が集められ、地元団体に配布されました。

読み書きできない成人は
世界全体で7億8,100万人、
約3分の2は女性です。



中国

香港のペニンシュラサンライズ・ロータリークラブは、2012年5月に湖南省で起きた洪水の被害者3,500人に米を提供。

その2年後、同省で再び大洪水が発生し、11都市の家屋1,800戸が崩壊、200万人の生活に甚大な被害が及びました。

湘西トゥティ族ミャオ族自治州の赤十字からの支援要請に応じ、同クラブの会員は、被災地を訪れて1,750枚の毛布を配布するなど、包括的な支援活動を展開しました。



ベリーズ

2014年、ベンケビエホ・ローターアクトクラブ（提唱クラブ：サンイグナシオ・ロータリークラブ）の会員13人が、クリスマス時期に高齢者とシングルマザーのための支援活動を実施。クラブは実施直前の7月に創立したばかりで、クラブの存在をアピールする機会にもなりました。

「この時期になると多くの団体が子どもを対象とした支援を行うため、独自性を出すために高齢者とシングルマザーに注目した活動を決定しました」と会長のアストリド・サラザール氏は話します。グアテマラ国境付近の町で活動する同クラブは、募金行事を通じて資金を集め、25ドル分の食料が入ったバスケットを準備し、支援を必要とする地元の17家族に配布。バスケットには、米、砂糖、豆、オーツ麦、粉ミルク、コンデンスミルク、調理油、ソーセージなど、一家族を数日間養うのに十分な食料を入れました。



あなたはロータリアン？

「My ROTARY」の登録はうまくできましたか？

毎年度、国際ロータリー（R I）会長は重要視する分野を「会長賞」という表彰プログラムを通じ推進、実際にそれを達成したクラブには表彰状を進呈しています。2015 - 16 年度、K. R. ラビンドラン R I 会長はインターネットを利用した組織運営を普及させるため、受賞要件の大半をオンラインに關係する内容にしました。

受賞要件の一つに、クラブ会員の少なくとも 50% がロータリーの公式サイト「My ROTARY」にアカウント登録（＝ユーザー登録）を完了していることという選択項目があります。それをご覧になって、地区やクラブで「My ROTARY」へのアカウント登録を推進されていることと思います。

クラブの会員が登録する時、気をつけなければいけないポイントがありますので、ご紹介します。

登録済みの方「ちょっと確認」を

登録を済ませた方、「My ROTARY」にある「ロータリークラブ・セントラル」にアクセスできますか。開こうとすると「一部ページにアクセスできません」と出てきませんか。

もし出てきたら、あなたは「ロータリークラブの会員」としての登録ではなく、「一般の人」として登録されています。会員としての登録がされていないと、クラブの状況や自身のロータリー財団への寄付状況など、大事な情報を見ることができません。

先ほどのメッセージの下に「こちらのページから当方までご連絡ください」とありますが、そちらを開かずに、





会長・幹事、クラブ事務局にご連絡ください。

その時に、「登録したメールアドレス」と「パスワードを覚えているか否か」を併せて連絡すると、担当者の後の作業が楽になります。

これから登録する方 「ゆっくり進んで、しっかり確認」

「My ROTARY」を開き、「ログインする／アカウント登録」をクリックします。ログイン画面が出てきたら、右下にある「アカウント作成」をクリック。「アカウント登録情報」に①名（名前）、②姓（名字）をいずれも半角英文字で入力し、③メールアドレス（携帯のアドレスは非推奨）を入れ、「18歳以上ですか」という質問の「はい」にマークして、「続ける」をクリックしてください。

この時に「住所欄」が出てきたら、そこで作業をストップして、クラブの会長・幹事、事務局に連絡してください。その際には、登録に使うメールアドレスもお知らせください。あなたの情報（メールアドレス）が、R Iに登録されていないか、違った情報が登録されている可能性があります。

一方で、「アカウントの登録情報」という画面が表示されたら「国際ロータリー」から、登録したアドレスに「ロータリーウェブサイト：登録完了まであと少しです」というメールが届きますから、文中の「アカウントを有効にする」をクリックしてください。

「アカウント設定」の画面が開いたら、指示に沿ってパスワードなどの設定をしてください。

クラブでは「会員情報」を登録していますか

R I 理事会決定で、2015年1月1日から、入退会の報告期限が30日以内となったこともあり、「My ROTARY」から会員情報を登録しているクラブも増えてきていると思います。「My ROTARY」にメールアドレスを登録していなかったり、「My ROTARY」に登録されている情報と会員がアカウント登録の際に入力した情報が違っていると、会員としての認識がされずに一

般の人として登録をされてしまいます。

会員として認識されていないと、クラブで50%の会員が登録をしたつもりでも、R Iではそれ以下とカウントされてしまい、R I会長賞の要件を満たすことができなくなります。

また、会員自身も見ることのできないページがでてきてしまいます。

そんな問題が発生しないよう、今のうちに一度クラブの中で、登録の確認をしてください。また、会員データに適切なメールアドレスが登録されているかどうか、再確認してください。

会員から登録時に「住所欄」が出てきたという報告があったら、My ROTARYの会員データの連絡先情報に、申請のあったメールアドレスを入力してください。

「登録したのにロータリークラブ・セントラルが開かない」という連絡があったら、「クラブ名・会員名」と「登録したメールアドレス」と「パスワードを覚えているか否か」をR I日本事務局のクラブ・地区支援室にメールでご連絡ください (rijapan@rotary.org)。

「My ROTARY」は便利なツールです

ここまで読むと、ちょっと面倒な気がするかもしれませんが、実際にやってみると意外と簡単にアカウント登録ができます。ロータリアンとしての登録ができれば、クラブや自分の情報を見ることができるだけでなく、ロータリーの最新情報を知ったり、そこから国際大会への登録ができたりします。また、自分の情報を発信したり、世界中のロータリアンが入っているグループに参加したりすることもできます。ご活用ください。

東京西ローターアクトクラブによる東北被災地支援活動

東京西 R A C 2014 - 15 年度会長 佐野 英志

東京西ローターアクトクラブ（R A C）は、東北被災地復興支援として、2012 年度から 3 年にわたり、宮城県を中心に N P O や仮設住宅の方々のご協力のもと、教育支援、地域活性化（物づくり）、女性の自立支援を行ってきた。

2012 - 13 年度は、台湾の台北西 R A C、京都西 R A C、そして東京西 R A C の合同例会とし、ローターアクト 20 人が宮城県気仙沼市、登米市を訪問した。津波被害にあった場所を訪れ、気仙沼市危機管理課の方から、当時の様子や復興の現状を教示いただいた。沿岸部に隣接する登米市の南方仮設住宅では、子どもたちを対象に、ブロック玩具を用いたロボット制作とそのロボットを動かすためのプログラミング体験講座を開催した。

2013 - 14 年度は、前年度の実績などを評価していただき、当クラブが所属する第 2750 地区による東北支援事業のホスト役を担当した。第 2750 地区は全国で唯一海外の R A C（グアムマリアナ R A C、サイパン R A C）を擁しており、当時はマリアナ R A C から会員を迎え、東北の復興現場の視察と宮城県南三陸町の海岸復旧作業に 27 人で参加した。

そして 2014 - 15 年度は、東京西 R A C 創立 45 周年ということもあり、登米市で地域活性化を主眼に活動する N P O 法人とめタウンネットのアマプロジェクト（以下 A P）と協同で、記念事業として仮設住宅に住む女性の経済的、精神的自立支援と物づくり支援を行った。

同法人が展開する A P では、仮設住宅の被災者にアク

セサリーや手芸の商品製作を依頼し、A P が主体となって卸先を開拓、卸先での委託販売（東京のデパートほか）などで上がった収益を、製作者である被災者へ還元するというビジネススキームで被災者の自立を支援している。

当クラブでは 45 周年記念式典で配布する記念品に R A C をイメージした別注プレスレットの製作を A P に依頼した。そして、ただ製作を依頼するだけでなく、会員が現地を訪問し、製作者からレクチャーを受けながら被災者とともにプレスレットを製作した。

そして創立 45 周年を迎える本年、東北支援をきっかけに周年記念行事の一環として、台北西 R A C と姉妹クラブとなった。既に京都西 R A C と姉妹クラブの関係であり、また、京都西 R A C と台北西 R A C は以前から姉妹クラブの関係にあったため、2015 年 4 月をもって東京西 R A C、京都西 R A C、台北西 R A C は国・地域を超えた三姉妹のクラブ関係となった。過去 3 年にわたり続けてきた東北被災地支援活動を 45 周年記念事業として位置づけ、4 月 26 日に開催された記念式典において、事業報告をさせていただいた。

東北復興支援に参加する中で、東京西 R A C はさまざまなご縁をいただいた。姉妹クラブはその一つであろう。そして、震災復興に限らず、ロータリーの職業奉仕の精神を念頭に、私たちが得ることのできるご縁と体験を糧に、これからも姉妹クラブとともに協同して東北被災地復興支援へ貢献していきたい。（第 2750 地区 東京都）



震災5年目のふくしまから歌で思いを発信！

福島21RC 2014 - 15年度特別事業実行委員会 広報担当 渡辺 浩子

震災から5年目。一人ひとりが抱えているさまざまな思いや、伝えたいメッセージをステージ上で歌声として発信することにより、福島に生き、共に今を分かち合いながら、元気をつかみ前を向いて歩き出すことを目的として、「第1回 皆で繋ごう歌まつり in こむこむ」を5月17日に開催しました。

30組100人近い出場者の中には、いまだ避難中の方、仮設住宅住まいの方もおられます。5歳から94歳まで、それぞれが福島から皆に伝えたいメッセージや今の思い

などを歌に込めて披露しました。出場者の皆さんの歌声からは、福島への思い、福島の元気がしっかりと伝わってきて、司会を担当していた会員が、感動のあまり号泣してしまう場面もありました。そんな涙あり笑いありの歌祭りは、全員で合唱をする感動のフィナーレで幕を閉じました。会員が汗を流し、皆でつくったイベントが福島の復興の小さな一歩になることを信じて、来年も開催します。皆さんまた笑顔でここ福島で会いましょう！

(第2530地区 福島県)



姉妹クラブと東日本震災復興基金日本委員会に感謝

青森RC 2014 - 15年度会長 川嶋 勝美 2014 - 15年度奉仕プロジェクト委員長 木村 義正

6月12～13日、岩手県山田町と陸前高田市の三保育園を表敬訪問しました。当クラブは震災以来「絆プロジェクト」を立ち上げ、3度にわたり43の保育園、児童館に震災で失われた絵本やDVD、運動マットなどの機器類を贈る活動をしてきました。2014 - 15年度は姉妹クラブの京都南ロータリークラブ(RC)、函館RC、そして東日本震災復興基金日本委員会の協力を得て人気キャラクターのスライダーや、お昼寝用毛布、砂場の砂など、ご要望の品を寄贈することができました。

活動の状況確認も兼ね、青森から6人、京都南からは3人で山田町と陸前高田市の三保育園を訪れ、大変



喜んで利用されている状況を確認。充実感を味わうことができました。写真は、陸前高田市山田町の保育園での利用状況です。今回はペダルもブレーキもない形式の自転車を送り、園児たちは足で蹴って進み足でブレーキ、自由自在に走り回っております。ご協力いただいた皆さまに深く感謝申し上げます。(第2830地区 青森県)

— 東日本大震災

津波到達地石柱の清掃

宮古東RC 2014 - 15 年度復興支援プロジェクト委員会広報 吉田 昇

宮古東ロータリークラブ（RC）は、震災の津波到達地を後世に伝える石柱の設置事業において、未代まで設置場所を動かすことがないように、2012年6月から宮古市の沿岸延べ100kmの公共地や神社仏閣の境内付近に集中的にお願いして18か所に設置してきた。

この石柱設置においてわがクラブは2011年8月に復興支援プロジェクト委員会（山崎秀男委員長）を立ち上げ、「2011年3月11日から未来の貴方へ」と銘打ち、540万円の事業予算で海沿い延べ100kmに石柱18か所分18基を設置した。

わがクラブと会員は2011年3月11日に被災した後、例会を再開したのが5月末であった。会員は何をしたらよいのか後退する思考と行動の中で模索が続い



た。そのような時にロータリー財団の補助金の支援の話を聞き申請したが、緊急性がないとして支援を受けられなかった。その時、第2520地区からの仲介で、堺東RC（第2640地区・大阪府）と下関RC（第2710地区・山口県）が自クラブの周年記念事業として支援協力を申し出てくださり、さらに、岐阜淡墨RC（第2630地区・岐阜県）からの支援金などで何とか予算にめどがつき、堺東RC 9基、下関RC 8基、岐阜淡墨RC 1基の資金援助を受けた。石柱は県内姫神山産の花崗岩、台座を含み高さ1m、幅20cmの四角柱、前面上部に金色のロータリーロゴと「津波到達地」の文字、側面に土地提供者名、支援クラブ名、後面に提唱するわがクラブ名を彫り刻んだ。

設置してほったらかしではロータリーの奉仕の精神にもとるとして、昨年は沿岸北側方面の田老、田野畑、普代地域の5か所を清掃したが、6月7日、今回は沿岸南方面、本州最東端の重茂地区4か所の石柱を拭き、磨き、周囲の雑草刈りの清掃を行った。思いのほかきれいに管理されていたことには、沿岸地域の人の海嘯^{かいしょう}に対する畏怖の教訓として石柱に対する浜人の思い入れを知ることができた。

清掃の後、会員である松本清司支配人の国民休暇村陸中宮古の野外ガーデンにおいて例会を行い、当時、場所確保のため困難を極めた地権者の協力をいただくことに奔走した山崎委員長の労と清掃した会員の労、なにより事業実現のため支援協力いただいた温かい気持ちを忘れることのないようにと遠方3クラブに感謝しつつ、まぶしい午後の日差しの下、バーベキューと冷たいビールで石柱巡りと清掃の旅を締めくくった。

（第2520地区 岩手県）

チンチン電車修復お披露目式・ 避難家族帰還応援子ども交流イベント 保原ロータリークラブ

4月18日、クラブ創立50周年記念事業として、チンチン電車（路面電車）の修復保存事業と自主避難している子どもたちの帰郷の一助になればと、避難している家族を招待し、地元の子どもたちとの交流イベントを開催した。

お披露目式では、よみがえった電車の内部も一般公開され、当時を知る人は懐かしんでいた。子ども交流イベントでは、金魚すくい、ポン菓子などの露店、園児による太鼓の演奏、ふわふわ遊具などで大いににぎわった。

（第2530地区 福島県）



何度も恐縮ですが、ロータリーの公式ロゴ

新しいロータリーの公式ロゴが発表されたのは、2013年8月のことです。この新しいロゴについては、『ロータリーの友』でこれまでに何回もご紹介しました。また、地区のセミナーなどでも紹介され、かなり浸透してきたように思います。

それなのになぜ、またロゴの話なのかと思われる方もいらっしゃると思います。実は、今年度に入って、以前のロゴを使っていたり、新しいロゴについて勘違いをして使っていたり、また、禁止されている方法で使っている印刷物をたくさん目にするようになったからです。

残念ながら『ガバナー月信』や地区のホームページ、地区大会の案内など、地区で作成されたものにもロゴが間違っているケースがありました。クラブの週報やホームページでは、ロゴに関する間違いが、より多く見られます。前年度は正しく入っていたのに、今年度は元に戻ってしまった地区やクラブもあります。

一年ごとに担当者が代わったり、同じ地区やクラブでもプロジェクトごとに担当者が違うので、正しかったり間違っていたり、ということが起こるのだと思います。ですから、新しいロゴとその使い方について、全員が共有する必要があります。

ここであらためて、ロータリーの公式ロゴについてご紹介します。よく目にするのが、ロータリーの黄色い歯車だけを使っているケースです。これは「誇りのシンボル」と言って、公式ロゴではありません。公式ロゴは黄色い歯車の横に「Rotary」の文字があるものです。文字と歯車とを合わせて公式ロゴとなっていて、その文字の種類や歯車に対する位置、大きさが決

められています。

以前の黄色とブルーの歯車の横に「Rotary」の文字が入っているものも目にします。一見、どこが間違っているのかわかりにくいのですが、歯車の色は黄色一色でなければいけません。

今年度に入って目立つのが、ロータリーの歯車の中に「Rotary International」の文字の入っていない、簡易ロゴが使われているケースです。これはデジタルメディアで小さいサイズにしなければならない時に使うもので、印刷物には使いません。

さて、先ほど「誇りのシンボル」と書きましたが、黄色い歯車だけの誇りのシンボルは、「公式ロゴ」と一緒に使うもので、単体で使うことができません。

「公式ロゴ」は、歯車の直径13mm以上で使わなければいけません。「誇りのシンボル」は一緒に使う「公式ロゴ」の4倍以上のサイズにしなければいけません。従って、13mmの4倍以上ですから、52mmより小さくすることはできないのです。例えば、公式ロゴの歯車の直径が20mmの場合は80mm以上で使わなければいけないということになります。

これも多い間違いですが、これらのロゴの上に文字や写真などを重ねることはできません。ロゴを薄くして文字を重ねているというケースをよく見かけますが、これはしてはいけないことになっています。

スペースの関係で詳細は書けませんが、『友』誌2015年1月号横組みP13～15の記事をご参照ください。より詳細に知りたい場合は、国際ロータリーのホームページの「My Rotary」の「役立つツール」にある「ロータリーブランドリソースセンター」を

クリックして、中に入ってください。『ロータリーを生き生きと表現しよう』という冊子に詳細が掲載されています。また、この「ブランドリソースセンター」から、ロータリーの「公式ロゴ」や「誇りのシンボル」を入手することができます。

新しいロゴについて、情報を共有してください。公式ロゴを正しく使うことは、公共イメージ向上のための活動の第一歩です。『友』編集長 二神 典子



誇りのシンボル

Rotary



公式ロゴ

× Rotary



以前のロゴと組み合わせ
て使うことはできません

× 私たちの活動
Rotary



文字や写真などを上に重ね
て使うことはできません



今月はクロスワード。ロータリーのことはよくわからない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。ただし、二重枠に入った文字を入れるとロータリーに関する言葉になります。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

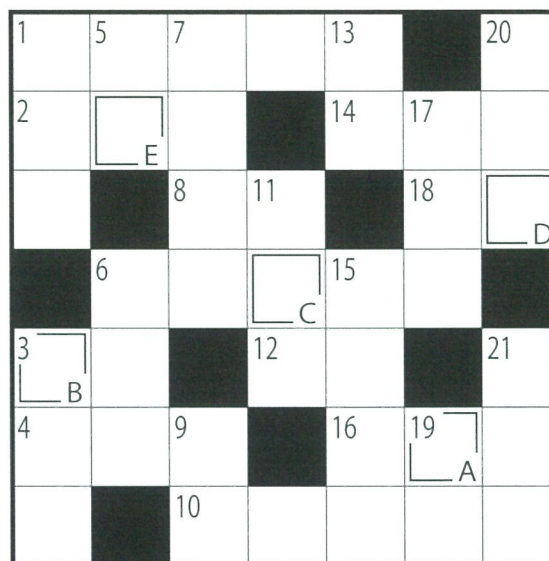
問題 二重枠に入った文字をAからEの順に並び替えてできる言葉は何でしょう？

ヨコのカギ

- 1 11月15日は七五三。七五三の縁起物のお菓子とい
えば
- 2 テニスや卓球での、球の打ち合い
- 3 物干し——卓球——
- 4 算数や理科や社会と並び称される
- 6 打球がぐんぐん伸び、フェンスを越えて…
- 8 かぐや姫はこの植物の中にいた
- 10 お客やお金を呼ぶという縁起物
- 12 海や湖や池などではない部分
- 14 値段のこと。——破壊
- 16 じっとこらえること
- 18 琵琶湖がある県

タテのカギ

- 1 新聞に挟み込まれていたりする広告の紙
- 3 うねうねと曲がりくねっていること
- 5 十二支の10番目
- 6 ——器——園 学童——
- 7 毛糸で編んだ上着。そろそろ出番かな
- 9 赤飯に塩ともども振ったりする
- 11 火のないところにはたたないはず
- 13 機械装置。——音痴な人も
- 15 授業中、教科書についこんなことをする人も



答 A B C D E

- 17 信用しすぎる。自分の体力を——して失敗した
- 19 模倣ともいいます
- 20 テレビ番組をレコーダーに——してあとで楽しむ
- 21 ダルマとかセキセイとか

プレゼント

毎月10人の方にロータリーの友ロゴ入りオリジナル
ペンをプレゼント（2色ボールペン＋シャープペン）



* 8月号の答えと解説を横組みP 39に掲載しています。

応募方法

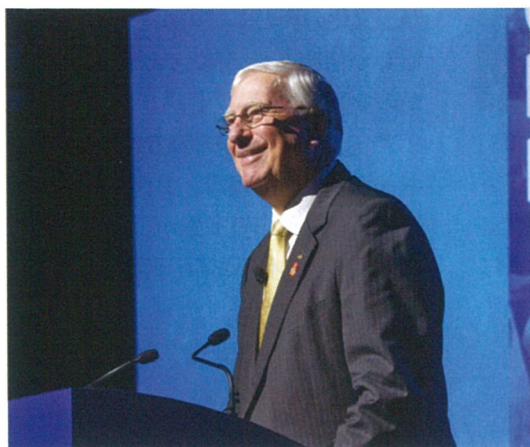
郵便はがきに、①名前 ②所属クラブ ③住所 ④電話番号 ⑤「11月号の答え」 ⑥今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。ご記入いただいた個人情報誌面企画の参考と、賞品発送のためにだけ使用させていただきます。印象に残った記事に関する回答は「印象に残った記事ランキングベスト3」の集計に使用します。会員のご家族の方もご応募できます。

締め切り 2015年12月10日（木）必着

正解と当選者発表 本誌2月号

来月のパズルは、数独。お楽しみに！

イアン H. S. ライズリー氏が
2017 - 18 年度 R I 会長に



2017 - 18 年度国際ロータリー(R I) 会長として、イアン H. S. ライズリー氏(オーストラリア・サンドリンガム・ロータリークラブ、RC)が R I 会長指名委員会により選出され、10 月 1 日をもって、ライズリー氏が正式に会長ノミニーとなりました。

ライズリー氏は、「ロータリーの未来には、企業や他団体とのパートナーシップが重要だ」と話します。

「ロータリーがプログラムや人材を備え、外部組織はそのほかのリソースを持っています。『世界でよいことをしよう』という目標は、誰にとっても同じです。ポリオ撲滅活動が、将来のパートナーシップのためのロータリーの認知度を極限まで高めたことを学ばなければなりません」

会計士であるライズリー氏は、オーストラリア国内外の企業会計を専門とする Ian Riseley and Co. の社長を務め、国際情勢に強い関心を寄せています。2002 年には東ティモールでの活動をたたえられ、オーストラリア政府から「AusAID Peacebuilder Award」を受賞。2006 年にはオーストラリアの地域社会への貢献が認められて、オーストラリア勲章を受章しました。

「各国政府は、ロータリーを善き市民団体の代表的存在と見ています。ポリオ撲滅活動でアドボカシー活動を行ってきたように、平和と紛争解決の分野でも政府への働きかけを行うべきです」とライズリー氏は述べます。

1978 年にロータリークラブに入会して以来、R I の財務長、理事、管理委員、理事会執行委員、タスクフォースメンバー、各種委員会の委員と委員長、ガバナーを歴任しました。オーストラリアでのポリオ撲滅活動「Australian Polio Eradication Private Sector Campaign」の元メンバーであり、「ロータリー財団 ポリオのない世界のための奉仕賞」を受賞しました。ジュリエット夫人とともに、ポール・ハリス・フェロー、メジャードナー、遺贈友の会会員となっています。

R I 会長指名委員会には、黒田正宏氏(青森県・八戸南 RC)氏が出席しました。

教育と地域経済の発展のために 協同するロータリアン

アメリカ・カリフォルニア州パークレーとメキシコ・チャカラは 1,800 マイル(約 2,900 km) 以上も離れていますが、この 2 つの市のロータリ

ークラブはとても近い関係にあります。2003 年以来、パークレー市内のロータリークラブとベヒア・デ・ハルテンバ・ラ・ペニータ・ロータリークラブ(RC)は、協同でナヤリット州の沿岸地域で、教育と地域経済の発展のためのプロジェクトを行ってきました。

最近行った農村のラス・バラスの職業学校の改修で、これまでで最も大きな成果が生まれました。これはロータリー財団のグローバル補助金と 6 地区 25 クラブの寄付を得て行われ、3 週間以上にわたって 90 を超える教師、学生、親、ロータリーなどの団体が参加したものです。学生たちがその地域で高い成長の可能性がある仕事が得られるよう、特に 3 つの研究室(コンピューター室、調理室、化学室)には財団の補助金を使って、新しい設備が整えられました。

このプロジェクトのきっかけは、パークレーのロータリアン、ペイト・トムソン氏が 1998 年にチャカラ近郊を訪れた際、経済的な理由で学校をやめてしまう子どもが多いことを知り、活動したらどうかと自分が所属するクラブに持ちかけたことです。数年後、パークレー RC は、小学校の代わりになるラーニングセンターをつくり、奨学金プログラムを支援しました。

カロリナ・ゴンザレス・リバス氏も



MONIKA LOZINSKA / ROTARY INTERNATIONAL

この奨学金を得て高校を卒業し、金融学の修士号を取得。現在はロータリークラブに入会しています。

「ロータリーがここに来て、教育を支援してくれることで、学生たちが大きな夢や人生のビジョンを持つことができます。そんなことが、世界を変えていくのです」とリバス氏は言います。

学校の改修が始まったのは、2015年に入ってからでしたが、パークレーのロータリアンたちは2年以上前からそこを訪れ、地元の人たちと話し合い、ニーズを聞き、提案をしてきました。

国際大会カウントダウン ソウルの芸術スポット



ソウルには個性的な地区が盛りだくさん。ショッピングなら明洞、ナイトライフなら弘大、繁華街なら江南へ。伝統工芸やアンティークが好きな人に

は、工芸品や古美術の店が並ぶ仁寺洞がお勧めです。5月28日～6月1日に開催される2016年ソウル国際大会に参加の際に、足を延ばしてみたいかがでしょうか。

仁寺洞が観光地として知られるようになったのは朝鮮戦争後のことですが、文化の街としてのルーツは、宮中絵師が活躍した500年以上も前にさかのぼります。

アート街としての特徴は、点在するギャラリーや、陶器、手作りの紙、伝統工芸を扱う店の多さからもうかがえます。また、木のお面、真珠の宝石箱、

管理委員長の思い

11月が「ロータリー財団月間」である理由

2015-16年度ロータリー財団管理委員長 レイ・クリングスミス

11月はロータリー財団に注目し、財団プログラムに対する認識向上と財団寄付の推進に一層大きな力を傾ける月となります。しかし、なぜ11月なのでしょう。



これは1956年5月、国際ロータリー(RI)理事会によって11月15日を含む週が「ロータリー財団週間」に定められたことから始まりました。この特別週間は、私がロータリー財団の国際親善奨学生として南アフリカに留学した1961年時点で既に定着しており、アフリカ南部の大半のロータリークラブで財団にスポットを当てた取り組みがこの週に実施されていました。また、帰国後に私の故郷であるアメリカ・ミズーリ州ユニオンビルクラブに入会したのですが、そこでも同様の取り組みが行われていました。

当時、多くのクラブでは、財団週間中の例会の食事コストを抑え、節約した分を財団に寄付するという工

夫がなされていました。そのころはロータリアン個人ではなくクラブとしての寄付が大半であったため、この方法は財団寄付を向上する上でとても効果的でした。しかし、なぜRI理事会は、11月15日の週を選んだのでしょうか、さらに1983-84年度から、週間から月間へと期間を拡張することを、1982年に決めたのでしょうか(この時、財団週間だけでなく、すべての週間が月間になりました)。

これは私の推測ですが、1956年の決定は、当時の北半球にあるクラブ、特に大規模クラブで、夏期(6~8月)の活動があまり活発でなかったことと関連しているのではないのでしょうか。このため、財団について会員の理解を深めるには、年度開始から少し時間を置いたところで、時間をとって会員を啓発するのがベストであるとの考えに至ったのだと思います。多くの寄付はクラブから寄せられるものであったため、このような時間はクラブ内で寄付を募るためにも重要でした。また、投資目的からロータリー年度上半期に送金するという観点もあったため、このような計らいはクラブと財団の両方に

にとってプラスとなりました。

私の推測がどうであれ、ロータリー財団月間は、私たちの財団の成功にとって欠かせぬ存在で、これからも重要な月であり続けるでしょう。11月は、地区やクラブが質の高い財団プログラムについてロータリアンを啓発し、より良い世界を築くための支援を募るという伝統を継承する月となります。

私たちの財団はロータリアンからの支援によって支えられている最高の組織です。ロータリアンの多くは、古くから続く11月のロータリー財団月間を通じて財団に対する理解を深めており、この月間の重要性を軽んじることはできません。今月、全てのクラブが、財団にスポットを当てた活動に取り組み、全てのロータリアンが、クラブや地区の財団行事に出席することを願っています。財団月間は、大きな影響と成果を生み出す伝統です。皆でこの伝統を継承しましょう。



刺しゅう入りのバッグのほか、韓国の旗や人形、箸、扇子、スリッパなどのあまり伝統的ではない実用品も多く、お土産探しには事欠きません。

屋台が集まる地域では、木の実を繭状にくるんだ絹のような舌触りの宮廷菓子、クルタレ作りの実演を見ることができます。夏にはアイスクリーム屋が道行く人の足を止め、冬になるとホットク(餡や木の実が入ったホットケーキ状のお菓子)を求める行列ができます。

週末、歩行者天国になる目抜き通りでは、音楽パフォーマンスや大道芸を見て楽しみましょう。

2016年ソウル国際大会への登録は、www.riconvention.org/ja から。

今後のR I 国際大会

2016年5月28日～6月1日

韓国・ソウル

(以下、予定)

2017年6月10～14日

アメリカ・アトランタ

2018年6月24～27日

カナダ・トロント

2019年

都市と日程は未定

2020年6月7～10日

アメリカ・ホノルル

統計

全世界ロータリアン総数

1,209,491人

クラブ数 35,114 クラブ

地区数 535 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 187,864 人

クラブ数 8,168 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 423,499 人

クラブ数 18,413 クラブ

国と地域 150 以上

2015年7月1日現在

* 2015 - 16年度

** 2015年6月30日現在

ロータリーの
ニュースは

ROTARY
JAPAN
Home Page www.rotary.or.jp

「パズル de ロータリー」(8月号)の答えと解説

8月号の答えは

「エバンストン」

当選者(敬称略・順不同)

小林大真(弘前RC)、塩谷邦昭(千葉南RC)、南井秀樹(東近江RC)、柴崎源喜(渋川RC)、仲田裕行(高槻RC)、鈴木啓司(浜松東RC)、岸本昌法(玉野RC)、櫻井英喜(新潟南RC)、高橋孝幸(駒ヶ根RC)、田代守人(静岡南RC)

応募総数 200人 正解者 200人

ハ	ナ	ビ	シ	ツ	ド
タ	マ	カ	シ	ム	リ
エ	ノ	キ	ジ	ン	
オ	シ	ゴ	ト	ク	
ト	ウ	オ	ク	ハ	
メ	グ	リ	ケ	サ	
ザ	イ	ス	ナ	ツ	ビ

ところで「エバンストン」って?

ロータリー発祥の地、シカゴ(アメリカ・イリノイ州)から車で北へ約30分行ったところにある街です。ここエバンストンに国際ロータリー(R I)世界本部があります。『友』の「エバンストン便り」はここからきています。

「ワン・ロータリー・センター」

とも呼ばれるR I世界本部のビルには、事務総長をはじめ約530人の職員が働いていて、ロータリアンの奉仕活動を支援しています。R I会長室、R I理事会会議室、ロータリーの最初の会合が開かれたユニティ・ビル711号室を再現した



部屋もあり、多くの人が訪れています。

R I世界本部が、今のビルに移ったのは1987年。ロータリーの本部は当初、ロータリーの発祥の地、シカゴにありましたが、1954年、エバンストンにロータリーが建築、所有する建物に移りました。しかしロータリーの拡大に伴い、手狭になってしまったので、当時、売りに出されていた、1977年に建てられた18階建てのビルを購入することがR I理事会で決定されたのです。このビルには、総面積3万7,160㎡のオフィス、専用駐車場、190人を収容できる講堂、カフェテリアなどがそろっています。ロー

タリーが使用しているのはこのビルのほぼ3分の1(1～3階の一部と11～18階)で、残りの3分の2はテナントに貸しています。このためこのビルの抵当は1993年に償還し、現在はR Iの収入源にもなっています。

機会があれば、世界本部を訪れてみては? R I会長に会えるかもしれません。見学ツアーをご希望の方は、事前にR I世界本部に予約をお願いします。

『友』8月号

印象に残った記事ベスト3

1位 (51人)

ちょっと変わった例会の
食事エピソード①

2位 (29人)

出会い、感動、夢への挑戦!

3位 (23人)

わがまち……そしてロータリー
鹿児島県指宿市

おまけ

ROTARY 掲 示 板

事務所住所変更

沼田 (2840・群馬県)

〒 378-0042 沼田市西倉内町 669-1

沼田商工会館内

塩尻北 (2600・長野県)

〒 399-0737 塩尻市大門八番町 4-21

ホテル中村屋内

例会場・曜日・時間変更

札幌清田・札幌幌南 (2510・北海道)

プレミアホテル T S U B A K I 札幌

(建物名称変更)

利府 (2520・宮城県)

利府ゴルフ倶楽部 第3のみ 18:00

茂原 (2790・千葉県)

真名カントリークラブ

東京西北 (2580・東京都)

第3のみ 18:00

京都田辺 (2650・京都府) 大扇

小林 (2730・宮崎県) みずのや

各種変更はお早めに お知らせを

「掲示板」原稿は『ガバナー月信』、各ロータリークラブから文書で通知されたものを基に作成しております。ご所属地区ガバナー事務所や、国際ロータリーのウェブサイト「MY ROTARY (www.rotary.org/myrotary/ja)」などへクラブ事務所・例会場・例会曜日や開始時間など、各種変更をご連絡される時には同時に、『友』事務所へもお知らせください。多様なお知らせが本欄には載ります。毎号ご確認ください。

広報誌 ROTARY (一般向け／会員勧誘用) 好評 発売中!



今年度も公共イメージ向上のため、一般向け、会員勧誘用の広報誌を最新版に改訂して制作しました。

一般向け『ROTARY 世界と日本』は、ロータリーの国際的な活動の紹介と日本のロータリークラブの活動を写真中心に紹介。1セット(10冊)定価500円+消費税(送料別)です。

会員勧誘用『ROTARY あなたも新しい風に』は、ロータリアンになったら実際にどのような活動をするのか? という視点で、例会・出席や職業奉仕について紹介。1セット(5冊)定価400円+消費税(送料別)です。

見本誌とご案内状(申し込み用紙付き)は『友』9月号と一緒に、クラブへお送りいたしました。

ご注文は、友事務所まで。

ロータリアン必携 ロータリー手帳

「ロータリー手帳」は、ロータリー活動に役立てていただけるよう、毎年ロータリー年度に合わせて製作し、今年度用のものは、2016年12月までの予定が記入できます。

各地区のガバナー名、ガバナー事務所の住所、電話・ファクス番号、Eメールアドレス、地区大会の予定や、今回大きく変わった各月の強調月間名など、基本的な要項はすべてそろえてあります。

2015 - 16年度もロータリアンのご要望に答えさらに使いやすいよう、付録のロータリー関連資料を含め最新版に改訂しました。引き続き、印刷用紙は森林認証紙、インクも環境に配慮したものを使用しております。色はロイヤルブルー、サイズは男性上着の内ポケットに入る大きさです。

現在、追加注文を承っておりますが、在庫ある限りにて、お早目のご連絡をお願い申し上げます。

定価600円+消費税(送料別)

お申し込みは、クラブ事務局を通し、ロータリーの友事務所までお願いいたします。

～『ロータリーの友』へご投稿される時に～

◆ご注意ください

メール投稿の場合、送信件名欄にはクラブ名を記し、メール本文に投稿原稿について、昼間ご相談できるお名前・お電話番号などの連絡先を記載した上で、原稿/写真データ(原則JPEG・容量1枚200キロバイト以上)を個別に添付し、お送りください。

◆お願いがあります

取捨選択・掲載欄は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にて、ご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後6か月をめどにご判断ください。

インターアクトクラブ名称変更

埼玉県立幸手高等学校→埼玉県立幸手桜高等学校 (2770・埼玉県)

2015年9月28日承認

『友』誌で購読部数変更についてのお願い

- ①今年度『友』誌下半期分(2016年1月号～6月号)減部のご連絡は、2015年12月7日までに直接、友事務所へお願いいたします。ご連絡は、郵便・電話・FAXのいずれでも結構です。
- ②1月号の発行部数決定や発送準備の都合上、12月8日以降は、1月号の減部はご容赦ください。
- ③12月8日以降の会員変動による減部は、2016年1月12日までにご連絡いただければ、「2月号～6月号」の減部として対応いたします。
- ④1月13日以降にご連絡いただいた減部はすべて、次年度7月号からになりますので、お気をつけください。
- ⑤追加お申し込みは、残部がある限りお受けできます。随時ご連絡ください。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2015年12月号と同じ部数を送付いたします。

2014年1月号から、印刷版に加え電子版を会員の皆様全員にご提供しております。1月号～6月号下半期の購読料は電子版も含めて、定価200円＋消費税といたします。ご不明の点など、お問い合わせはロータリーの友事務所までお願いいたします。

ご投稿・お問い合わせは——

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15
黒龍芝公園ビル4階
一般社団法人ロータリーの友事務所
ロータリージャパン www.rotary.or.jp
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

地区別クラブ数・会員数・出席率一覧表 (2015年8月末現在)

地区	R C 数	会員数	前年同月末 会員数	出席率(%)
第2500地区	67	2,281	2,269	80.50
第2510地区	70	2,585	2,580	84.08
第2520地区	79	2,298	2,284	79.90
第2530地区	66	2,394	2,339	74.84
第2540地区	42	1,113	1,113	81.68
第2550地区	51	1,743	1,706	85.21
第2560地区	56	2,121	2,071	81.91
第2570地区	51	1,646	1,687	83.67
第2770地区	73	2,591	2,612	82.15
第2790地区	84	2,783	2,788	96.08
第2800地区	50	1,643	1,619	87.69
第2820地区	57	1,984	1,978	83.64
第2830地区	40	1,151	1,136	83.47
第2840地区	46	2,062	1,967	80.69
第2580地区	70	3,033	3,013	84.63
第2590地区	59	2,146	2,191	87.58
第2600地区	55	2,002	1,998	87.91
第2610地区	65	2,626	2,621	83.78
第2620地区	78	2,981	3,009	88.60
第2630地区	78	3,119	3,122	86.93
第2750地区	100	4,822	4,693	78.63
第2760地区	83	4,840	4,854	94.18
第2780地区	65	2,368	2,330	80.63
第2640地区	70	1,806	1,968	86.00
第2650地区	97	4,653	4,615	90.80
第2660地区	81	3,619	3,657	87.40
第2670地区	74	2,992	2,992	85.04
第2680地区	73	2,864	2,886	90.30
第2690地区	67	3,116	3,103	86.26
第2700地区	61	3,186	3,179	90.30
第2710地区	74	3,332	3,313	91.63
第2720地区	74	2,390	2,421	85.94
第2730地区	65	2,363	2,342	84.32
第2740地区	57	2,234	2,220	85.00
34地区合計	2,278	88,887	88,676	

日本のロータリー

会員概数 88,599人

クラブ数 2,269

(左の表中34地区合計から、第2750地区のPBグループを引いた数です)

ガバナー月信より 左の表ですが、第2750地区のクラブ数・会員数は、PBグループ9RC288人(北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ)を含みます。P6「日本のロータリー」数は、34地区合計からPBグループを引いた数。前年同月末PBグループ9RC会員数315人。

修正 本誌10月号横組みP50(7月末)表中修正、地区平均出席率:2770・83.72%、2650・91.03%、2710・92.08%、地区会員数:2520・2,291人、2530・2,371人、2560・2,111人、2570・1,647人、2770・2,584人、2840・2,056人、2780・2,362人、2670・2,974人、34地区合計会員数を88,027人、表外とP6「日本のロータリー」最終行会員数を87,744人へ修正。

※『ロータリージャパン』の「ロータリー関連資料」には、データ修正後の表を掲載。

※第2520地区の数値は震災につき概数。第2640地区の数値集計遅れのため34地区合計数も概数。

ロータリーの友

12月号主要記事予定

横組み 自然災害に備えるロータリー

東北すくすく気仙沼プロジェクト 東京RC

World Roundup

よねやまだより

縦組み いじめ予防を考える

こども発達科学研究所浜松オフィス所長

わがまち……そしてロータリー

和久田 学

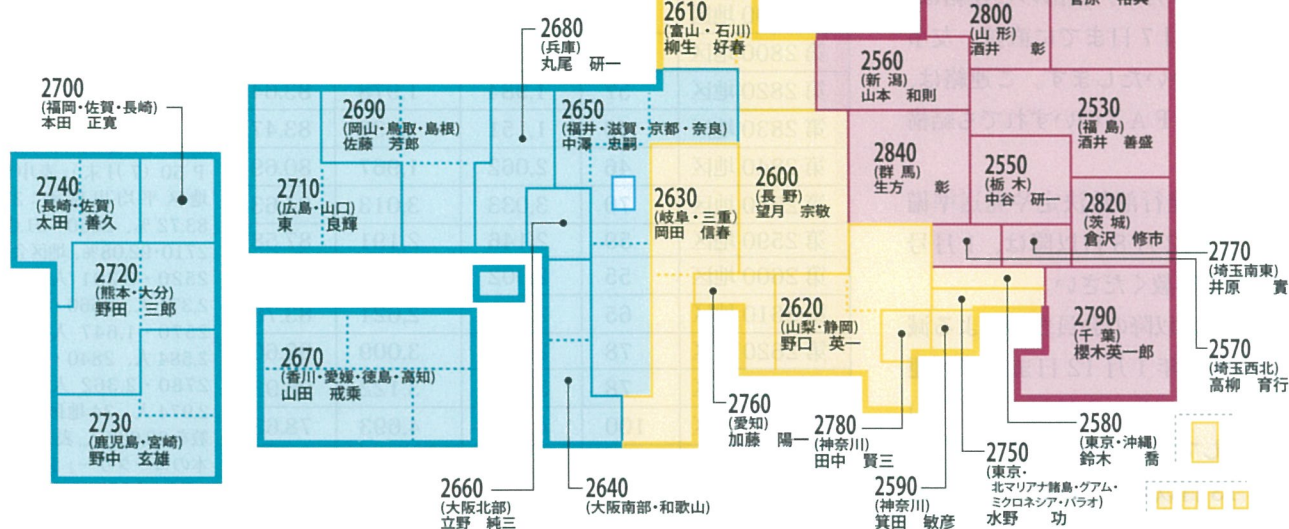
松本市

Rotary





第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『Rotary Japan』 www.rotary.or.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第63巻 11月号

2015年10月31日印刷 2015年11月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員
杉谷 卓紀 (玉名)
斎藤 直美 (豊田)
鈴木 喬 (東京江北)
水野 功 (東京飛火野)
箕田 敏彦 (横浜)
立野 純三 (大阪)

■ 理事会

代表理事 橋本 長平 (京都東)
理事 清水 良夫 (横浜)
中山 義之 (横浜南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
藤居 彰一 (日立)
大野 清一 (横浜東)
田中 俊實 (鹿屋)
上山 昭治 (東京武蔵野中央)
大槻 哲也 (東京中央)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)
二神 典子 (東京築地)
船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
板橋 敏雄 (足利東)
中村 昌平 (東京北)

■ 監事

■ 相談役

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 二神 典子 (東京築地)
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
野崎 恭子
山名 愛
飯田亜由香
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
ホームページ www.rotary.or.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

※ 本誌・本報は一般社団法人ロータリーの友事務所までお知らせください。
本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

ご投稿をお待ちしています

原稿や写真は活動後1か月以内にお送りください

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

- ・1か月に1人はがき1枚に3句(首)。なるべく肉筆(楷書)で。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を明記。

友愛の広場

- ・エッセー、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感などの掲載欄。1,000字以内。関連写真があれば添付を。

バナー自慢(「友愛の広場」欄の中です)

- ・各クラブのバナーの紹介欄。クラブのバナーの現物を、折り目がつかないようにご郵送ください。原稿はバナーの由来、図柄についてなどを50～100字以内で。

ロータリー・アット・ワーク写真編

- ・ロータリークラブ、インターアクト、ローターアクトなどの奉仕活動をカラー写真で紹介。写真に150字程度の説明文を添えてください。記念写真(集合写真)は、掲載できません。説明文には必ず、活動日を記入。

ロータリー・アット・ワーク文章編

- ・ロータリークラブや地区の活動を紹介。原稿は600字以内。関連写真があれば、添付を。

送り先 一般社団法人ロータリーの友事務所

Eメール hensyu@rotary-no-tomo.jp

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

内外よろず案内

- ・国内外の会員間の趣味の交換、催し物の案内、情報提供のお願いなどについての欄。原稿は200字以内。

掲示板

- ・新クラブ、新インターアクトクラブ、新ローターアクトクラブ開設、事務所、例会関係変更など、また『友』からのお知らせを掲載する欄です。各種変更は決まり次第、早めにご連絡ください。

◆注意事項

メール投稿の場合、送信件名にはクラブ名を記し、メール本文に原稿についての連絡先を記載した上で、原稿/写真データ(原則JPG・容量1枚200キロバイト以上)を必ず個別に添付し、お送りください。

◆お願い

取捨選択・掲載欄は、一般社団法人ロータリーの友事務所理事会ならびにロータリーの友編集部にて、ご一任ください。誠に勝手ながら、掲載・非掲載のご連絡は差し上げておりませんが、投稿後6か月をめどにご判断ください。

肖像画のことなら信頼と実績を誇る日本肖像へ

肖像画壇を代表する一流画家が揮毫 芸術の香り高い迫真の肖像画。



価値ある人生の年輪を永遠に
法人企業や団体の創立者、功勞者のご顕彰に。叙勲、褒章、就任退任のご記念に。還暦、古希、喜寿、米寿など人生の節目の記録に。金、銀婚式などのお祝いに、また遺影を肖像画にしますと仏間の暗さが減じ明るくなります。褪色のない油彩肖像画・・・是非お薦め申し上げます。

日本肖像は日本で一番権威のある肖像画家の団体「全日本肖像美術協会」の一流先生方の揮毫による最高の油彩肖像画をお届けいたします。

■詳しい資料・カタログをお送りいたします

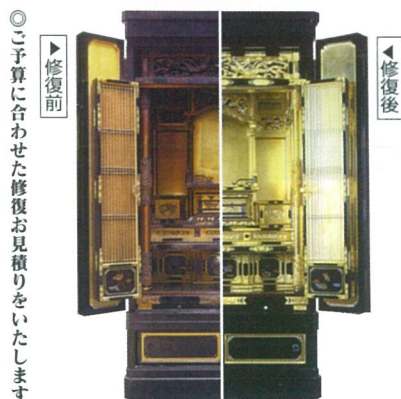
ホームページ <http://www.nihonshouzou.jp/>

株 日本肖像 ☎ 0120-222-368

東京事務所 / ☎ 03-5285-3141
福岡事務所 / ☎ 092-451-0133 広島事務所 / ☎ 082-264-6075
熊本本社 / ☎ 861-1102 熊本県合志市須屋3882-1
☎ 096-249-1081 FAX 096-249-1082

京に生まれ育って186年、若林はお仏壇・仏具の専門店です!

伝統的工芸品の京仏壇から新感覚の仏壇・仏具まで
在庫豊富に取り揃えております。



お仏壇の
「洗い修復」
承ります。

伝統工芸 京仏壇・京仏具
(株) **若林**

全国お見積り無料
0120-37-8585
フリーダイヤル
(各店共通)

京都本社 / 〒600-8218 京都市下京区七条通新町東入
東京店 / 〒146-0081 東京都大田区仲池上2丁目8-13
築地店 / 〒104-0045 東京都中央区築地3-15-1(築地本願寺内)
札幌店 / 〒064-0919 札幌市中央区南19条西9丁目
仙台店 / 〒980-0821 仙台市青葉区春日町8-5
近江草津店 / 〒525-0027 草津市野村1丁目3-10
福岡営業所 / ☎ (092) 761-3737

<http://www.wakabayashi.co.jp/> 若林仏壇 検索

楽天市場店「お仏壇ショップ」<http://www.rakuten.co.jp/kyo-butsudan>

表紙のメッセージ

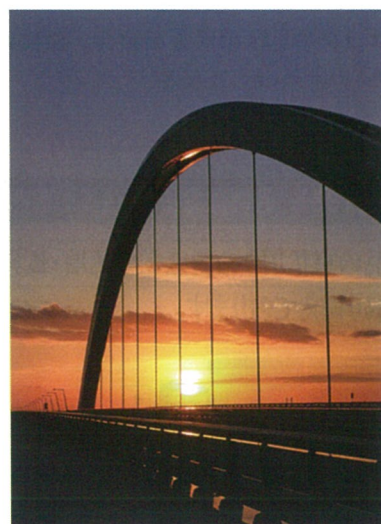
岡井 耀 毅



「紅葉の庭園」(埼玉県)
撮影 内山 明夫 (2570 東松山むさし)

岡井 輝生

ここは埼玉県のほぼ中央、比企郡滑川町にある比企丘陵の「国営武蔵丘陵森林公園」——
東京ドーム六十五個もの面積があり、四季折々の自然の風景が楽しめる。
そのなかにある「カエデ園」は、十一月中旬から六百本の紅葉がライトに照らし出されて、えもいえぬ息をのむ美しさで幽玄そのものの空間を創り出している。
朝夕の冷え込みで紅葉は三日も経てば別の色に染まりはじめる。
「深まる秋を撮りたくて三週連続して通いつめ、やっと三週目で撮り収めたこれぞ一枚のショットです」
と、内山明夫氏は言う。
撮影は、平成二十一年十一月下旬。
この園に紅葉照り映え夢のごと



「朝日を受けて」(福岡県)
撮影 松田 博文 (二七〇〇 苅田)

※

ここは福岡県苅田町の北九州空港連絡橋で、全長二〇〇メートルの巨大な大橋が日の出に照らし出されている。
早朝、愛犬を連れてカメラを担いで散歩に出かけた松田博文氏は橋の中央にある大きなアーチにさしかかったとき、一段と輝く朝日に照らされた大橋がのしかかるように強固なものに変わってしまったよう思わずシャッターを押したという。

「連絡橋の散歩は楽しいのでときどき行きます。犬を車に乗せて、橋のたもとから散歩するのが楽しみです」
と、松田博文氏は言う。

(ジャーナリスト)

表紙こぼれ話

再募集しておりました、二〇一五—一六年度『ロータリーの友』一二〜三、五月号の表紙写真公募に、たくさん作品をお送りいただき、ありがとうございます。結果は決まり次第、ホームページ「ロータリージャパン」www.rotary.or.jp、および『友』誌にて発表いたします。

さて、『友』誌はロータリーからの応募写真で表紙を飾っていますが、他の国はどうなっているのでしょうか。最近の『ザ・ロータリアン』の表紙には、イラストや話題の人物写真などが掲載されています。多くの地域雑誌では、その国の風景やロータリーが活動している様子、記事に関連した写真などを掲載しています。『友』誌のように、ロータリーの雑誌の表紙が、会員の撮った写真だけで作られていることは珍しいことです。

これまでの『友』誌の表紙をさかのぼると、絵画や工芸品などの美術品、写真家による風景や世界遺産の写真など多種多様です。ロータリーが描いた絵を載せていた時期もありました。七月号はすべての「ロータリー・ワールド・マガジン・プレス」が、国際ロータリー会長の写真を掲載しますが、同じ写真でも地域雑誌によって趣向を凝らした表紙となっています。そのお国柄が表れるロータリーの地域雑誌、『友』表紙写真を次号以降もご期待ください。

なお、第一回大会に参加した鶴ヶ島市内のチームの選手の一人が現在、Jリーガーとして活躍している。

名勝嵐山の地で こども相撲大会開催

京都西南ロータリークラブ

第二六五〇地区 京都府

クラブは毎年、観光地として有名な京都・嵐山の嵐山中ノ島公園で「嵐山こども相撲大会」を開催している。

第五回を迎える今回は夏真っ盛りの七月二五日、所在区域の京都市西京区・右京区の小学生を対象に、特設土俵で開催した。大会の特徴は小学一年生から参加できることで、男子の部、女子の部の一く六年生の学年別、男女別のトーナメント方式で対戦。敗者復活戦もあり、また、他の大会ではあまりない低学年の部の参加者も多く、大変喜ばれている。今回は計二〇四人がエントリーし、低学年の部では小さいながらも懸命に取り組む姿が非常にかわいらしく、保護者の応援にも熱が入る。高学年になってくると「MYまわし」持参で参加するつわものもみられ、相撲が地域に親しまれていることがうかがえる。負けて悔し涙を流



小学生が力いっぱい取組

しているのは女子ばかりで、取り組みの真剣さに脱帽させられる。一三位の入賞者には、金、銀、銅のメダルを贈呈。未来の地元関取誕生も夢ではないかも……。

お父さん、お母さんのもとより、ジジイ、バアバアまで多数が応援する中、元氣いっぱいに取り組むさまは、感動を呼ぶ。地元・嵐山保勝会の支援、京都府相撲連盟の審判協力、各小学校の参加者募集の協力など、地域社会一体となって開催し、地域に根付きつつあるこの大会は、半年前から準備し、前日、当日早朝から夕刻まで暑さと戦いながら手弁当で行っている。会員一同、全力投球のやりがいのある事業であると、誇りに思っている。

天皇家ゆかりの 松が育ちました

仙台青葉ロータリークラブ

第二五二〇地区 宮城県

樹木医である、わがクラブの田中秀穂会員が四年間、京都御苑（御所を除く）の松の種を大切に育て、現在三〇〜四〇センチになりました。わがクラブが第二六五〇地区の京都紫竹ロータリークラブの協力を得て、

東日本大震災の被害者に役立てることを条件に、特別に分けていただいた種から育ったものです。防風林として海岸に植えようか、個人の庭や神社や公園などに植えようかと迷っています。

そこで全国のロータリアンの皆さんに相談です。皆さんが支援してくださっている被災地の人たちのために、この松を役立たせてみませんか。アイデアや情報をください。松は基本的に無料です。

忘れられたのではないかと、考えがちな被災者を励ましたいと思っています。国際ロータリー国際大会の「友愛の家」でお会いしたたくさんの方、地区大会やロータリーデーや被災地の支援活動でお会いした



種から育てた京都御苑の松

方々、わがクラブが四年間温めていたメニューです。左記メールまで、ご一報期待しています。
matubayashi@jindo.com
(大江勝雄・記)

Annotation

R 国際大会 (RI Convention)
すべてのロータリアンとそのゲストに開かれている年次国際会合です。主な目的は、国際レベルにおいて、ロータリアンを鼓舞、激励し、かつ情報を与えることによつて、地区レベルとクラブレベルにおけるロータリーの発展を推進する意欲を喚起することです。また、国際大会はロータリーで培われた生涯の友情を祝うための場でもあります。『二〇一三年手続要覧』一〇七〜一〇九頁、一三五〜一三六頁、一六〇〜一六三頁参照。

交流の場にもなっています。

今回は、財団・米山の各学友会および会員と家族、市民の総勢一〇〇人が集いました。この日は、うだるような暑さでしたが、時折、樹木の隙間から涼しい風が頬をなでてくれ、無事、草刈り作業を終えました。

作業後の懇親会では、バーベキューや青竹を使つての流しそうめんなどに舌鼓を打ち、ジャズバンドも加わり、終始大にぎわいでした。

会長から、ロータリーの奉仕活動について、寄付金の一部は国際的な奨学事業として活用されていること、そして、世界中に広がる組織による各種の奉仕活動が紹介され、今回もその活動の一つであるとの説明がありました。次回開催への期待の声が大きく聞こえてきました。



流しそうめんを楽しむ参加者たち

恒例の川開きを開催

三原ロータリークラブ
第二七二〇地区 広島県

クラブでは七月一九日、青少年奉仕活動として、一六年目を迎える「やはた川自然公園」川開きを開催。広島大学附属三原小学校の四年生約六〇人とその保護者、当クラブ会員の総勢二〇〇人が参加しました。

この事業は、児童が自然にふれあい楽しむ機会を持つことで、自然と共に生き、生かされてきたという日本人らしい感性を養い、併せて、郷土・三原の良さをあらためて認識してもらうことを目的としています。

児童たちは元氣よく、園内を流



友達と一緒に、笑顔で昼食を楽しむ子どもたち

れる八幡川に入り、放流された体長二〇センチほどのアユ約五〇〇匹を追っていました。岩場を探り、捕まえると、大きな歓声を上げて喜んでいました。そして捕まえたアユに自分できしを刺し、昼食として炭火で焼いて保護者と一緒に楽しみました。

その後、御調八幡宮の宝物館で、普段は見ることができない、鎌倉時代の仏像彫刻など国の重要文化財を見せていただき、神主さんから説明を受け、郷土の歴史や文化を勉強しました。児童の代表者には後日、この事業に参加した感想を例会で発表してもらいました。これからの時代を担う青少年に、心に残る「ギフト」になったと思います。

(勝村憲明・記)

第一〇回を迎えた少年サッカー大会

鶴ヶ島ロータリークラブ

第二五七〇地区 埼玉県

当クラブでは毎年七月、鶴ヶ島市内を中心に市外からのチームも参加し、「鶴ヶ島ロータリークラブカップ少年サッカー大会」を開催している。大会の趣旨・目的として「正しいスポーツ文化の継承」を主眼に置きながら、青少年健全育成の一助と



会員から選手一人ひとりの首にメダル

して「フェアプレー」「勇気・感動・希望」「交友」の機会と場を提供している。

今回は七月一八〜一九日に記念すべき第一〇回大会を迎え、鶴ヶ島市と市教育委員会の後援を得て開催した。近隣のほか、東京都や埼玉県、静岡県、群馬県、山梨県など遠方からの参加を含め三六チームが出場し、予選は六か所の会場に分かれて、決勝は市内の運動公園で行った。

決勝戦は、JACPA東京フットボールクラブ（東京都）と北坂戸サッカークラブ（埼玉県）によって行われた。両者白熱した試合を展開していたが、後半終了間際に一点を取り、JACPA東京フットボールクラブが優勝。手に汗握るプレーに感動した。



子ども向けの選曲で盛り上がった体験会

今回は一〇五人の参加者を得て「古山圭二と子どもたちの演奏会」を行った。

参加者は大分市とその近隣にある児童養護施設の小百合ホームや森の木学園、栄光園、光の園、山家学園、盲ろうあ児施設の清明あけぼの学園からの児童約八〇人。クラブが用意した車や各施設のバスで会場に移動。公民館の体育館では、古山圭二とジャズグループの六人が七曲を演奏、本格的なジャズをはじめ人気アニメの主題歌など、子ども向けの選曲で進められた。

コンサート前半、「チム・チム・チエリー」「さんぽ」の楽曲では、児童が持参したカステネット、タンバリン、マラカスで大合奏。休憩時間を挟んで、古山氏から、子どものこ

ろの施設経験の話や自らの音楽との関わり、未来の夢について、プロジェクターを使った講話が行われた。後半は「ビリーヴ」「明日に架ける橋」の演奏に合わせ、参加者全員で大きな声を上げて熱唱して終了。古山氏の優しい人柄と子どもたちの元気が一体となり、面白味のある素晴らしい会だった。

最後に長縄弘貴会長から主催者あいさつがあり、参加した六施設に電子ドラムとギターセットの寄贈目録を贈呈して終了。この度の事業を通して多くの子どもたちが楽器を使って合同演奏会に取り組んだことが、児童たちが音楽に親しみ、将来に対して夢や希望を持つ一助となってくれるよう願っている。

(菊池正典・記)

夏だ！ 元氣だ！ 神社で寺子屋だ！

壬生ロータリークラブ

第二五〇地区 栃木県

猛暑の続く八月一〇～一二日、地元の磐裂根裂神社で寺子屋実行委員会主催、同神社総代会と壬生ロータリークラブの共催で「神社で寺子屋」を開催した。地区補助金を活用し、青少年奉仕事業として支援した。



神社で子どもたちに教える会員ら

小学生三四人が参加し、社務所で勉強（夏休みの宿題や消防隊員による救命救急教室など）、境内で体験学習（かんびようむき、しめ縄作りや飯ごう炊さんなど）を行った。

高校生や当クラブ会員が先生となつて指導し、一緒に遊んだ。村の神社の森で子どもたちは、一年生から六年生までの縦のつながりの中で、いたわり、教え合つて、普段経験できない自由な学習に夢中だった。

そして、お楽しみの昼食は、モウソウ竹を使った流しそうめん、飯ごうの焦げ飯のカレーライス、かんびようの手巻き寿司と、歓声の絶えない三日間の内容だった。スイカ割りも豪快だった。

今、子どもたちを取り巻く環境には、危険が存在している。自ら危険

第一三回国際里山の集い

千葉南ロータリークラブ

第二七九〇地区 千葉県

を回避できる、強く賢い子どもを育てるため、親と学校、地域には真の教育への取り組みが必要だろう。今回のプロジェクトによって、神社という昔から地域に根付いた場所でも子どもたちを見守り、支援できたことは、われわれ会員にとっても神聖な体験だった。次世代を担う子どもたちを応援し、いつの日か、この子たちがロータリーの精神を引き継いでくれることを期待したい。

七月二〇日、「ロータリーデー」のイベントとして、千葉県や県緑化推進委員会、千葉市などの後援を得て、千葉市若葉区の里山で「第一三回国際里山の集い」を開催しました。

このイベントは、クラブなどが一五年前に植樹した里山で環境学習と樹木の手入れ、草刈りなどを体験することで自然環境への理解を深め、ロータリーの理想である国際理解と親善による世界平和の実現を図るという大きな目標を掲げています。また、元財団奨学生や米山学友のその後の活動状況などを報告する

会員と家族の親睦から 奉仕の花を咲かせよう！

福島南ロータリークラブ
第二五三〇地区 福島県

七月二十九日に行った今年度の「家族納涼パーティー」は、菅原節子会長の目標「会員と家族の親睦から奉仕の花を咲かせよう！」をまさに具現化した催しとなりました。

作り、530運動などでロータリーの活動をPR。ロータリーの活動内容をより多くの人に知ってもらうため、大きな看板も作成していきます。私たちが楽しく活動をしていると知ってもらえれば、おのずと会員増強につながるのでは、と考えます。

(藤澤久美子・記)



地域の祭りで、ネパールの被災者を支援



流しそうめん、流しスパゲティで大盛況

会員と配偶者、子ども、父母、孫、祖父母と兄弟姉妹合わせて一四〇人が参加し、気温が三〇度ほどであったこの日の夏の夜を、より一層あつくしました。クラブ親睦活動委員会が腕によりをかけた企画を満載したパーティーは例年とは異なり、一風変わった趣向で行われました。

福島市の中心市街地にある「ふくしま屋台村 こらんしょ横丁」全店（計七店）を借り切った会場では、食の楽しみとして、会員出店のジェラートや石釜焼きピザ、流しそうめんや異色の流しスパゲティ、そして屋台村各店の自慢のメニューが大皿で振る舞われました。

また、遊ぶ楽しみとして、会員の手作り夜店が開店し、くじや水風船ヨーヨーが子どもたちの夏休みの思い出となりました。

夏祭りに参加

大津中央ロータリークラブ
第二六五〇地区 滋賀県

い出に花を添えていました。

さらに、涼しさも提供ということで、アナウンサーでもある菅原会長の爽やかな笑顔と声が会員を魅了してくれました。

(佐藤朋也・記)

七月三十一日、猛暑が続く中、地元の特養老人ホーム「近江舞子しようぶ苑」の夏祭りが開催されました。クラブでは社会奉仕の一環として、この夏祭りにかき氷の模擬店を出店しました。

当日は夕方からの開催にもかかわらず暑さが続いていましたが、たくさんの方が来場し、お店には行列ができるほどでした。休む間もなく氷を削り、あつという間の時間でしたが、かき氷をお客一人ひとりの目を見て話しながら渡すことで、直接、地域の皆さんと触れ合うことができ、心とむ有意義なひとときとなりました。

都市化が進み、核家族化、少子化に伴って地域のつながりが希薄になっている今日、高齢者と子どもたち



行列ができた会員のかき氷店

児童と音楽にふれあう 体験会

大分臨海ロータリークラブ
第二七二〇地区 大分県

八月一日、大分市明治明野公民館で毎年開催してきた奉仕活動「児童と音楽にふれあう体験会」を開催。

の交流が減少し、社会性を育む機会が失われつつあるように感じます。今回、私たちはロータリーの事業を通じ、近江舞子しようぶ苑の入所者をはじめ、その家族、近隣の皆さんなど多数の方々と、世代を超えた触れ合いの場を持つことができました。あらためて、人と人との触れ合いの大切さを感じ笑顔の絶えない一日となりました。

アジアとの距離が近づいている現在、短期青少年交換学生事業は、両国の子どもたちにとって、かけがえのない経験になったことでしょう。

(西川尚希・記)

長崎大学熱帯医学研究所との協定書調印式

第二七四〇地区

佐賀県・長崎県

当地区は前年度、グローバル補助金制度を活用し、長崎大学熱帯医学研究所との間で「疾病の予防と治療」「母子の健康」「水と衛生」「経済と地域社会の発展」に関する四分野に関して研究を行う教員、または研究者を対象に、海外派遣時の渡航希望機関の調整と奨学金支給認可に協力することに合意。六月二十九日、同研究所において、森田公一所长ほか関係者と、宮崎清彰ガバナ（肩書当時、以下同）、山田晃地区ロータリー財団委員長によって覚書を交わした。

同研究所は一九四二（昭和一七）年、長崎医科大学付属東亜風土病研究所として開設され、設立七三年目を迎えた。熱帯病の研究に専心できる、わが国唯一の研究教育機関であり、この分野の日本、世界の拠点として、熱帯医学・国際保健分野にお

ける研究・教育・国際協力などを行っている。

アジアではベトナム、フィリピン、ラオス、タイ、ミャンマー、中国など、アフリカではケニア、タンザニア、ウガンダ、南アフリカ、ガーナなど、南アメリカではブラジル、ボリビアなどを活動範囲として、個々のプロジェクトで研究・調査活動などを展開している。

また「熱帯・新興ウイルス感染症研究に関するWHO研究協力センター」としての指定を受け、国際的な協力活動も行っており、今後の展開に大いに期待している。

(長崎出島RC 山形浩介・記)

空港に

歓迎の表示板を設置

那覇南ロータリークラブ

第二五八〇地区 沖縄県

クラブは今年、創立四〇周年を迎えました。その記念事業の一環として、那覇空港国際線ビル到着ロビー壁面に「歓迎 WELCOME」の観光客向け表示板を設置しました。

沖縄への観光客は昨年七〇〇万人を超え、うち約九〇万人が外国からの観光客で、今後は更に増える予想です。当クラブでは世界のロータリー



観光客向け表示板の除幕

アン約一二〇万人を含め、沖縄を訪れる外国からの観光客に対し、少しでも「お・も・て・な・し」の心が伝わればとの思いを込め、このたび「歓迎」の表示板を設置したのです。

二〇一三―一四年度の吉田建二ガバナが当時掲げた「ロータリーの認知度を高めよう」の標語に沿って、目に見えて形に残る奉仕活動为目标に周年事業を企画し、実践しました。

六月一日の除幕式には多くの会員のほか、空港や施工の関係者、マスコミなどが訪れ、厳かに挙行しました。この看板が一人でも多くの観光客の目に留まり、沖縄の「お・も・て・な・し」の心が伝われば、ロータリーへの理解と認知度も高まると期待しています。

(多良間朝時・記)

楽しく やり甲斐のある ロータリーにしよう！

箕輪ロータリークラブ

第二六〇〇地区 長野県

今年度、クラブは「楽しくやり甲斐のあるロータリーにしよう！」を目標に掲げ、社会奉仕委員長を中心に従来より積極的に町の事業や奉仕活動に参加しています。

まずは例会場の入り口にリサイクル箱を設置し、例会終了後に箕輪町社会福祉協議会に寄付することになりました。同協議会からは二か月ごとに集計の報告があり、軽トラック購入の協力をしています。

そして、七月二五日に行われた地元「みのわ祭り」に参加。今回はネパール地震の被災地への二段階にわたる支援として、第一に事前に集めた寄付を元手にネパールの製品を購入。被害が少なかった地域でも観光客が激減している地域があります。が、それらの地域を支援できました。第二に、祭りでそれらの製品を販売し、その売り上げを寄付しました。事前に地元の新聞が取り上げてくれたこともあり、思った以上の寄付金が集まり大成功でした。

また、ロータリーのジャンパーを

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブならびに地区の活動を紹介、600字以内。関連写真があれば添付してください。

ペリー提督の兄の玄孫と 長崎南RCの縁

長崎南ロータリークラブ

第二七四〇地区 長崎県

七月一三〜一五日、黒船来航のペリー提督（一七九四〜一八五八）の兄の玄孫であるマシュー・カリブレ・ス・ペリー氏が当地・長崎を来訪されました。

ペリー氏は現在、ペリー提督に関する本を執筆するため、日本など各地を回っています。当クラブが昨年秋、創立五〇周年を記念し、長崎生まれの外交官で、ペリー提督との交渉の際に通訳を務めた森山栄之助（一八二〇〜一八七二）の顕彰碑を建立したことなどを、インターネットから知ったことで今回の訪問となったようです。



長崎市内のホテルで講演するペリー氏

一三日には、長崎市内のホテルにおいて、当クラブと長崎日米協会、マクドナルド友の会の共催事業として、日米交流の礎を築いたペリー提督の子孫が語る講演会「ペリー提督と日本との結びつき〜過去と現代」を開催し、一般市民を含む一〇〇人以上が聴講。アメリカから見た幕末の珍しい写真も見ることができ、貴重な内容でした。

翌日は、郷土史家・江越弘人氏から、日米交渉の歴史的な瞬間に相對したペリー提督と森山氏のエピソードを聞きながら、クラブが建立した森山氏の顕彰碑を訪問しました。また、最終日はクラブで歓迎会を開いて、ペリー氏との縁を深めることができました。

台北からの交換学生の 受け入れを終えて

熊本南ロータリークラブ

第二七二〇地区 熊本県

一つのロータリークラブによる奉仕活動が、インターネットを通じて世界に広がったことで、時代を超え、国境を超え、今回のような驚くべき出会いへとつながっていきました。クラブでは今後も、見えない糸を意識しつつ、一つひとつの奉仕活動を行っていきたくと考えています。

（新ヶ江憲和・記）

当クラブが姉妹クラブを提携している台湾の台北大同ロータリークラブ（RC）とは毎年、交互に短期青少年交換学生事業を行っています。二八年目の今回は八月一〜六日に受け入れを行い、小学三年生から中学二年生までの五人と、台北大同RCの会員三人が来日しました。

初日の懇親食事は来日した子どもたちだけで固まってしまう、ホストファミリーとの交友が深まりません。夜の歓迎会でリベンジと思いましたがうまくいかず、不安を抱えながら帰宅しました。

翌日は熊本の大自然を満喫しても



日台の子どもたちが車座になって交流

らうため、阿蘇への日帰り旅行を企画し、博物館からテーマパーク、神社を訪問しました。あるホストファミリーからは「台湾の朝食はお粥中心で、日本の朝食には箸が進まなかった」という報告。文化の違い、コミュニケーション不足があると感じ、急ぎよ予定を変え、テーマパークでゆっくりと時間を使うことにしました。一緒に遊ぶことが、言葉が通じずとも互いを理解する近道となり、やっと参加した日台双方の子どもたちに一体感が生まれました。

帰国日は当初とは打って変わって、子どもたちはホストファミリーに抱きつき、帰りにたくない様子。帰国してからインターネットで各家族と連絡を取り合っているようです。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

お盆早朝例会

〈東となみRC〉

恒例のお盆早朝例会は、通常は高瀬顕正会員の浄教寺で行っていたが、今回は山本武夫会員の実家（「権次郎の館」）で行った。純和風の仏間の例会場で、それぞれの先祖に合掌した。その後、横山豊介会員による地元・井波彫刻作品「慈母観音立像」を前に、高瀬会員の卓話「仏像について」を聞き、一年の無事安穩を先祖に感謝した。

（8月12日 第2610地区 富山県）



クラブ創作の灯ろうが準優勝

〈氏家RC〉

地域のイベント「うじいえ納涼彩2015」内で開催された創作灯ろうのコンクールで、氏家RCの作品が準優勝した。今回のクラブの作品テーマは「蓮花」。24団体の力作が並ぶ中、氏家RCのエレガントな作品は異彩を放ち、一般客と審査員の高評価を得たが、わずか1点及ばず準優勝。家族も含め多くの会員の協力で創作した作品だった。地域の人々へのロータリー広報活動として、今後もさまざまな地域の行事に関わりたくとクラブでは考えている。

（8月8日 第2550地区 栃木県）



一人の卒業式を 会員もお祝い

〈越谷東RC〉

青少年交換学生として韓国に1年間留学していた小野佑輔君が7月26日に無事帰国した。彼が在籍していた埼玉県立越ヶ谷高等学校が、彼一人だけのために卒業式を挙行、会員も出席した。本人、家族はもちろん、ロータリアンも感動した一日となった。

（8月5日 第2770地区 埼玉県）



さまざまな縁で友好クラブ締結

〈長万部RC・東京葛飾中央RC〉

長万部RCと東京葛飾中央RCが友好クラブを締結。2RCとも近隣に東京理科大学があり、長万部町の花・アヤメと葛飾区の花・ハナショウブの英語表記はともに「iris」。また葛飾区柴又が舞台の映画「男はつらいよ」第15作、漫画「こちら葛飾区亀有公園前派出所」にも長万部町が登場。それらの縁で今回の締結となった。長万部RC・赤塚章会長（右）が東京葛飾中央RCを訪れ、石川宏太会長とバナーを交換した。

（7月28日 第2510地区 北海道／第2580地区 東京都）

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。記念写真（集合写真）は掲載できません。

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK



トライアスロン大会の運営をサポート〈宮崎中央RC〉
宮崎市内のビーチで「第17回宮崎シーガイア トライアスロン大会2015」が行われ、1049人が参加。会員もロータリーアクターとともに、総勢714人のボランティアの一員として大会運営をサポートした。初参加の高校生ボランティアは「一つの大会にこれだけ多くの人がちが関わって運営されていると知り驚いた」「また来年も参加したい」などと笑顔で語っていた。会員はボランティアを通して奉仕の精神が若者たちに生まれたことが、何よりも素晴らしい成果だと実感した。
（7月12日 第2730地区 宮崎県）



青少年との対話〈京都西山RC〉
宇治市内の運動公園で行われたクラブ主催・少年サッカー大会の休憩時間に「青少年との対話」を開催。青少年奉仕委員長からは子どもたちに将来の夢について質問した。子どもたちからは「サッカー大会は仕事かボランティアか」「ロータリークラブは他にもあるのか」「サッカーは好きなのか」「他にも活動をしているのか」など、ユニークな質問が出され、会長や各担当委員長がそれらに答えていた。
（7月30日 第2650地区 京都府）

灯ろう流しと花火大会会場の草刈り作業〈大江RC〉
毎年8月15日に最上川で灯ろう流しと花火大会が行われる。クラブでは毎年、大会前に、観客が見物しやすいようにと、会場となる河畔の、腰まで伸びた雑草を機械で刈っている。会員は、今年も、派手さはないながら、趣のある川面の灯ろうと夜空に輝く花火の大輪が、まさに県内最古といわれる歴史の重みを感じさせてくれるだろうと期待しながら、早朝から汗だくとなって作業した。
（8月2日 第2800地区 山形県）



ROTARY AT WORK

100年目の甲子園初出場〈松戸・松戸東・松戸北・松戸中央・松戸西RC〉
第12分区の5RCから、夏の甲子園に出場する専修大学松戸高校に寄付金を贈った。人口40万人以上の都市の多くが甲子園出場校を出す中、人口48万人の松戸市にはその機会がなかった。今回、甲子園の歴史100年目にしてようやく勝ち取った悲願の出場となった。ガバナー補佐、5RCの代表が同校を訪れ激励。小泉毅校長は「RCの皆さんの支援を受け、気持ちを新たに熱い思いで甲子園でがんばってきます」と選手を代弁した。
（8月3日 第2790地区 千葉県）





ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

少年少女ニコニコ キャンプ活動記

東大阪ロータリークラブ

第2660地区 大阪府

7月31日～8月2日、東大阪市立野外活動センター「自由の森なるかわ」で、今年度の「少年少女ニコニコキャンプ」を実施。ローターアクトター39人、小学4～6年生の児童73人が参加しました。

これは第2660地区独自のガバナー主宰事業で、1992～93年度から地区内のローターアクトクラブ、インターアクトクラブの提唱クラブが持ち回りでホストを務め、当クラブは1996～97年度に続き2度目のホストとなりました。

目的は、青少年のリーダーシップ研修と児童の健全育成です。夏休みを利用した野外活動で、児童が2泊3日の団体生活を経て成長してくれることを期待し、今回はローターアクトターがリーダーとなり、生駒山中のキャンプ場での催しを企画しました。

猛暑の盛り、重いリュックを背負って2時間に及ぶ登山、慣れない炊事などを黙々とこなし、日中の野外活動、夜はキャンプファイアなど、多くの行事に参加していく中で、最初は辛そうだった子どもたちの顔が日に日に笑顔に変わり、最終日に下山するころには、少したくましくなったように見えました。

今年度はガバナーから事業の改革要請があり、地区内全81クラブの協力で費用を大幅に削減しつつ、充実した内容の事業にすることができました。次年度以降は事業のあり方について検討されるようですが、2000人超の卒業生を輩出した事業がどう生まれ変わるのか、大いに期待しています。（瀧谷和也・記）

死ぬ話生くる話や遠花火

北海道・登別 寺島紀子夫

亡き妻のそのままに在る衣紋竹

千葉・市川 照井 親資

忙中に我儘申し昼寝せん

兵庫・神戸西 村野 利昭

踵まで夏瘦せせしと父の歎

東京西南 荒居 隆二

鰻屋の大きなうの字残暑かな

山梨・甲府西 太田 道夫

乳歯抜けし口で息つく泳ぎかな

愛知・瀬戸 玉井美智子

不機嫌な奴は放つとけ冷奴

岐阜西 眞鍋倭文子

サイパンの浜木綿白し鎮魂歌

岐阜長良川 井戸 豊彦

カウベルを付けて笹百合お裾分け

富山・魚津西 加納 綾子

通勤の人影もまた街残暑

大阪うつば 齊藤 隆二

新しき桃の木に蟬昇りけり

東大阪東 溝畑 正信

水中も又暑からむ鯉の群

徳島・脇町 片山 良樹

音頭とる蟬もありなむ蟬時雨

徳島・阿波池田 山下 玲子

誰が伝うかくありしこと原爆忌

福岡・小倉東 廣澤 元彦

胡瓜切る音響かせて山の家

埼玉・日高 清水佳代子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』俳壇係宛

「日出でて乾坤輝く」といふ言葉
希望生まるとわが師は述べし

福島・須賀川 柿沼 良訓

一匹に続き鳴き出す雨蛙

群馬・館林 新井 進

あやしき空をいち早く知る

解れたるシャツを縫ひをり亡き妻よ

針にし糸を通し給へよ

千葉・市川 照井 親資

心地よきジャグジーの音聞き乍ら

新千葉 菊地 忠

梅雨の晴れ間の朝湯楽しむ

蛸の餌にせむとカマ割る漁夫の背に

トンビ群れ寄る三戸の夕暮れ

東京 新 欣樹

立ち退きし隣家の跡に青空を

見上ぐる如く向日葵は咲く

神奈川・横浜 長谷川武雄

誰れ彼れとなき友数ふ秋の夜の

不眠の眼いよよ冴えゆく

岐阜長良川 井戸 豊彦

持ち寄りし蓼参の品を兄弟姉妹が

八つに分けてまた来年と

岐阜加納 鶴飼 武彦

鍵穴の音確かめて又来ると

無人となりし生家に呟く

奈良 寺田眞佐子

孫送り草叢に逃がすキリギリス

虫籠の中三泊四日

岡山・倉敷東 遠藤 堯之

保育所の年長組の女の子

「失礼します」と部屋に入り来

香川・高松 平峯 千春

灰色の空に渦まく雲の群

湿った風は雨のにほひす

島根・出雲南 小村 尚子

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』歌壇係宛

逃げ道を辿り案山子は旅にでる

群馬・伊勢崎 秋山 春海

神様が元氣出せよと夏祭り

大阪・堺 松谷 湖塔

和と洋が違和感なしにコラボする

スプーンを曲げると妻に叱られる

茨城・日立港 小松 弘二

いい娘だと思つてしまふ綺麗な字

新潟 小林 悟

戦争を知らぬ政治家ばかりにて

虹を見て涙ぐんだあの頃は

長野・辰野 河手 欣哉

暑氣払い毎日やれる日が続く

富山・射水 江守 正

内緒です鮎を愛でてる一人旅

新潟・吉田 佐藤 良一

魔線の喜怒哀楽を知るルール

埼玉・入間南 鈴木 豊士

女子会に行くわと老妻紅をさし

長崎・諫早 下釜 貞志

口数の少ない分だけ優しさが

北海道・斜里 辻 舒宏

朝風呂で母のたらい湯思い出し

東京日本橋東 井口 弘子

アルバムを剥した恋が忘れられず

三重・志摩 宝門 孝雄

健診のたびに葉が一つ増え

埼玉・行田さくら 小澤 誠邦

選句する妻に感謝の扇風機

福岡イブニング 菊池 文彬

奈良 寺田 康宏

投稿規定 ◆雑詠 ◆クラブ会員、家族 ◆一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◆締切日二〇日必着 ◆葉書ウラにもクラ
ブ名・氏名、電話明記 ◆楷書で明確に ◆『友』柳壇係宛



長谷川 權



幸福な王子の燕かも知れぬ

奈良 寺田眞佐子

オスカー・ワイルドの『幸福な王子』には一羽のけなげなツバメが出てくる。王子のために凍え死んだあのツバメではないか? いま頭上をよぎったのは。

両肩が隠れる妻の夏帽子

福井南 松山 古来

両肩が隠れてしまうくらいツバの広い帽子なのだろうか。それとも肩がそれほど小さいのか。おそろく、その両方だろう。妻への愛おしさにじんている。

何かしら納得できし昼寝覚

兵庫・神戸東 高石 昇

昼寝から覚めてみると、いつの間にか、わだかまりが消えていた。不思議なもので、なぜかはわからない。そのわだかまりが何であったかもよくわからない。そこがおもしろい。

野仏の肩を揉んでる蝸牛

群馬・館林 新井 進

この蝸牛、野仏の肩の辺を這っているだけなのだろう。そこを「肩を揉んでる」といったところが俳句。石仏だろうから、さぞ肩が凝っているにちがいない。

しばらくは女の時代ビアガーデン

栃木・宇都宮西 矢吹 告朱

ビアガーデンにも女性客があふれ、男性の領域が世間からしだいに消えてゆく。この句の眼目は「しばらくは」。女の時代もそう長くはなからうというのだ。甘い。



馬場あき子



続きたる猛暑に吾も耐えんとて
生き生き百歳体操はじむ

青森・三戸 加藤 定男

「生き生き百歳体操」と名づけられた体操そのものも魅力的だが、一首の中でほぼ下句の九十割を占める長い名称が、より面白く生きている。世俗に徹した名称であることが、猛暑に「耐えんとて」それを実行する人の現実の生のかなしみを引き出すことに成功したのである。今年の猛暑は本当にきびしかったが、その対処法としてユーモラスな体操名がよく生かされている。

ご飯炊き覚えなさいなと云ひし妻
逝きて三年一人来研ぐ

千葉・富里 寒郡 政雄

炊飯器で炊くご飯はご飯炊きといえるのかどうかともわからないが、人生のほとんどもを社会人、いや会社人としてすごした男性はこの炊飯器のボタン一つをいつまでたつても、覚えようとしないうた。ここでも炊飯器以外ではないゆえに、奥さまの「ご飯炊き覚えなさいな」という言葉が、子供を悟(さと)すようにやさしい。この言葉あつて三年後の現実にしみじみかなしみが滲(にじ)む。

淡淡とスポーツ実況するやうに
戦争ニュースを若きキャスター

秋田・能代 成田 繁穂

友多く楽しきものよ例会は
九十八歳なるも止める気はなし

山形・余目 佐藤孝二郎



てじま晩秋



僕の背に流れる父母のBGM

青森北東 遠間 善弘

「感謝の心情」が伝わってくる作品です。いつでもどこでも、温かく見守ってくれていた「お父さんとお母さん」の愛情にあふれた「視線の先。それをBGMとされた手法に唸(うな)りました。作者の確かな感覚に拍手です。

いつ書いた人気芸人やりながら

香川・高松 大平 昇

大阪・吉本興業の読書芸人、又吉直樹さんが小説『火花』で第一五三回芥川賞を受賞しました。式後「芥川さんはたぶん、僕を嫌いでしょう。髪の毛が長いから」とコメント。その後あれよ、という間に本が売れて現時点では三億円を超える印税、映画化の声も。ともあれ多才であることは事実でしょう。

満期来てまた安くなる我が命

大阪大淀 長谷川眞哲

日本の生命保険制度の「合理性」は定評のあるところ。奥さんや子どもさんから「お父さん、元気で長生きしてね」と言われ、懸命に働き続けて気がついたら定年退職。保険も満期となり、再契約をしたら、掛け金はグリーンと上昇して保証金はわずかな額です。思わず「人生って」と考えてしまいますね。

見えぬ敵何時まで伸びるアワダチ草

青森北東 加藤 彰

れており、長期間保存ができません。

輸血を受ける患者の疾病別では「がん（悪性新生物）」や「循環器系」、「血液および造血器」（全体の七〇％強）が多く、不慮の事故（三・八％）や妊娠分娩（〇・七％）は大変少なくなっています。臓器移植では、一人の患者に一晚に大量の血液が必要な場合があります。

献血では、献血者の健康面の安全と輸血を受ける方の安全を確保するため、とても複雑な問診と採血基準があります。健康な方は、献血による体への影響はほとんどありませんが、採血を行う以上、副作用を生じることがあるので、採血後は十分な休憩が必要です。また、献血者には医療費などを保証する「献血者健康被害救済制度」が設けられています。献血にかかる時間は、全血献血は受付、採血前検査、採血、休憩まで三〇〜四〇分程度必要です。成分献血は六〇〜九〇分程度が必要となります。

いま、献血でいちばん大きな問題は、献血に協力してくれる若い人たちが減っていることです。わが国は少子高齢社会となり、献血でも将来の採血が決して樂觀を許さない状況にあります。

（第二六六〇地区・大阪府・大阪大淀RCにて）

チョウとホタル

（株七宝 代表取締役 小林 義忠）

世界には、チョウは一万二〇〇〇〜一万六〇〇〇種類ぐらいます。日本にはたまたま台風に運ばれて南の方からやってくるチョウがいるため、約二七〇種類のチョウがいると言われています。日本の国蝶は、一九五七（昭和三十三年）、日本昆虫学会の総会で、前年にオオムラサキの切手が発行された後だったため、すんなりとオオムラサキに決まりました。モンシロチョウの仲間は時速九キロ、タテハチョウなどは時速二〇キロぐらいで飛びます。路上低く飛び出したチョウが交通事故に遭い、死ぬこともあります。チョウの寿命は種類によって違い、モンシロチョウの寿命は四〇〜五〇日、年に何回か発生し、卵、幼虫、蛹、成虫までを繰り返しますが、成虫で生きている期間は一日ぐらいます。年に一回しか発生せず、蛹の期間が長く、冬の間は全く活動しないチョウもいます。

ホタルは、世界で約二〇〇種類、日本では約五〇種類います。しかし、水生

ホタルは世界で約一〇種類しかおらず、驚くことに日本には三種類います。ゲンジボタル、ヘイケボタル、沖縄県久米島にいるクメジマボタルです。

ゲンジボタルは、日本（本州・四国・九州）にだけ生息する水生ホタルで、幼虫は清らかな川やせせらぎに生息しています。体長は一五〜一八ミリで、餌は、ほとんど巻貝のカワニナです。

ヘイケボタルは日本全土から東シベリアや韓国などにも分布し、幼虫は湿地や田んぼなどに多く生息しています。体長は七〜一〇ミリです。餌は、カワニナその他、タニシ、モノアラガイなどを食し、日本では主に田んぼにいます。初夏には田んぼのあぜなどに産卵し、ふ化した幼虫は田んぼの水の中に入り育ちます。

ゲンジボタルとヘイケボタルの特徴は、幼虫はエラと気門を持っているため、水陸両用で生きていることです。卵、幼虫、蛹、成虫と一年間で一生を終わるホタルは、成虫期間が一週間くらいで何も食わず、交尾、産卵のために地表に出てきます。ホタルの生命のはかなさに、日本人は哀愁と感動を覚えるのでしょうか。

（第二五八〇地区・東京都・東京新都心RCにて・東京新宿RC会員）

卓話



■「卓話の泉」は、各クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

こし餡の話

御菓子司 さざ波 代表者 前 清

基本的に和菓子に使用する餡あんの原料は、大納言、小豆、白小豆などがあります。上生菓子などの「練り切り」に使用する白餡の豆は三種類ほどあります。

和菓子に使う餡は主にこし餡、粒餡、白餡です。他に季節の食材を取り入れたクリやユリネ、ヤマイモなどがあります。もなか餡は、冬と夏によって糖度を変えています。いわゆる硬さの見極めです。冬は柔らかく、夏は硬めに仕上げます。

こし餡は、まず小豆を洗い、しばらく水に浸け、後に釜に入れて煮ます。水分を含んだ小豆の皮のしわが伸びたところ

で渋抜き（灰汁取り）をします。いったん釜の中の水を全部捨て、再度小豆を釜に入れて煮ます。こし餡は小豆の形は残さなくてよく、粒餡に比べると楽です。煮えるまでの時間は量によって異なりますが、小豆の状態から一時間半から二時間ぐらい。煮え上がった小豆は製餡機（実と皮を選別する機械）へ移し、水槽の底に沈殿した小豆の実を、水を加えながらゆつくりとかき混ぜ、さらし（漂白）を行います。水槽の水が透明になるまで繰り返します。水槽の水が透明になるまで繰り返します。その都度四〜五回水を入れ替えます。

そして餡締め作業。水槽の餡を麻袋に移し、水分が二割程度残るように一〇〇キログラムぐらいの圧力でプレスして水気を取り除きます。これで生餡の完成です。

最後の炊き上げは、生餡半分用途に応じた分量の砂糖を加えて炊きます。煮詰まるにつれ、最初は小さい気泡が大きくなつていきます。頃合いを見計らって、残りの生餡を投入し、糖度五五〜六〇度まで煮詰めて完成ですが、糖度計はあくまで目安です。炊き上げに要する時間は三〇〜四〇分。良い餡を作るには良い火で短時間で仕上げるのが第一条件です。（第二六四〇地区・和歌山県・高野山RCにて・同RC会員）

献血の現状について

大阪府赤十字血液センター
献血推進一部推進一係長 池田 超

わが国では、医療に必要な血液は献血によって用意されています。無償の善意による献血から賄われています。

血液は、酸素を運ぶ、病原体と闘う、出血を止めるといった生命の維持に欠かせない役割を担っていますが、人工的につくることはできません。

献血の方法には、血液のすべての成分を採血する「全血献血」（一回の献血で四〇〇ミリまたは二〇〇ミリの採血量）と血液中の必要な成分（血漿や血小板）を採血する「成分献血」があります。輸血を受ける患者にとつては、なるべく少人数の献血者の血液を使用するほうが血液を介する感染の危険性も少なく、体への負担も軽いがわかつていることから、全血献血や成分献血は「量」の確保という面だけでなく、安全性を高めることにつながっています。

血液には有効期限があり、採血後の適切な温度管理により赤血球は二日間、血小板四日間、血漿一年間以内と決めら



屋形船クルーズで隅田川を再発見

とも述べる。石碑の一節は、芥川が「すべての市は、その市に固有なおいを持っている」と、ロシアの小説家メレジコフスキーの文章から引用したものだ。

クルーズでは、隅田川に架かるさまざまな橋梁やサンセットの景観、停留中の船上デッキからのレインボーブリッジやお台場のイルミネーション、走行中には、東京タワーや東京スカイツリーのライトアップが眺められ、現代の東京のランドマークを眺望できた。高度成長時代を感じたオイルの悪臭も消え、大川と呼ぶにふさわしい隅田川が戻ってきた。また、「名にし負はば いざこと問はむ都鳥わが思ふ人はありやなしやと『古今和歌集』は、在原業平が詠んだ短歌だ。この歌の「こと問はむ」に因んで命名された言問橋も隅田

川に架かる。

イギリスの国際政治学者のE・H・カーは、『歴史とは何か』の中で、「過去・現在・未来は大きな鎖で結ばれている」と述べる。この隅田川は「東京のシンボル」で過去と現在、未来をつなぐ懸け橋である。日本人の「心」の原風景を呼び戻し、現代人の心を癒やす。ドイツの文豪、ゲーテは「人は青年時代に望んだことを、誰でも老年時代に何かの形で成し遂げている」と強調する。ロータリー活動の中で、青春時代の夢と憧れを美しく素晴らしいものになるように実践することが大切だ。

(第二七五〇地区 東京都 教育研究)

徳川家康に学ぶ 長寿の秘けつ

鳥取 塩 宏

織田信長四九歳、豊臣秀吉六二歳、徳川家康七五歳。天下取り三武将の享年です。二六五年続いた江戸幕府の礎を築いた徳川家康。日本人の平均寿命がわずか三七〜三八歳であった当時、七〇歳を超えて生きることがたやすいことではないのです。上杉謙信(四九歳)、武田信玄(五三歳)を見ていた徳川家康は、堅実な性格そのままに、日ごろの健康管理においては十分注意を払い、前向きな人生観と「早寝早起き、粗食」を常としていたと言われています。

家康が長寿だった理由として、まず質素

な食生活ですが、主食は麦飯と豆みそで、質素ながらも栄養豊富でした。家康の麦飯は、丸粒の大麦に胚芽やぬかの残った半つき米を混ぜたもの。ミネラルや食物繊維が豊富で、便通も良くしました。この麦飯が、家康の長寿の源だったと言われています。麦には食物繊維やカルシウム、カリウムなどが豊富に含まれます。また大豆一〇〇割の豆みそも、みそ汁にして好んで食べ、キジやツルの焼き鳥など動物性たんぱく質も適度に摂っていました。豆みそにはアルギニンという強壮効果のあるアミノ酸がたっぷり含まれています。食べ物には必ず火を通し、生水は飲まず、野菜や果物は旬のものにこだわったようです。

また家康は鷹狩、薬づくり、と多趣味で、晩年まで続け、ストレスを上手に発散していました。例えば剣術、水練、馬術などで体をよく動かし、『論語』『中庸』『史記』『漢書』『六韜三略』『貞観政要』『延喜式』『吾妻鏡』などを愛読し、知識を積極的に取り入れていた、と言われています。

また、家康は現在で言う健康オタクで、生薬にも精通し、自分で調合していたと言われています。そして「鳴くまで待とうホトトギス」と詠んだという逸話があるほど、安らかに心に余裕のある人物だったと言われています。

「誰よりも長生きして元気で頑張ろう」という「生への限らない執着心」や心の持ち方が長寿のコツであったのでしょうか。

(第二六九〇地区 鳥取県 内科医)

ドイツの鉄道模型と クラシックコンサート

宝塚中 芝池 巖

阪急・能勢電鉄の川西能勢口駅前の商業施設、アステ川西で、年に四回開催している「三宝鉄道レールフェア」は、約三万人の来場者がある人気の催しです。趣味で集めた大型鉄道模型を展示して地元の皆さんに楽しんでもらい、街の活性化にも役立てていただきたいという思いから、川西市と同市教育委員会、商工会の後援、私の所属する宝塚中ロータリークラブ（RC）の協賛で約一〇年前から実施しています。



三宝鉄道レールフェアは年に4回開催。ご来場をお待ちしています

日本では珍しい「Gゲージ」と呼ばれる縮尺二二・五分の一サイズ、一両の長さ約八〇センチの重厚で精巧なドイツ製の鉄道模型が、一六センチ八分の広いスペースを走行する姿には、子どもだけでなく大人も目を輝かせて夢中になります。

主催する「三宝鉄道」とは、私の経営する不動産会社名から命名した架空の鉄道会社ですが、私の理想とする鉄道のイメージを、ジオラマ模型の中に創作する商標登録された名前です。

ドイツから直接購入した鉄道模型約四〇〇両、幅四五センチのレール、駅舎、街並みのジオラマ類を毎回自宅から四ノトラックでイベント会場まで運びます。会場は社員やアルバイトの学生十数人とともに一日かけて設営します。

このほかにも「食博覧会・大阪」や阪急百貨店うめだ本店、えびす宮総本社西宮神社、私の母校の関西学院大学でも「三宝鉄道」を走らせました。このようなイベント出展を積極的に行っています。

また「三宝レールフェア」の開催中に音楽大学出身の若手実力派アーティストや元宝塚歌劇団員を招いて演奏をしてもらい、来場者に楽しんでもらっています。今春からは、テレマン室内オーケストラを招き「三宝鉄道コンサート」を定期的に開催しています。

来年の春には宝塚中RCとの協同プロジェクトを計画中です。ユニークでハイレベルなイベント事業を私のライフワークとして

成長、発展させていきたいと思っています。

（第二六八〇地区 兵庫県 不動産仲介業）

同好会「江戸下町の会」 の屋形船クルーズ

東京中央 武笠 和夫

東京中央ロータリークラブでは、「和気あいあい 多士さいさい」をモットーに、同好会が現在二四もあり、それぞれ活発に活動し、社会貢献と会員増強に注力するなか、同好会を通してクラブ内の活性化を図り、会員相互の絆を強めている。

私が世話人をしている「江戸下町の会」では、今年六月四日に、会員同士の親睦を深め、交流を広げるために、隅田川の「屋形船クルーズ」を開催し、総勢三七人が参加した。

隅田川は、滝廉太郎作曲の「春のうららの隅田川……」のフレーズで馴染み深い。母校の都立両国高校（旧府立第三中学校）には、先輩の芥川龍之介の文学碑があり、『大川の水』と題する作品の一節が、国文学者・吉田精一氏の揮毫により刻まれている。

「もし自分に『東京』のほびを問う人があるならば、自分は大川の水のほびと答へるのになんの躊躇もしないであろう。明治四五年に短歌誌『心の花』に公表したものだ。また『自分は太川あるが故に』『東京』を愛し、『東京』あるが故に、生活を愛するのである」

原発は安価だと言われるが、十分な事故対策を考えた建設費だけでも莫大**ばくたい**な金額が必要であり、事故が起きたら、想定さえできない額になってしまう。福島第一原発の賠償額だけでも優に五兆円は超えてしまい、安価などでは決してない。さらに広大な土地の除染や農畜産物の被害額は計り知れない。

福島では人の住めない避難区域が東京都の面積の半分近くあり、長期避難者は現在でも一〇万八〇〇〇人とされている。いかに被災地の人々に過酷な生活を強いているか計り知れない。この国の未来や地球の未来を、われわれ一人ひとりが考え、声を上げていくしかない。

(第二八四〇地区 群馬県 胃腸科)

バナー自慢

白石ロータリークラブ

第二五二〇地区(宮城県)



白石市の中心部にある白石城は、一九九五年、本格的に木造復元されました。黒釣リ鐘は白石城主で伊達家の重臣、片倉家の旗印です。「世界にその名を鳴り響かせよ」との片倉小十郎の姉、喜多(伊達政宗公の乳母)の思いを印しました。黒釣リ鐘の紋様は、白石市の市章にも入っています。

気持ちが悪い日本語

出雲中央 山口 孝之

皆さんはテレビなどで若者の言葉遣いを聞いて、「おかしいな」「気持ち悪いな」と思われたことはありませんか。

言葉は刻々と変化している生き物で、一筋縄ではいきません。その中で最近、『問題な日本語』(大修館書店) シリーズの中で第一位に取り上げられた言葉は、「一〇〇〇円からお預かりします」でした。これを聞いて気持ちが悪くなる人もいます。つまり買物をして、レジでお客さんが一〇〇〇円を渡した時、「一〇〇〇円からお預かりします」というケースです。

これについて国語辞典編者の北原保雄氏の解説ですが、この言葉は「まずは一〇〇〇円から仮にお預かりします」というようなニュアンスを込めて使われ始めた表現ではないか、実際のレジではお客さんの出した紙幣をすぐにレジに入れずに一回「預かって」お釣りを出して渡す場合があり、そういう時「一〇〇〇円をお預かりします」なら表現として問題はない、ということですが。

第二位は「全然構いませんよ」というような「全然」の後に「肯定形」が来る言葉です。言葉に対する好みは個人差が激しい場合があります。私が小、中学生時代に国語で習った

時は、「全然テストができませんでした」のように、全然の次には否定の言葉が入っていました。今は「全然平気」と肯定的に使っています。

また、「私もこういう使い方をしている」「どこの悪いの?」という言葉の表現があります。・台風が上陸する可能性がある↓台風が上陸する恐れがある

・理由はないです↓理由はありませんと違和感を感じる↓ノーベル賞を受賞する、と同じケースで重言でも問題になりません・すいませんでした↓「み」が「い」に転じた、くだけた言い方

・ネコに餌をあげる↓「やる」の美化語で、今では動物だけでなく、花や草木にも使われています

特に最近気になる言葉として、「わからないじまい」があります。「ない」は、「ず」の口語形で「食わず嫌いの」「ず」と同様、「ない」には置き換えられません。ところがインターネットにはさらに「わからないじまい」の進行形「わかりじまい」が出てきているそうです。意味は「わからずじまい」と同じで、「ない」も「ず」も取っているのだそうです。「結局、わかりじまいだった」と言われたら、それは気持ち悪い日本語になります。

このように今の若者の言葉は、私たちの若いころの言葉とはずいぶん変化してきています。今の若者が年老いた時には、さらに変化していることでしょう。

(第二六九〇地区 島根県 外科医)



で、二倍の一六種類ができました。

ロゴの使用についてはRI本部の承認を得ており、その承認状を添付して日本郵便へ申し込み、作成しています。郵便局、もしくはインターネットで一シートから申し込みができますので、作ろうと思えば気楽に作れます。皆さんも作ってみませんか？

(第二六七〇地区 香川県 ソフトウェア業)

丸亀RCの切手を国際大会「友愛の家」で紹介

横浜線 鶴岡 武

私が所属している、国際ロータリー(RI)の親睦グループ「ROTARY ON STAMPS (ROS)」の日本支部では、第二六七〇地区の丸亀ロータリークラブ(香川県)が、ロータリーの広報を目的に、ロゴの使用についてRIの承認を得て切手を作ったことを広く紹介したいと考えました。

そこでたくさん種類のの中から四点を選び、展示用リーフにまとめて、RIサンパウロ大会の友愛の家に開設されたROSのブースに掲出しました。多くの切手収集ロータリアンから購入の希望がありました。切手収集に関心のない方からも、広報の手段の一つとして注目されました。

ROSはこうした各クラブの切手を使った活動にも関心を持っています。このような切手の情報についてはrosjp.kh@wk9.so-net.ne.jpまでお問い合わせください。

(第二五九〇地区 神奈川県 非鉄金属精錬業)

原発再稼働は認められない

高崎シンフォニー 小野垣義男

福島第一原発事故で放出されたセシウム一三七の量は、広島に投下された原子爆弾による放出量の約一六八倍と言われている(経済産業省原子力安全・保安院公表)。そのほかの放射性物質も、わが国だけでなく世界中に拡散してしまった。チェルノブイリやスリーマイル島の原発事故も世界中に放射性物質を漏洩してきた。世界中で二〇〇〇回以上の核実験が行われ、この地球は人類が製造した放射能で汚染されてしまった。

核兵器も原子力発電も、人間が制御できるものではなかった。「原子力の平和利用だか

バナー自慢

札幌真駒内ロータリークラブ

第二五二〇地区(北海道)



クラブ創立五周年とロータリー創立七五周年を記念して作成しました。デザインは北海道教育大学名誉教授で、札幌西ロータリークラブの故・島山三代喜会員によるもの。札幌オリンピック(一九七二年)のメイン会場となった真駒内公園内のスケート場にある、札幌市内5クラブが寄贈した聖火台をシンボライズしたものです。

ら」と反対意見を抑えてきたが、原発には多くの問題があったのだ。使用済み核燃料の廃棄物処理だけでも何万年、何十万年とかかり、それを露出しないように厳重に密閉しなければならぬ。

現在、世界には原発が四〇〇基以上あり、それが二〇三〇年には八〇〇基以上に倍増するだろうと言われている。世界中で原発事故がいつ起きてもおかしくない。万一テロリストが原発を襲ったら、重大な惨事が起きることも想定できる。日本でも四八基の原発があり、広島原爆の二二〇万発分の使用済み核燃料がこの国に残存しており、その行き場を失っている。



クラブの和やかな雰囲気は山本P Gの人柄のおかげ

「私のロータリーモメント」と題し、私たちが出雲南RCの山本茂生バスターガバナー(PG)が基調講演を行いました。

山本PGは一九二五年生まれの九〇歳。一九九一―九二年度のガバナーを務め、今もバリバリの現役会員です。昨年八月には例会五〇年皆出席を達成し、クラブで祝福しました。例会はもとより、地区の行事にも元気に出席しています。職業分類は山林業で、元気の秘訣は若いころから山歩きで鍛えてきたからだと常に話されています。

その日の講演も柔らかな語り口で笑顔を絶やさず、出雲南RCの創立会員として創立時の苦労話、エピソード、地区大会開催時のことなどを語る姿に人柄がにじみ出ていて、私たちは感服しながら聴きました。

誰にでも同じ目線で話しかけ、温かなまなざしと笑顔でクラブ全体を柔らかに包み込み

ます。それゆえ、私たちのクラブはまとまりが良く、和やかな雰囲気だと異口同音に話しています。例会で山本PGの姿を見ると、幼子が母親を見つけた時のようにホッとするのです。その人となりは私たちの目指すところ

です。講演の終わりに「ロータリーのおかげで人生が豊かになり、健康を保つことができたことを心から感謝したい」と話されたのが心に残りました。この言葉が山本PGをよく表すものだと思ったのは私一人ではないでしょう。

五〇年を節目としてこれからも私たちの目標となり、クラブの運営を指導いただき、クラブの誇りとしてロータリー活動をより豊かなものにしたいと覚悟しました。

今回のホストを務めた浜田RCのおもてなし、懇親会のおいしい料理とともに、思い出深い楽しいIMでした。

(第三六九〇地区 島根県 料理・仕出し)

二〇円でできる ロータリーの広報

丸亀 和泉 清憲

ロータリーの切手を作れば、広報に役立つのではと考え、クラブでフレーム切手を作成しました。フレーム切手とはオリジナルの絵柄をレイアウトできる切手のことです。大勢の人にロータリーを知ってもらうにはロータ

リーが世間の人の目に留まらなければなりません。フレーム切手は私製の切手です。見たことのない切手が貼られた封書が届くと「アレッ」と目に留まります。

フレーム切手は一シートにつき四一〇円のオーダー費用がかかります。一シート二〇枚で換算すると、切手一枚につき約二〇円余分にかかりますが、この二〇円を広報費用と考えれば金額的にもそう負担になりません。広報を長く続けていくには、繰り返し行えるもので、なおかつ費用が負担にならないものでなければなりません。

切手による広報は、会員一人ひとりが個人でき、しようと思えばいつまでも続けられるものです。そして長く続けることでロータリーが知られていきます。これはロータリーは個人奉仕であるということを一人ひとりが実践することであり、切手による広報は会員による「ロータリーへの奉仕」、また「クラブ奉仕」になると考えます。

今回作成した切手のデザインは以下の三つを組み合わせました。

一、ロータリーの「第一標語」、「第二標語」を英語と日本語でデザイン

二、ロゴは国際ロータリー(RI)推奨のものとして従来から使っていた、地区名を入れた二種類

三、背景はロータリーの基本色の三種類のブルーと黒の計四種類

以上を組み合わせ、八種類となりましたが、五二円切手と八二円切手で作りしました



国際大会会場前で

りと、快く迎え入れてくれました。

国際大会の開会式は、プログラム通り進行、地元の若者がエンターテインメントで素晴らしいショーを披露、終了後は近くのスタジアムで色鮮やかで活気あふれるサンパウロ・ニバルを観賞し、サンパウロの雰囲気を楽しみました。
(第二五〇地区 北海道 電化製品販売)

サンパウロ国際大会が 取り持ってくれた縁

大宮中央 佐野 巖

皆さん、このようにすてきなことがあるのですね！ 私が学生の時、長年の夢を実現し南米大陸へ渡った時、ブラジル・サンパウロ

でお世話になった人たちと五〇年の時を経て、七二歳で再会できるとは、思ってもいませんでした。

私は二〇〇五年にロータリークラブに入会しました。一〇年後の今年、サンパウロで開催される国際大会へ参加したいと思ってはいたものの、仕事の関係で難しいと諦めていました。しかし社長に話したところ、「次年度のクラブ会長として、いい経験を積むまたとない機会だから行ってきたらどうですか」という言葉をいただき、登録した次第です。

私がかつて南米へ行ったのは、國學院大學創立八〇周年の記念事業のプロジェクトで、南米調査隊として二〇〇日間かけて七か国における移住問題、日本企業訪問、宗教事情を調査する目的で準備され、数年かけて実現したものです。

学生六人と教授一人の計七人。無償で協賛いただいたトラック、ライトバンの二台とともに横浜港から移民船・サントス丸(八〇〇〇ト)に乗船し、四五日間かけてブラジル・サントス港に入港、ブラジル、パラグアイ、アルゼンチン、チリ、ペルー、ボリビア、エクアドルを回りました。

今回の国際大会で訪れたサンパウロでは、当時一緒に訪問し、現在ブラジルに住んでいる隊員や、サントス丸の船上で知り合い、私たちがブラジルに滞在中、ご自宅を拠点にさせていただき、お世話になった米谷儀三郎氏の家族と再会することができました。シュラスコパーティーを開いて歓迎してくださ



お世話になった米谷氏の自宅前で (左が執筆者)

り、半世紀ぶりの再会を喜び合いました。また、すでに亡くなられた米谷氏のお墓を訪れ、五〇年ぶりの渡伯を報告しました。

二度と行く機会はないであろうと思っていたブラジル・サンパウロの地。ロータリアンでいたからこそチャンスに巡り合い、貴重な体験ができたことに心から感謝しています。

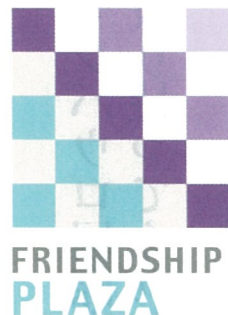
(第二七七地区 埼玉県 葬儀社)

クラブの誇り

出雲南 古川 精次

三月二九日、当地区第三、五グループのインターシティーミーティング(ＩＭ)が浜田ロータリークラブ(RC)のホストで行われ、

友愛の広場



FRIENDSHIP
PLAZA

エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

時折聞こえる天の声

笛吹 植松 増美

成長と改革。組織経営の上で片時も頭を離れぬ言葉である。成長を嫌い、否定する人はいない。

だが、改革という言葉にはとげがある。それは必要だと受け入れる人と、言葉を聞いた途端に身構える人に分かれる。前者も心の底では、「そんなには変えられまい、変わらないさ」と、高をくくっている人が多い。一方、後者は今までのことが全て否定されるのではないかと恐れる。では、未来永劫、何事も今まで通りでよいのか？ 何一つ変えないということでは我慢できるだろうか？ そんなことはできない。

成長と改革。この言葉に自分はどういうスタンスで向かうのか、たまにはじっくりと考

えてみる必要がある。

世の中、とりわけ人間社会は片時も止まることなく、変化し続ける。耳を澄ませば、変化の足音が、向こうから聞こえてくることがある。神様のささやきがわれわれの心根を試すのであろうか？ 耳障りだと言って聞き過ぎるか、天の声かもしれないと耳を澄ますか？ ここで道は大きく二つに分かれる。

まあいいやと、聞き過せば当面は心地よいが、その先、道はだんだん暗くなる。やがて行き詰まる。立ち往生の先には立ち枯れが待っている。

一方、天の声はなかなか聞き取りにくい。だが、何とか聞こうとすればその声はだんだん大きくなる。さまざまな道がうつすらと見えてくる。考え、迷い、苦しむ。だが、どれも皆、天の声だ。いずれも行き着く先はあまり変わらないだろうと考える。すると、何だか道が急に開けてくるような気がしてくる。あとは進むだけだ。苦難と希望が織りなす道を。

変化に対応できたものだけが、存続が許される。強い、弱いかではなく、対応力の大小が運命を決める。天の声に耳を傾けたところで、物事はそう簡単にうまくいくものではない。だが、過去にこだわらない柔軟さが、ゆつくりと事態を変えていく。昼と夜が必ず交互にやってくるように、自然にリズムが生まれてくる。われわれの人生も地球の運行と同じようなものかもしれない。ある時は、変化に身を任せ、またある時は、自ら進んで変化を起こそうとする。これも一策。一度き

りの人生を悔いなく生き抜くためには、少々工夫が必要かもしれない。一人の人間としても、組織の一員としても。

(第二六二〇地区 山梨県 リハビリテーション)

案ずるよりやすし 国際大会に参加して

札幌西北 小川 眞治

このたびサンパウロ国際大会に参加してきました。個人で自由に観光したいと思い、ツアーには申し込まなかったのですが、少し不安を感じました。そこで旅行会社や国際ロータリー日本事務局などから情報を集めてみると、ますます不安材料が聞こえてきます。治安が悪いという評判ばかりが先行して当惑しました。サンパウロの空港からホテルまでタクシーを利用することは危険だと言われ、命が大切なら、料金が高くてもツアーに参加したほうがいいのでは、などというアドバイスももらいました。

以前にヨーロッパで家内がひったくりの被害を受けそうになったことがあったので、威嚇するための木刀(！)を用意したのですが(笑い)、持参はせず、通常通りに観光をしようとして出かけました。

しかしサンパウロは心配に反して安全で、特に私たちが日本人だとわかるとフレンドリーに話しかけてきたり、親切にしてくれた

わがまち..... ROTARY そしてロータリー



賢島宝生苑で開かれた志摩RCの例会



メンバーの鋤山啓助さんが営む「海女ダイニングあづり」の一夜

わると死んでしまうくらいにデリケートな貝だから、いかにして英虞湾を浄化し、水質を保全するかが大事だと熱烈に語る。里山を守り、里海も守ろうという趣旨である。

志摩では、もう一人、海にかかわる仕事をしているロータリアンに出会った。旧大王町で山彦鯉節という会社を経営している山下勝日己さんである。

当方、乾物が大好きな人間として、一〇年ほど前、全国数十か所の乾物の産地を訪ね歩いている。鯉節について言えば、江戸時代の初頭、紀州で生み出された燻乾くんだんと呼ばれる製法が、西は土佐、薩摩、東は房州、伊豆、駿河などに伝わり、さらに東北の各地でも製造されるようになった。しかし、四〇〇年後の平成一六（二〇〇四）年の時点では、いわゆる本枯れ節と言われる本格的なものは、鹿児島県の枕崎市、山川町、静岡の焼津市の三地域だけで九五%が生産されるという状況になっていた。で、そのときは枕崎市で取材したのであるが、今回、三重県で唯一、いまも本枯れ節をつくっている人がわがクラブにいと聞いて興奮した。

山下さんによると、江戸時代後半、志摩の波切節なみきりふしは、諸国鯉節番付表で行司に選ばれるほど評判がよく、昭和三〇年代までは三重県下に数十軒の鯉節製造場があったという。山下さんの父は、波切の伯父さんのところで仕事を覚え、戦後、復員してから独立した。二代目の山下さん、製品には絶対の自信を持っているが、本枯れ節をつくっているのは県下で自分のところ一軒だけになってしまった、と多少は寂しそうで

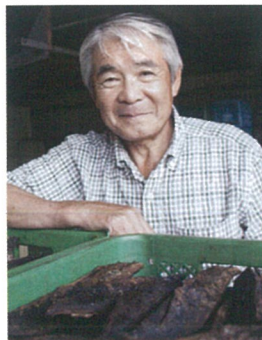
ある。

波切漁港から遠からぬところにある製造場を見学させてもらった。地元のカツオ漁が衰えたので、原料は焼津から遠洋ものの冷凍品を仕入れているという。四つ割りにしてゆでたものを二週間ほどいぶして水分を抜く。それを湿度の高い部屋に移してカビ付けをして、天日干しをして……という作業を繰り返す製法は、枕崎のそれと変わらない。削り節工場も見せてもらったが、いい香りが漂っていて、大いに幸せな気分を味わった。ここまで、食べ物に関する記述がやたら多くなった気がしないでもないが、まあ、「御食つ国」のレポートであるから、ついでにもう少々。

一夜、旧志摩町あづり浜の堤防わきの「海女ダイニングあづり」に、山本会長以下七人の会員が集まり、アワビなどの磯料理、カツオのこね寿司などでもてなしてくださった。豪快に焼いたアワビをほおばりながら、身の歯ごたえもたまらないが、この肝のほろ苦さがなんとも言えまじい、と述べる、では、これもどうぞ、と自分の分を分けてくださる人もいた。なんとすてきな志摩の人たち、と言わざるを得ない。

池辺史生（いけべ・ふみお）
元週刊朝日記者、現在はフリーランスの記者。
佐藤 敬（さとう・たかし）
写真家。人物の撮影を軸に活動。

伊勢志摩サミットの会場となる賢島のホテル群



三重県で唯一「本枯れ節」をつくっている山下勝日己さん





ウナギの養殖場変じてオートキャンプ場となる



伊勢宮前のウナギ料理店「中六」

も半端じやなかった。お伊勢参りは大産業だったのですよ、と森さんの弁舌はとどまるところを知らない。

伊勢には鰻屋

が多い。全国からはるばる歩いてやってきた参拝客はウナギを食べて自らを労^{いた}わったのであろう。伊勢宮の鳥居の前にも中六という昔からの店があった。こちらが訪ねた日は惜しいことに休みであったが……。

そんなわけで、志摩でもウナギの養殖が盛んだったというが、いまはその跡地が「伊勢志摩エバーグレイズ」というオートキャンプ場になったりしていた。経営者の松本寛さんも志摩RCの会員である。

デリケートなアコヤガイ

「里山」を守り「里海」も守る

その日の午後は、旧志摩町和具で真珠加工業をしている塩本智幸さんを訪ねた。玄関から広間に通されて目を見張った。画布いっぱい真珠をちりばめた絵が何点も無難作に並べられていた。絵柄には見覚えがある。ひよっとしてインドネシアのバリ島のもの？ 聞けば、確かにそうだという。

塩本さんの妻の幸子さんは、かねて、傷があったり、いびつだったりして、指輪やネックレス

にしてもえなかった真珠に目の目を当ててやりたいと願っていた。宝飾品になる真珠はせいぜい三割で、残りは真珠養殖にかかわる家の倉庫に眠っている。活用法はないかと常々考えていたのだが、バリ島でこれらの伝統絵画を目にしたときにひらめいた。

幸子さんは、象の顔をしたガネーシャ神などヒンドゥー教の神さまを描いた絵の作者たちの了解を得て、わざわざペンチで砕いた真珠の破片を糊^{のり}ではりつけ、新しい美術工芸品にすることにしたのである。

「二作品仕上げるのに半年くらいかかります。私、絵は描けないけれど、いい色、いい光沢の珠を選んで、それを砕き、糊ではつていく根気には恵まれていたんです」

と幸子さんは笑う。三年ほどの間に一〇作ほど完成させ、この七月、京都の画廊で「真珠を纏^{まと}うバリ絵画」展を開いた。

幸子さんの母ののぶゑさんは、「手先の器用な嫁がいると、その家は金持ちになる」と言われた真珠養殖全盛期に育った。アコヤガイに核を抱かせる技術に長けた女性だったようで、技術指導のため長崎に行き、そこで幸子さんの父になる一夫さんと知り合い、志摩に連れ帰って所帯を持ったのだとか。幸子さんの夫の智幸さんは漁師の家に生まれ育ったが、船酔いするたちだったので幸子さんの婿となって養殖真珠の世界に入ったという。

智幸さんからは、養殖真珠業界の現況について聞いた。アコヤガイは水温が四度変

「真珠を纏うバリ絵画」を制作した塩本幸子さんと夫の智幸さん



宝飾品になる真珠は3割あるかないか



わがまち..... ROTARY そしてロータリー

三重県 志摩市



サミットは、まあ、ともかく
この「里海」を慈しみたい

文・池辺史生 写真・佐藤 敬

自然の恵み豊かな国
古来「御食つ国」

志摩には、名古屋から賢島行きの近鉄特急で行った。沿線の小駅を無視して走りつづけるのだが、それでも二時間余りかかる。

来年（二〇一六年）の五月二六、二七の両日に行われる先進国首脳会議・伊勢志摩サミットに参加するVIPは高速道路を使って行くのだろうが、かなり遠いよ、覚悟していらつしやい、などつぶやきつつ、名古屋で買った駅弁（みそかつ、えびフライ、ひつまふし、天むす、守口漬などが少しずつ詰められたやつ）を肴にビールをずいぶん飲んでしまった。

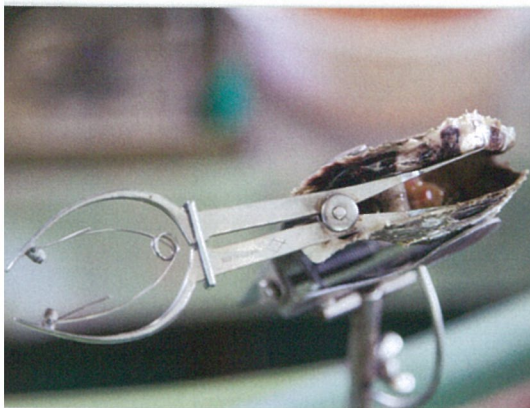
志摩と聞いて、まず頭に浮かぶのは、英虞湾の養殖真珠であり、的矢湾の養殖カキである。宝飾品の真珠には無縁の身ながら、御木本幸吉が

真円真珠の養殖に成功するまでの物語は、小学校の教科書に載っていたので覚えている。的矢湾のカキについて言えば、何十年も前のこと、東京・有楽町にレバンテというレストランがあり、ここでの的矢湾の生ガキやカキフライを食べるのが、駆け出し記者時代の冬の楽しみであった。

志摩ロータリークラブ（RC）の例会場の一つである賢島宝生苑で出迎えてくれた山本泰司会長、山本久代幹事、田中愛借会長エレクト、小林教郎ロータリー財団委員長ら四人の会員に会うなり、つい、そんな思い出を口にしてしまったが、これはちよつと昔話に過ぎたようだ。

いま、志摩の真珠養殖は最盛期の

英虞湾の向こうに沈む夕日（ともやま公園から）。右は賢島の真珠貝供養塔



アコヤガイに核を入れるには器用さが求められる



これは困った、という状況になってきますが、人間、困ればがんばるものでイノベーション、つまり革新が起こることがあります。

そうすると採算性が上がっていきます。真似できない企業は潰れていきます。よって企業数は減ります。しかし産業全体としては、大きくなっています。それが一つのパターンです。

もう一つはひたすら採算性が下がってきて、ほとんどゼロになってしまふパターンです。企業数も頭打ちになってきます。ああ、困った、儲からないなあ、となります。これがアフリカの状況です。なぜ儲からないかと言えば、製品の質が悪いからです。

中国の温州はかつて低品質の製品で有名でした。採算が上がらなくなってきた、困っていました。そこから抜け出すには、まず質を高めなければなりません。そのためには高級な原材料を使う、高級な部品を使う、気の利いた熟練工を雇う、あるいはデザイナーを雇う、高級な機械を導入する。こうすればいいものが作れます。

ところがコストがかかります。ですから高価で大量に売れなければいけません。消費者はそれを簡単に理解してくれません。そこで、マーケティングが決定的に重要になります。ブランドも決定的に大事です。そして品質を保証するためには、品質管理をしっかりしなければいけないし、労務管理も重要になります。

差別化した製品を作るために、アイデアの詰まった部品を下請けに注文しなければいけません。そうすると、それを下請け企業が悪用して他の企業に売ってしまったら、教えてしまっ

たりするかもしれませんし、他の企業に納めてしまうかもしれません。ですから、下請けとは信頼関係を作らなければなりません。

技術的なことが一番目の問題ですが、二番目、三番目、四番目辺りは、マネジメント、経営に関係することです。「改善」は英語 (Kaizen) になっていますが、Kaizen マネジメントというものを導入したらそこで革新が起こるのではないかと考えています。Kaizen はアフリカで非常に好評です。エチオピアでは、国民的運動になろうとしています。タンザニアも今、かなり「Kaizen」をやるのかな」という雰囲気になっております。

製造業の発展戦略では、まず研修と教育によつて海外からの技術・経営方法の導入をやるのが重要だということです。そうすると、優秀な企業と優秀でない企業に分かれます。優秀な企業は銀行からお金を借りて工場を広くしようとしたり、機械を多めに購入したりします。工場がきれいになったりもします。

そういうことが起こってくれば、政府は工業区を作つて、安定した電力供給をして、道路も整備し、コンピュータやインターネットも使える、というようなところを作つてあげたいと思います。

政府の支援は、有望そうな産業をまず選び、その集積をターゲットにするのいいと思います。特に貧しい国については、労働集約的で単純な産業を選ぶことが大事だということです。

そこで、技術と経営の研修をしましょう、と提案しています。それは知的資本の向上にもな

るし、人的資本の向上にもなる。それから、有望な企業家の発掘にもつながります、ということです。

そこで、官民が協力したいと思っています。例えば日本が、発展途上国の製造業支援に力を貸そうとするのであれば、シルバードラゴンティアを活用するのがとてもいいと思います。

最新式の技術をインド、あるいはエチオピアに持つていくのは得策ではないと思います。むしろ一時代前の、日本にとっては陳腐になったような技術がちょうどいいのだと思いますが、そういうことを身をもつて知っている年配の方々に活躍していただく、というのが非常にいいと思うのです。

先進国はもう少し開発戦略を考えて、どのようにしたら産業が発展するのかを、発展途上国の政府に伝えることが肝要です。次に官民連携。特に技術や経営の研修などでは、言葉の問題がありますが、企業で長く勤めた方を活用することができたら、素晴らしいと思います。

産業が発展し、雇用が増え、賃金が上がれば、所得が増える、特に貧しい人の所得が増える、ということをしらない限りは、貧しい人の生活が豊かになり得ないと考えます。どうしたら産業を発展させることができるのか、を考えることが、開発経済学者の役割であると思っています。

しかし、その戦略を考えている人が残念ながら非常に少ないのです。私としては、十分な力は必ずしもないかもしれませんが、効果的な産業発展の戦略の構築に向けて、研究を続けたいと思っております。

(ホスト 大阪城南RC)

SPEECH

なぜ貧しい国は
なくならないのか

にもしなくても結構、肥沃度が保てるというのです。

ところが畑は、そのままにしておくと土が傷みます。ですから常に、有機肥料を投入していかななくてはけません。特に、主作物のトウモロコシの生産性を改善しないと、アフリカの食糧問題は解決できません。そう思いながら旅行をしておりましたら、驚くようなことをケニアの農民が行っているのをみつけました。

アジアの「緑の革命」と同じように、トウモロコシの改良品種を採用していて、結構、化学肥料を入れていました。改良牛というのもしました。ヨーロッパとアフリカの牛を掛け合わせた牛で、ミルクの量がだいたい五倍ぐらい取れます。昔は放牧していたのですが、牛糞や尿をフルに活用できるように、現在は牛舎で飼うようになってきていました。

純粋なトウモロコシ畑はほとんどなくて、トウモロコシの畝があつて、その次に豆があつて、トウモロコシがあつて豆がある、というようなスタイルの畑が非常に多い。豆は空中窒素を固定しますので、非常にいい栽培方法です。

農民が必死に、自発的に、このように複雑なことを行っているのに、残念ながらそれをサポートする研究が全然ありません。これでは「緑の革命」は起こりません。しかしすでに農民は相当賢いことを始めていますから、これに科学の力、支援が加われば、私はトウモロコシの「緑の革命」が起こると確信しております。

コメは技術普及の段階にきています。ダブリング・ライス・プロダクションが、かなり順調

に進んでいます。普及活動に、あんまり資金が回っていません。せっかく日本が貢献して、今、うまくいきつつあるのに、このままでは最後はうまくいかない可能性もあります。

改善マネジメントの導入 シルバードラントの活用

製造業の開発戦略はどこから始めるのがいいでしょうか。製造業というのはどのように発展するのか。一九九八年から日本で二か所、中国で四か所、ベトナムとケニアで二か所、バングラデシュとパキスタンで一か所、エチオピアで三か所、タンザニアとガーナで一か所、事例研究をしました。いずれも産業集積の話になりますが、発展途上国の製造業はほとんどが産業集積型です。

日本でも東大阪市や東京都大田区など、同じようなものを作っている企業が狭い地域に集まっている場所があります。発展途上国でもよ

くあります。便利だからです。

しかし、産業集積の最大の欠点は、模倣がしやすいということです。せっかく新しいデザインで大儲けできるかと思ったら、真似されてしまうので、結局、新しいアイデアを出した人により儲けがいきません。真似されることが産業集積のネガティブな側面です。

新しいビジネスを始める時、輸入品の模造品のようなものから入ります。日本もかつてはそうだったと思います。質は悪いのですが、安く、消費者も貧乏な人が多いものですから、結構売れます。従って採算性は高くなります。そうこうしていると、そこに勤めていた人がおやじを裏切つて、同じような技術で、同じようなところから材料を仕入れて、同じようなマーケットに売ることになります。それで、企業数が増えてきます。同じように製品の質が悪いですから、とても輸出はできないので、国内だけで売っていると値崩れして採算性が落ちてきます。

■ 政策研究大学院大学教授

大塚 啓二郎



一九四八年 東京都生まれ。七一年 北海道大学農学部農業経済学科卒業。七四年 東京都立大学大学院修士課程修了。七九年 シカゴ大学大学院博士課程修了、イェール大学経済成長研究所ポスドクトラルフェロー。八〇年 東京都立大学経済学部講師。九一年 同教授。二〇〇一年 政策研究大学院大学教授、現在に至る。〇四〜〇七年度 国際稲研究所理事長。〇九〜一二年度 国際農業経済学会会長。一三〜一五年度 世界銀行『世界開発報告2013年』「仕事」執筆委員。一三〜一五年度 グローバル稲研究ハートナードシップ監督・支援委員会議長。国際農業経済学会、アメリカ農業経済学会、アフリカ農業経済学会名誉会員。
『なぜ貧しい国はなくならないのか 正しい開発戦略を考える』日本経済新聞出版社、二〇一四年など著書、共著、共編書多数。

肥料をやるほど生産が増える「高収量品種」の水稲や小麦が、一九六〇年代から開発されました。その品種が普及し、生産性が大幅に上がったことを「緑の革命」と呼びます。

日本農業でも水稲品種の改良が一番大事だったのですが、基本的には、日本にあるような技術を科学の力で、熱帯向けに開発したということです。日本も江戸時代辺りから、特に明治に入って、優れた水稲品種の開発に努力してきました。小麦もそうです。

そんな優れた品種を、アジアでも開発することになりました。旧来のアジアにあったのは、ひよろつとした背の高い稲ばかりで、肥料をやっても、栄養素のうち五割ぐらいいは茎と葉に取られてしまいます。それを改良すると、七割程度の栄養素が、実に行くようになります。そんな品種を、アジアで開発していったというのが「緑の革命」です。

加えて、灌漑設備を整えました。アフリカを見てみると、あぜのない田んぼがたくさんありますが、それでは生産性は伸びません。栽培技術をよりまともなものにすると、生産性が上がっていきます。一九六〇年代、南アジアとアフリカの生産性はあまり変わりませんでした。一九六〇年代の後半ごろから「緑の革命」が始まり、アジアでは、生産性が高くなってきました。

今度は、アフリカの生産性をぐっと高めたいというのが私の思いです。アフリカで「緑の革命」をやろう、私はその実現を目指して実際に活動しています。

二〇〇八年七月に開催された、東京インターナショナル・コンファレンス・アフリカン・ディベロップメント (Tokyo International Conference on African Development TICA D) アフリカの発展のための東京会議) でダブリング・ライス・プロダクション・イン・アフリカ (Doubling Rice Production in Africa) が打ち出されました。私は二〇〇四〜七年、国際稲研究所 (International Rice Research Institute 別称、通称IRRI、イリ) の理事長を務めていました。IRRIはそれまで、もっぱらアジアで活動していました。

アフリカは風土が厳しいので、ストロングサイエンス、すなわち非常にしつかりしたサイエンスがなければ「緑の革命」は成功しないと考えていました。IRRIは絶対アフリカで研究を行うべきだ、と一生懸命説得をして、いろいろな困難がありました。二〇〇八年ごろからアフリカで活動するようになりました。日本は世界銀行にかなり大きな拠出をしています。そのお金の一部をアフリカのライスディベロップメントに使ってほしい、とお願ひもしました。

その一方で、「緑の革命」の始まる前の状況のデータを取っておこうと、私は仲間とアフリカ六か国で、農村調査を行っています。この革命が起こったことによつて、こんなに人々の暮らしが良くなった、と示せるように、IRRIや、独立行政法人国際協力機構 (Japan International Cooperation Agency JICA) などがこんな良いことをした、ということ。世界に示そうと思つて、データ収集と分析を

今も続けているところです。

私が考えている開発戦略は非常に単純です。技術をしつかり開発し、それを普及しましょうということ。アフリカで調査をし、アフリカで一番有望な穀物は水稲だ、ということに確信を持っています。それで「ダブリング・ライス・プロダクションはどうですか」と進言したのです。

アフリカはアジアよりも生産環境がいい。世界で一番米の収量が高い国はエジプトです。ナイル川が肥沃な土をたくさん運んできて、水量が豊かな国です。毎日のように晴れて光合成が活発にできます。あまりにも暑くて、あまりにも乾燥していて、害虫が生まれないので、病虫害がほとんどありません。理想的な水稲の生産環境です。

ムエワというケニア山のふもと、ロアーモシというキリマンジャロのふもとには、JICAが協力してできた灌漑設備があり、収量はアジアの灌漑水田に引けを取りません。極めてアジア的なことを行っています。品種もアジア的、つまりIRRIが開発している品種が、そのまま使われているところもあれば、それが親になって、地元の品種と掛け合わせたものが使われているところもあります。

コメの技術改良の余地はありますが、基本的にはアジアの技術を持つていてあげればよろしい、ということがわかっています。実は、非常に小さなバクテリアの類が田んぼの中にいて、それが空中窒素を固定しているのだそうです。空中窒素を固定しているために、水田は何



「高収量品種」穀物を開発し、その品種を普及させ、生産性を大幅に上げる「緑の革命」

価しがちです。ですから、そこは政府が支援しなければいけません。

二番目にインフラ投資。公共財にはお金を出したくない、ほかの人に出してもらって、自分を使うだけ使いたい、という態度が出やすいものです。

三番目は資本投資。例えば銀行ですが、借りの能力がわからないものですから、貸付を渋るという傾向があります。物的資本への投資も、過少気味になります。

四番目は知的資本への投資と模倣の問題です。革新的な発明があつて一〇億円儲かったとします。しかし、その真似をして一〇〇社がそれぞれ一億円儲かったとすると、トータルで一〇〇億円儲かります。

革新者というのは、自分の儲けを主に考え、それに向かつて努力をするという人だと思えます。しかし、社会的には一〇億円の儲けを考え、発明に投資してほしいのです。ですから、政府が手助けするのが望ましいのです。

アフリカで

農業の生産性を高める

「緑の革命」を

近刊の拙著で力を入れて議論しておりますのは、農業の生産性向上、特に「緑の革命」の話と製造業の発展の話です。

「緑の革命」は最近、高校の教科書にも載るようになった言葉です。日本人が大活躍をした、偉大な革命だと思います。背が低くて茎が太く、

なぜ貧しい国は なくならないのか ～正しい開発戦略を考える～

産業が発展し、雇用が増え、賃金上がり、所得が増える、特に貧しい人の所得が増える、ということをしない限りは、貧しい人の生活が豊かになり得ないと考えます。

政策研究大学院大学教授 **大塚啓二郎**
Keijiro Otsuka

政府がすべきこと やっつけてはいけないこと

今日のテーマは「なぜ貧しい人々はなくならないのか」ではなく、「なぜ貧しい国はなくならないのか」ということです。まず国がしっかりとしなければいけない、効果的な政策を国が考えないといけない、個々の人間が悪いわけではなく、国に問題があり、国際社会の問題でもあるという気持ちを込めて、このようなタイトルにしました。

友人の一橋大学の黒崎卓先生と、『これからの日本の国際協力 ビッグ・ドナーからスマー・ドナーへ』という本を、日本評論社から刊行しました。この中にも政府がしてはならない幾つかの項目を挙げていますが、今日は、その中から二つ紹介します。

資本投資への過度の補助はいけません。資本投資への補助を行うと、大型機械が入るとか、資本集約的な産業が刺激されるといったことになります。しかし、たくさん非熟練労働が存在することが、貧しい国の優位性なので、安い非熟練労働を最大限活用しないと、国際競争に勝てません。

一九七〇年代、植民地から独立したアフリカ、アジアで同じような現象がありました。つまり

独立後、早すぎる近代化を進めてしまったのです。その時に、近代化＝機械化というイメージがあつて、資本補助を盛んに行つてしまいました。

日本では『女工哀史』のような話がありましたが、もし、『女工哀史』に出てくるような工場がなかったら、日本の状況はもっと悪かったと思います。厳しいながらも、女工哀史的でもいいから、仕事が出てきて、そこから少しずつ発展していくという過程が必要なのであつて、最初から近代的な設備を取り入れたとしても、経済はいきなり発展しません。

最低賃金、あるいは政府が決める賃金は、高めです。賃金が高ければ企業側は労働者をあまり雇いたくはないのですが、一方、働きたい人が増えます。その結果、大量の失業が生まれます。近年のアラブの春、エジプトはじめ北アフリカの辺りで、政府が転覆して春が来たかなと思つたら、冬に逆戻りしているようですが、それらの国々の問題は、ほとんど役に立たないような仕事を国がたくさんつくり出して、高い賃金を設定してしまったからです。

この状態を解決するには、低所得の状態から中所得の状態へ、どのように持つていくかというところが重要になります。そのためには、どの資本に投資するのが大事になってくるわけです。そこで反対に、政府がしなければならないことを四つ挙げましょう

まず、教育支援、すなわち人的資本への支援です。人間の体を担保にお金を借りることはできません。教育を受ける前はその価値を過小評

11月はロータリー財団月間です
11月2～8日は世界インターアクト週間です

THE ROTARY-NO-TOMO

なぜ貧しい国はなくならないのか
正しい開発戦略を考える

■政策研究大学院大学教授 大塚 啓二郎

4
73

シリーズ わがまち……そしてロータリー……
サミットは、まあ、ともかく この「里海」を慈しみたい

9
68

三重県 志摩市

文・池辺 史生 写真・佐藤 敬

友愛の広場

13
64

時折聞こえる天の声

笛吹 植松 増美

案ずるよりやすし 国際大会に参加して 札幌西北 小川 眞治

サンパウロ国際大会が取り持ってくれた縁

大宮中央 佐野 巖

クラブの誇り

出雲南 古川 精次

二〇円のできるロータリーの広報

丸亀 和泉 清憲

丸亀RCの切手を国際大会「友愛の家」で紹介

横浜緑 鶴岡 武

原発再稼働は認められない

高崎シンフォニー 小野垣義男

気持ちが悪く日本語

出雲中央 山口 孝之

ドイツの鉄道模型とクラシックコンサート

宝塚中 芝池 巖

同好会「江戸下町の会」の屋形船クルーズ 東京中央 武笠 和夫

徳川家康に学ぶ長寿の秘けつ 鳥取 塩 宏

●バナー自慢

卓話の泉

20
57

こし餚の話

高野山 前 清

献血の現状について

池田 超

チョウとホテル

東京新宿 小林 義忠

ロータリー 俳壇

◆長谷川 權 選

ロータリー 歌壇

◆馬場あき子 選

ロータリー 柳壇

◆てじま晩秋 選

ロータリー・アット・ワーク

少年少女ニコニコキャンプ活動記

東大阪ロータリークラブ

24
53

〈写真〉京都西山／宮崎中央／大江／

松戸・松戸東・松戸北・松戸中央・松戸西／

東と西／氏家／越谷東／長万部・東京葛飾中央



ペリー提督の兄の玄孫と長崎南RCの縁

長崎南

台北からの交換学生の受け入れを終えて

熊本南

長崎大学熱帯医学研究所との協定書調印式

第二七〇地区

空港に歓迎の表示板を設置

那覇南

楽しく やり甲斐のあるロータリーにしよう！

箕輪

会員と家族の親睦から奉仕の花を咲かせよう！

福島南

夏祭りに参加

大津中央

児童と音楽にふれあう体験会

大分臨海

夏だ！ 元気だ！ 神社で寺子屋だ！

壬生

第三回国際里山の集い

千葉南

恒例の川開きを開催

三原

第一〇回を迎えた少年サッカー大会

鶴ヶ島

名勝嵐山の地で こども相撲大会開催

京都西南

天皇家ゆかりの松が育ちました

仙台青葉

表紙のメッセージ

岡井 耀毅

33
44

表紙 横組み 「朝日を受けて」 松田 博文（二七〇〇 菊田）

縦組み 「紅葉の庭園」 内山 明夫（二五七〇 東松山むさし）

表紙題字 加藤 光峰

表紙レイアウト 眞牧 彰

●横組みの目次は、反対側の表紙を開いた4～5ページにあります。
●本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

ROTARY
JAPAN
Home Page
www.rotary.or.jp



ロータリーの友

THE ROTARY-NO-TOMO NOVEMBER 2015 VOL.63 NO.11

ロータリーの友11月号 第63巻 第11号
平成27年11月1日発行(毎月1回1日発行)
通巻755号 昭和28年1月創刊
昭和43年4月23日第3種郵便物認可
発行所 一般社団法人ロータリーの友事務所

11
2015



SPEECH ———

なぜ貧しい国はなくなるのか

大塚 啓二郎

わがまち……そしてロータリー

三重県志摩市

Rotary 